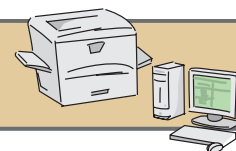
DocuPrint CG835 II
取扱説明書 導入編

お使いになる前に、必ずお読みください

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

はじめに

このたびはDocuPrint CG835 IIをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。Print Server Series（サーバー）は、Adobe PostScript3を使用して、高品質のカラープリントを実現します。Print Server Seriesには、ネットワークプリントサーバーとして使用するために必要なソフトウエア、およびハードウエアが準備されています。
本書は、 DocuPrint CG835 IIのパッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、プリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法、および本機の操作方法について説明しています。なお、富士ゼロックスプリンティングシステムズ（株）の保証範囲は、DocuPrint CG835 IIの標準構成、およびそのオプション製品に限ります。
本書の内容は、Windows 2000 Professionalの基本的な操作を習得されているかたを対象に記述しています。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

「Printing Force FUJI XEROXロゴマーク」が適用された商品は、富士ゼロックスおよび富士ゼロックスプリンティングシステムズのプリンター技術を活用して製造し、安心と信頼のプリント環境を提供します。

本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の中で ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

本機器は、JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

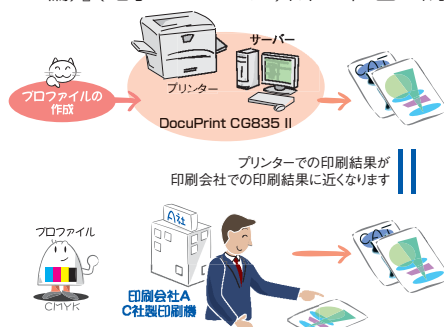
ご注意

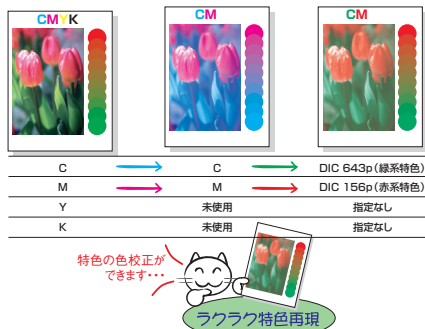
①本書の内容の一部または全部を無断で複製･転載･改編することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。
⑥本製品は、外国為替および外国貿易法および/または米国輸出管理規制に定める「輸出規制貨物」に該当します。つきましては、本品を外国へ輸出する場合には、日本国政府の輸出許可および/または米国政府の再輸出許可を受ける必要があります。

DocuPrint CG835 II の特長

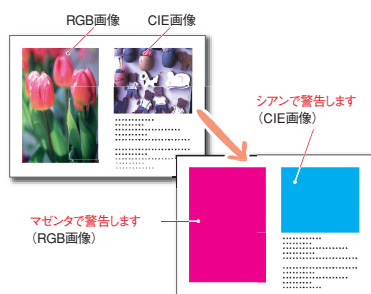
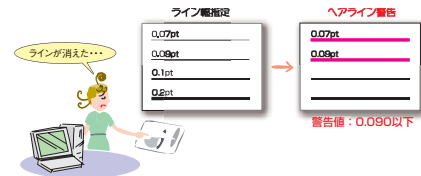
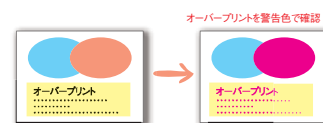
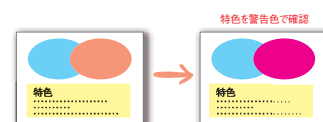
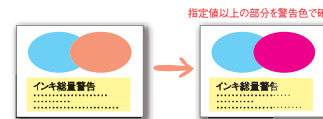
DocuPrint CG835 IIは、DTPアプリケーションやイメージ作成アプリケーションからの、高度で詳細な設定を必要とするプリントに対応する各種機能を搭載しています。
DocuPrint CG835 IIは、DTPに最適な環境をお届けします。

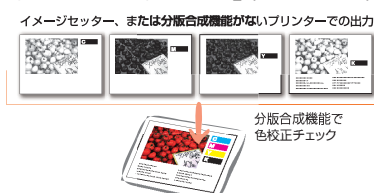
充実したCMYKシミュレーション機能

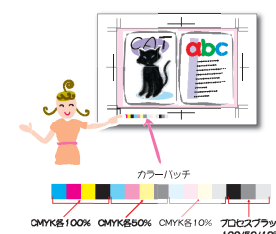
オフセット印刷の特性に合わせた最終印刷物に近い色を再現できます。また、印刷会社、デザイン会社やクライアントなど環境が違っても、それぞれのカラープロファイルをサーバーに登録しておけば、必要なときにいつでも色味をシミュレーションできます。→『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)「第1章 色の調整」

特色が再現できる2色印刷シミュレーション

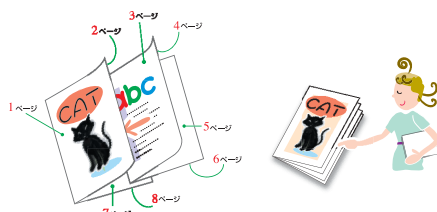
特色の折り込みチラシなどに対応する2色シミュレーションが可能です。→(62ページ)

印刷データ内のうっかりミスを事前に警告

印刷会社への入稿データにミスがないかどうか、各種の警告プリント機能でチェックできます。

「RGB画像警告」→(57ページ)
RGB画像、CIE画像を警告色でプリントします。

「ヘアライン警告」→(59ページ)
オフセット印刷で消えてしまうようなラインを確認できます。

「オーバープリント・トラッピング警告」→(58ページ)
オーバープリントまたはトラッピングを確認できます。

「特色警告」→(60ページ)
特色を使用している箇所を確認できます。

「インキ総量警告」→(60ページ)
指定値以上のインキを使用している箇所を確認できます。

仕上がりを確認できる分版合成機能

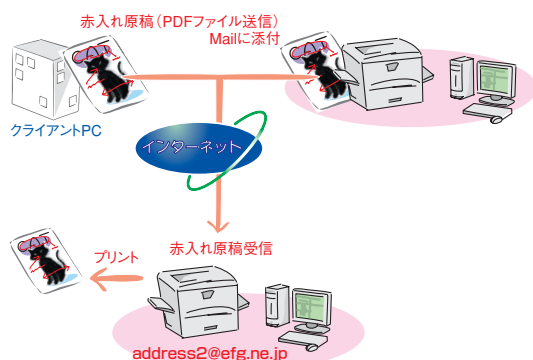
CMYKの4版を合成してカラープリントし、オーバープリントやトラッピングを確認できます。→「分版合成機能を使って仕上がりを確認する」(61ページ)

メモ書きでカンプの管理

カラーパッチやプリントオプションの設定情報メモ、コメントなどを、用紙の左下に重ねて印字できます。→「カラーパッチやコメントをつける[メモ書き]」(66ページ)

便利な印刷機能

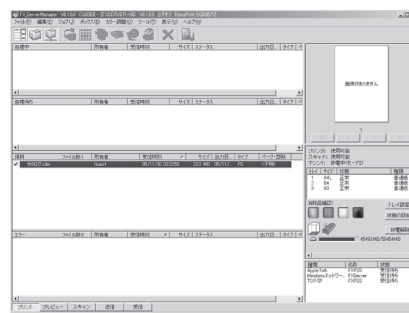
様々な印刷機能で、DTPの可能性をさらに広げます。
「小冊子印刷」→(64ページ)
出力用紙を二つ折りにするだけで、小冊子を作成できます。

プリフライトでエラー確認

プリントする前に、デザインデータにエラーがないかどうかを確認します→(63ページ)

PDF送受信で校正作業を効率化

クライアントPCからメール添付で送られてきたPDFファイルをサーバーで受信し、そのままプリントできますので、校正作業が効率よくできます。また、サーバーからクライアントPCや別のサーバーに、PDFファイルをメール添付で送信できます。→「PDF ファイルを送信する」(74ページ)

快適な出力環境を提供

ServerManager画面で印刷データを操作

ジョブの 処理順位の変更や印刷データ編集後の再プリントなど、プリントジョブをServerManagerで管理できます。ServerManager画面では、エラーが発生した印刷データが赤文字で表示されたり、スプールに保存される印刷データには先頭にチェックマークが付くなど、重要なことがすぐわかるようになっています。

フォントの管理

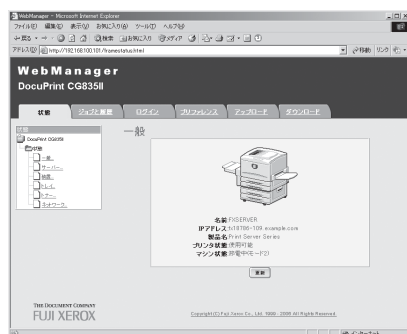
サーバーにインストールされているすべてのフォントを一覧表示したり、バックアップしたりできます。
→『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)「2.9 フォントについて」

プリント履歴の管理

プリントジョブの履歴を、表計算アプリケーションで編集できるCSV形式のファイルに出力できます。プリンターを共有している場合は部門やユーザーごとにプリント履歴の確認ができるので、管理しやすくなります。

DropPrint2やWebManagerでクライアントの操作も快適に

DropPrint2を使えば、ドキュメントを作成したアプリケーションを持っていなくても、クライアントからプリントできます。

WebManagerを使えば、クライアントからサーバーの状態を確認できます。

→『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)「4.3 Webブラウザーで印刷データを管理する」

目次

第6章 困ったときは

付　録

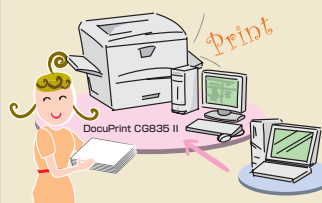
本　書　の　構　成

第1章　サーバーをセットアップしましょう

サーバーを設置し、サーバー環境を設定する方法について説明しています。→1ページ

第2章　ソフトウエアをインストールしましょう

必要なソフトウエアやフォントのインストールについて説明しています。
→17ページ

第3章　プリントしましょう

クライアントからプリントするときの基本操作と、サーバーでできる操作や設定について説明しています。
→39ページ

第4章　便利な機能

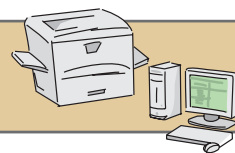
色分版合成機能やPDF送受信機能、メモ書き、DropPrint2の使い方について説明しています。
→55ページ

第5章　リファレンス

各画面の詳細について説明しています。
→91ページ

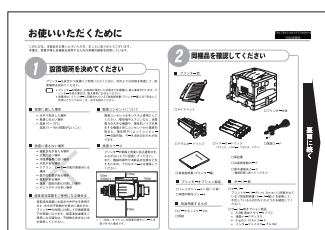
第6章　困ったときは

トラブルが起きたときの対処の仕方や、よくあるお問い合わせとその回答をご紹介しています。
→121ページ

マニュアル体系と本書の読み方

マニュアルの種類

本製品では、次のマニュアルを用意しています。使用目的に合わせてご利用ください。

お使いいただくために

同梱品のご案内と、箱を開けてから、印刷できるまでのプリンターの設置手順の概要を説明しています。まず、このマニュアルを見て、プリンターの同梱品を確認してください。
そのあと、以下の取扱説明書と合わせて参照しながら、プリンターを設置してください。

取扱説明書(プリンター編)

プリンター本体の設置手順を説明しています。
また、プリンター本体の電源の入/切、用紙のセット方法、紙づまりの処置、消耗品の交換など、日常プリンターを使用するときに必要なことがらについて説明しています。

ご注意

プリンターに添付/同梱されている『お使いいただくために』、『取扱説明書(プリンター編)』に、参照先として『取扱説明書(サーバー編)』と記載されている場合は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)または『取扱説明書(導入編)』(本書)を参照してください。

取扱説明書(導入編)<本書>

DocuPrint CG835 IIのパッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、プリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法、およびDocuPrint CG835 IIの基本的な操作方法について説明しています。

取扱説明書(サーバー編)

色の調整やプリントの設定など、DocuPrint CG835 IIをより高度に使いこなすための設定方法や情報が記載されています。
DocuPrint CG835 IIに同梱されているソフトウエアCD-ROMの「Manual」フォルダーにPDFファイル(取扱説明書サーバー編.pdf)で収録されています。
『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の目次については、「付録『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の内容」を参照してください。

前提知識と前提条件

本書は、サーバーとして本機を日常で使用するときに読んでいただきたいマニュアルです。本書の内容は、お使いのOSの環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に、Print Server Series(以降、サーバーと呼びます)のクライアントアプリケーションをはじめて使用するかたから、サーバーを管理するかたまでを対象に説明しています。お使いのOSの基本的な知識や操作方法については、OSに付属の説明書をお読みください。また、本書を読み始める前に、次の項目を確認してください。

- 接続対象となる機器やソフトウエアが明確になっていること
- 本機を接続するために必要な製品については、販売店やカタログなどからの情報によって、準備できていること

読み方のヒント

マニュアルの読むべき章を、役割別にまとめます。参考にしてください。

クライアントコンピューター利用者

サーバー管理者に確認後、第2章を参照してドライバーをインストールしてください。次に第3章を参照してServerManager の基本操作と、クライアントPCからの操作を習得してください。
色の調整をするかたは、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)を参照してください。

サーバー管理者

まず、第1章を参照してサーバーを使う準備をしてください。
その後、第3章を参照してServerManagerの環境を使いやすいように設定してください。
あとは、必要な章を参照してください。

本書の表記

①本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューター、Macintosh、ワークステーション、ホスト装置の総称です。

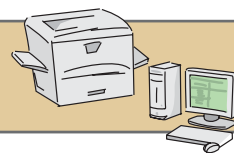
②本文中では、説明する内容によって、以下のマークを使用しています。

マーク	説明
注記	注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
補足	補足事項を記述しています。
参照	参照先を記述しています。

③本文中では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
参照「　」	参照先は、本書内です。
参照『　』	参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。

「　」：フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD-ROM、機能などの名称や入力文字などを表します。
[　]：コンピューター上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニュー、項目などの名称を表します。
〈　〉キー：キーボード上のキーを表しています。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前には必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。
『取扱説明書（プリンター編）』の「安全にご利用いただくために」も、あわせてごらんください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています

記号	意味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
注意　発火注意　破裂注意　感電注意　高温注意　回転物注意　指挟み注意	△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。
禁止　火気禁止　接触禁止　風呂等での使用禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止	⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。
指示　電源プラグを抜け　アース線を接続せよ	●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

設置および移動時の注意

注意

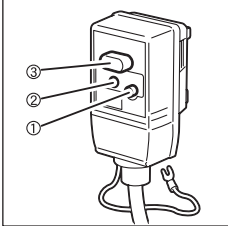
	高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。
	ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。
	機械は、重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。 サーバー：10.0kg（オプション装着時） ディスプレイ：3.3kg キーボード：1.0kg（マウスを含む）
	機械を持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。
	機械の後部には通気口があります。機械は壁から200mm 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、機械の操作および日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。 以下の設置スペース（上部から見た図）は、DocuPrint CG835 IIのサーバー部分だけを記載しています。プリンター部の設置スペースについては、『取扱説明書（プリンター編）』をごらんください。 ディスプレイ 200 50 50 サーバー キーボード 300 単位：mm
	機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。
	機械を移動する場合は、機械を10度以上に傾けないでください。 転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

その他

●いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度10～35℃　湿度15～80%（結露がないこと）
●直射日光が当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。

安全にご利用いただくために

電源およびアース接続時の注意

!	電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。
!	電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに差し込んでください。なお、本機の定格電源は、プリンターが100V、11A、サーバーが100V、2.5A、そして、ディスプレイが100V、0.5Aとなっております。 プリンター、サーバー、ディスプレイを同時にテーブルタップでご使用になれます。その場合、それぞれの電源プラグは、定格が125V、15Aで最大1,500Wまでのテーブルタップに差し込んでください。また、テーブルタップには、プリンター、サーバーおよびディスプレイ以外の機器を接続しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。
⃠	延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご相談ください。
⃠	電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。
⃠	電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
⏚	万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、次のいずれかに取り付けてください。 ●電源コンセントのアース端子 ●銅片などを650mm以上地中に埋めたもの ●接地工事(D 種)を行っている接地端子 ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご相談ください。 次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。 ●ガス管(引火や爆発の危険があります。) ●電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。) ●水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

警告

	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
	次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。 ●機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき ●異常な音やにおいがするとき ●機械の内部に水が入ったとき

注意

	機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。 アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。
	システムの定格電圧100Vと異なった電源電圧での使用は行わないでください。 機能トラブルもしくは、発熱による発火、感電の原因となることがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。
	1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。 ●電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。 ●電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。 ●電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。
	連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

安全にご利用いただくために

	機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
	インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず本機の電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。
	弊社の電源プラグには漏電保護回路がついています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、漏電保護回路が正常に働くか確認してください。正常に動作しない場合にアースが接続されていないと、感電の原因となるおそれがあります。なお、漏電保護回路の確認手順は以下のとおりです。異常などがある場合はお買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。 ①電源プラグについているテスト(切)ボタンを押す。 ②通電ランプの消灯を確認する。(消灯すれば正常に作動しています。) ③確認後、電源プラグについているリセット(入)ボタンを押す。(テストが解除されます。) ③ ② ①

その他

●ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
●本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
●本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
●本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
●受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。
(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
●ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

機械使用上の注意

	機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電の恐れがあります。
	機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。
	万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
	機械を 改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。
	付属のCD-ROMをCD-ROM対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音量により、耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。

	機械の上に重い物を載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重い物が落下してケガの原因となるおそれがあります。

その他

●フロッピーディスクには、磁気を帯びたものを近づけないでください。フロッピーディスクに記憶されているデータが失われる場合があります。

安全にご利用いただくために

消耗品取扱上の注意

	電池は間違ったタイプと交換した場合には爆発の危険があります。使用済み電池は取り扱い指示に従って処分してください。

第1章 サーバーをセットアップしましょう

この章では、サーバーのセットアップについて説明します。

セットアップの前に

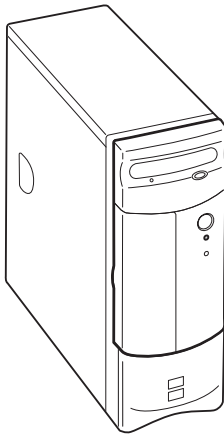
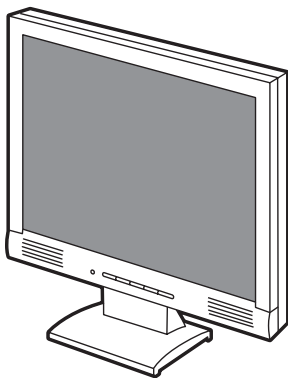
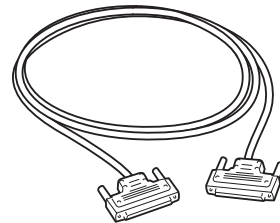
同梱品を確認し、サーバーとプリンターを接続して、サーバーを起動します。

プリンターに添付/同梱されている『お使いいただくために』、『取扱説明書(プリンター編)』に、参照先として『取扱説明書(サーバー編)』と記載されている場合は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)または『取扱説明書(導入編)』(本書)を参照してください。

同梱品を確認する

パッケージを開けたら、サーバー部の同梱品がすべてそろっているか確認します。

サーバー

- サーバー本体

- ディスプレイ
  (電源コード、アナログ信号ケーブルを含む)

- ソフトウエアCD-ROM 2枚
- リカバリーCD-ROM 2枚
- キーボード
- マウス
- マウスパット
- 電源コード(漏電ブレーカー付き)
- インターフェイスケーブル(2.8m)

- 工具(プラスドライバー)
- Gray Scale Targetシート
- 取扱説明書(本書)

必要に応じて、以下のものをご用意ください。

オプション製品

- 増設ハードディスク
- 512MB 追加メモリータイプ2
- インターフェイスケーブル(6m)
- Eye-One(測色器)

そのほかに用意するもの

イーサネットケーブル(使用環境に合ったケーブルを用意してください。)

ソフトウエアCD-ROM、リカバリーCD-ROMは、単品では購入できません。サーバーをセットアップする際には、必要となる重要なソフトウエアですので、大切に保管してください。

各部の名称

● サーバー本体

正　面

フロッピーディスクドライブ

電源スイッチ

CD-ROM装置

背　面

電源コネクター

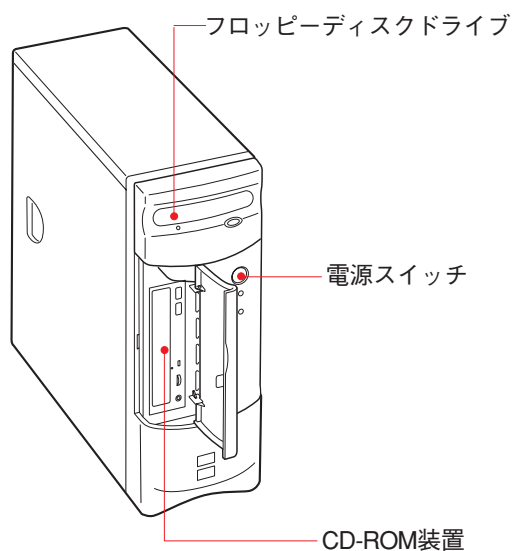
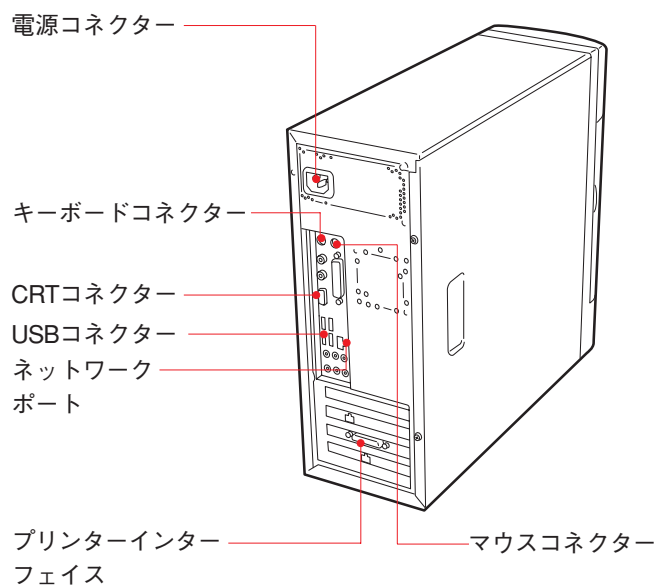
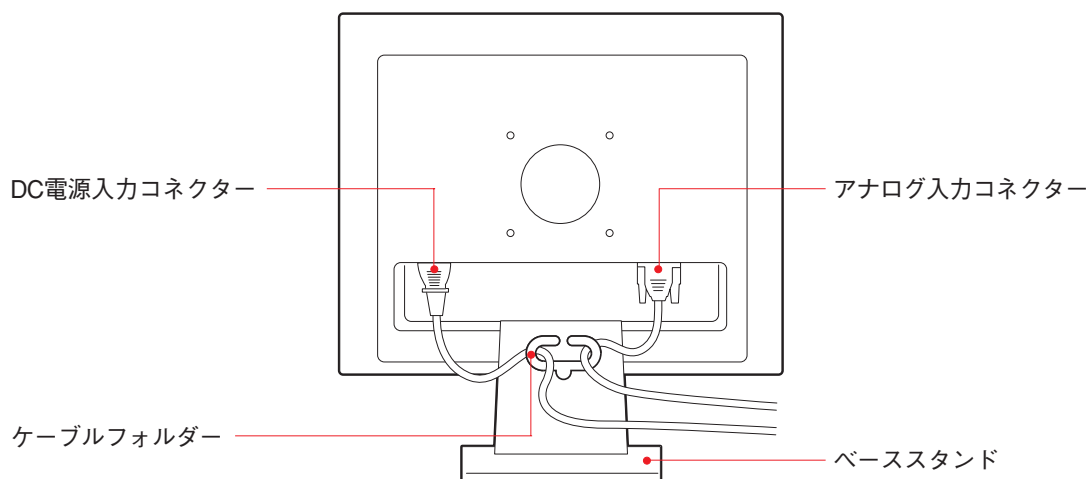
キーボードコネクター

CRTコネクター

USBコネクター

ネットワーク
ポート

プリンターインター
フェイス

マウスコネクター

ディスプレイ

サーバーを設置する

サーバーとディスプレイを接続し、プリンターと接続します。
ここでは、すでにプリンターの設置が済んでいることを前提に説明します。プリンターの設置手順については、プリンターに同梱されている『取扱説明書(プリンター編)』を参照してください。

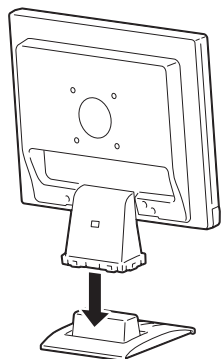
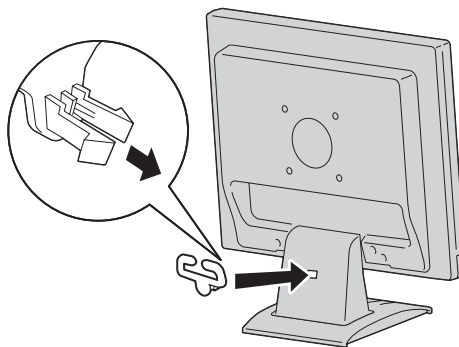
オプション製品を購入された場合は、先にサーバー本体に取り付けておいてください。取り付け方については、「オプション製品について」(135ページ)を参照してください。

操作手順

1 プリンターに電源が入っている場合は、電源を切ります。

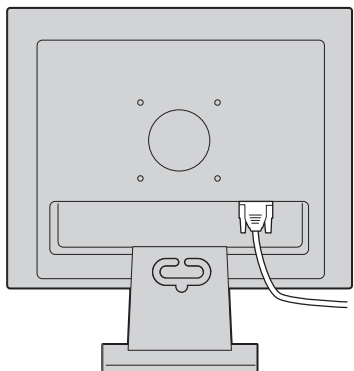
2 マウスをサーバー背面のマウスコネクターに、キーボードをキーボードコネクターに接続します。

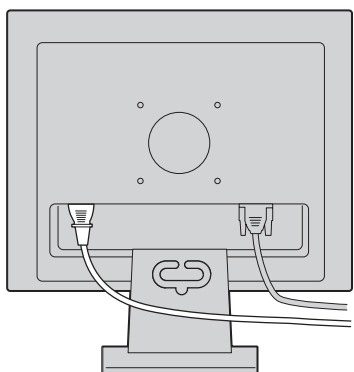
3 電源コードをサーバー背面の電源コネクターに接続し、電源プラグをコンセントに差し込み、アース線を接続します。

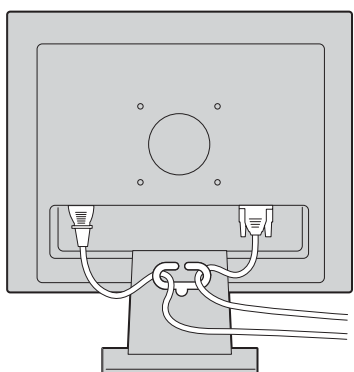
4 水平な机の上に、ディスプレイのベーススタンドを置きます。ベーススタンドのくぼみにディスプレイのスタンド部をあわせ、奥までしっかりと差し込みます。

5 スタンド背面のくぼみにケーブルフォルダーをあわせ、奥までしっかりと差し込みます。

- ディスプレイのスタンド部とベーススタンドが確実に取り付けられていないと、ディスプレイが斜めになったり外れたりする恐れがあります。取り付けたときに、ディスプレイのスタンド部の四隅と、ベーススタンドに段差がなく均一になっていることを確認してください。
- ベーススタンドにディスプレイを取り付けるときは、指をはさまないように注意してください。

6

サーバー背面のCRTコネクターと、ディスプレイのアナログ入力コネクターを、付属のアナログ信号ケーブルで接続します。

接続後、ケーブルが抜けないように、しっかりとネジを締めてください。

7

ディスプレイのDC電源コネクターに、電源コードを接続します。奥までしっかりと差し込んでください。

8

信号ケーブルと電源コードを、ケーブルフォルダーにかけます。

9

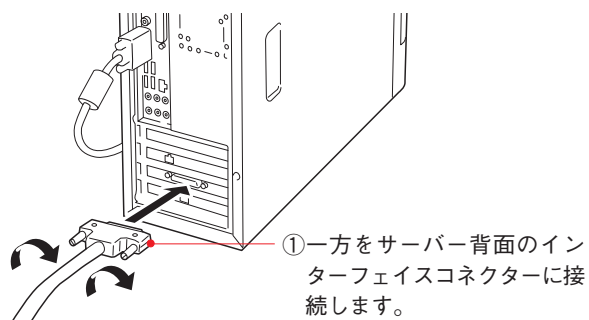
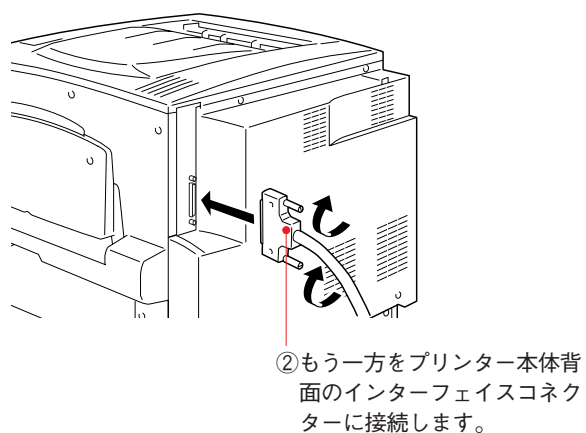
ディスプレイの電源コードの、アースリード線を接地(アース接続)し、電源プラグをコンセントに接続します。

10

プリンターとサーバーをインターフェイスケーブルで接続します。

サーバー背面

プリンター背面

補足

接続後、ケーブルが抜けないように、しっかりとネジを締めてください。

11

イーサネットに接続するケーブルを、サーバー背面のネットワークポートに接続し、サーバーをネットワークに接続します。

以上で、サーバーの設置は完了です。

サーバーを起動する/停止する

サーバーとプリンターを接続したら、サーバーを立ち上げ、ServerManagerを起動します。

DocuPrint CG835 IIのサーバーソフトは、Windows 2000上のサービスとして動作していますので、通常はWindows 2000が起動したあと、サービスが起動した時点でプリントできるようになります。サーバーを立ち上げるたびにServerManagerを起動する必要はありません。

サーバーを起動する

初めて起動したときは、管理者パスワードを設定します。

操作手順

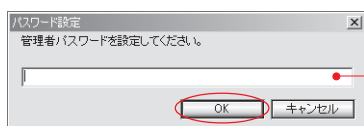
1 プリンター本体の電源を入れます。

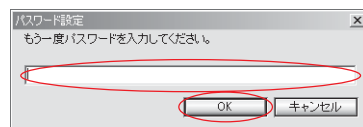
2 ディスプレイ、サーバーの順に電源を入れます。Windows 2000が起動し、続いてServer Managerが自動的に起動します。

はじめてServerManagerを起動したときは、[パスワード設定]ダイアログボックスが表示されます。

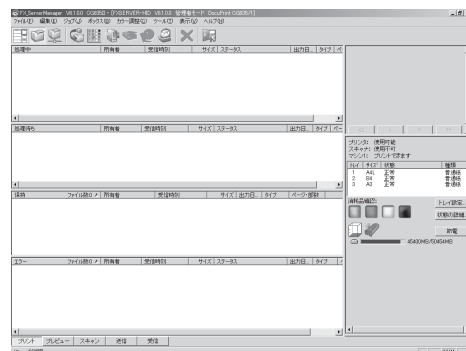
3 5文字以上の半角英数字で任意のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

任意の文字列を設定できます。

- ここで設定したパスワードは、ServerManagerにログインするたびに必要になります。忘れないように厳重に管理してください。
- 工場出荷時では、Windows 2000のAdministratorのパスワードは「printserver_v6.1」に設定されています。
- パスワードはあとで変更することもできます。

確認のため、パスワードの再入力を促すダイアログボックスが表示されます。

4 同じパスワードをもう一度入力し、[OK]をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

5 [OK]をクリックします。

ServerManagerウィンドウが表示されます。ServerManagerウィンドウでは、印刷データやステータスを確認したり、印刷データの操作や設定が行えます。

このあとは

「サーバー環境を設定する」に進んでください。

サーバーを停止する(電源を切る)

操作手順

1

ServerManagerウィンドウで、[ファイル]メニューから[終了]を選択します。

ServerManagerが終了します。

ServerManagerを終了するときは、管理者でログインしてください。一般ユーザーでログインしている場合や、ログインしていない場合(ログオフの状態)は終了できません。

2

[スタート]→[シャットダウン]を選択します。

[Windows のシャットダウン]ダイアログボックスが表示されます。

3

[シャットダウン]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。

上記の方法でサーバーの電源が切れないときは、サーバーの電源スイッチを4秒以上押してください。強制的に電源が切れます。

サーバー環境を設定する

クライアントからサーバーを介してプリントするために必要なサーバー環境の設定を行います。

ServerManagerにログインしなくても印刷データやステータスの確認はできますが、環境設定や印刷データを操作するには、ServerManagerにログインする必要があります。

IPアドレスを設定する

サーバーのIPアドレスを設定します。

設定を行う前に

ネットワーク管理者に、サーバーのIPアドレス、サブネットマスクなどの情報を確認してください。

サーバーのIPアドレスは、固定のIPアドレスを割り当てる必要があります。DHCPサーバーから割り当てられる動的なIPアドレスは使用できません。

操作手順

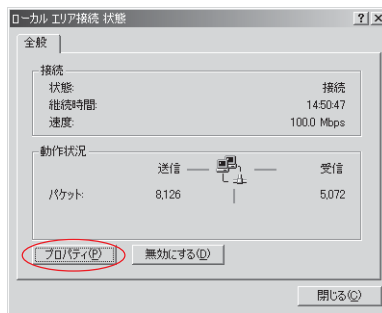
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

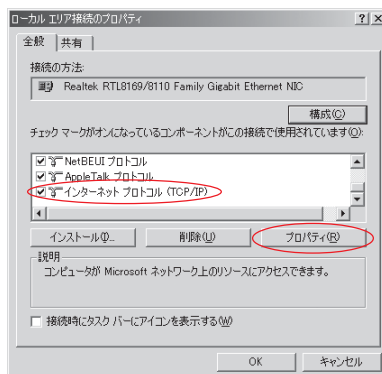
2

[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックし、[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。

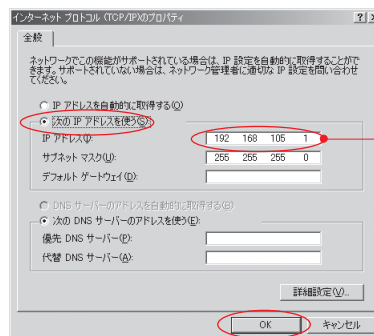
[ローカルエリア接続状態]ダイアログボックスが表示されます。

3

[プロパティ]をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

[インターネットプロトコル(「TCP/IP」)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

[次のIPアドレスを使う]を選択し、サーバーのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

必要に応じて、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレスを入力してください。

工場出荷時では、IPアドレスは「192.168.105.1」、サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定されています。

6 [ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

以上で、サーバーのIPアドレスが設定されました。

Windows 2000のアカウントを設定する

サーバー管理への不正アクセスを防止するために、「Administrator」のパスワードを設定します。パスワードを設定すると、サーバーの起動時にWindows 2000のログインダイアログボックスで、パスワードの入力が必要になります。

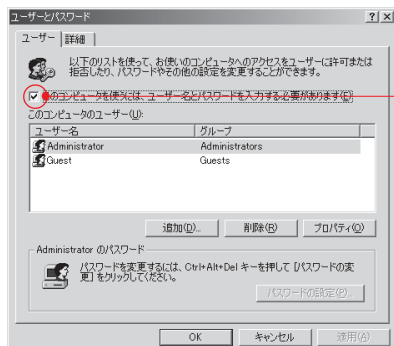
操作手順

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

2 [ユーザーとパスワード]をダブルクリックします。

[ユーザーとパスワード]ダイアログボックスが表示されます。

3 [このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります]をオンにします。

4 <Ctrl>キーと<Alt>キーを同時に押しながら、<Delete>キーを押します。

[Windows のセキュリティ]ダイアログボックスが表示されます。

5 [パスワードの変更]をクリックします。

[パスワードの変更]ダイアログボックスが表示されます。

6 以下の項目を入力し、[OK]をクリックします。

古いパスワード

現在のパスワードを入力します。

> 工場出荷時のAdministratorのパスワードは、「printserver_v6.1」に設定されています

新しいパスワード

半角英数字で新しいパスワードを入力します。任意の文字列を設定できます。空欄でもかまいません。

新しいパスワードの確認入力

同じパスワードをもう一度入力します。

7 [Windowsのセキュリティ]ダイアログボックスで、[キャンセル]をクリックします。[ユーザーとパスワード]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

以上で、「Administrator」パスワードが有効になります。続いて、お使いになるネットワークの環境を設定します。

AppleTalkで使用する場合

Macintoshからの印刷データを受信するための設定をします。

AppleTalkの設定をする

ここでは、サーバーが表示されるAppleTalkのゾーンを設定します。

操作手順

1

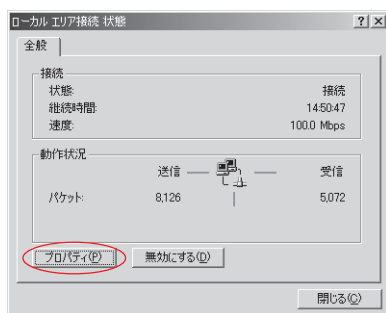
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

2

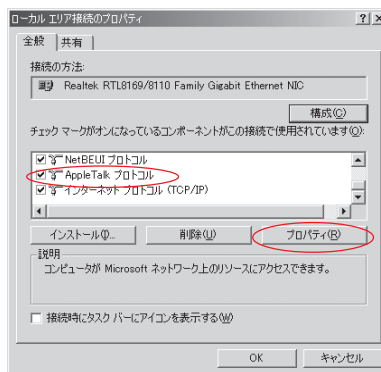
[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックし、[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。

[ローカルエリア接続状態]ダイアログボックスが表示されます。

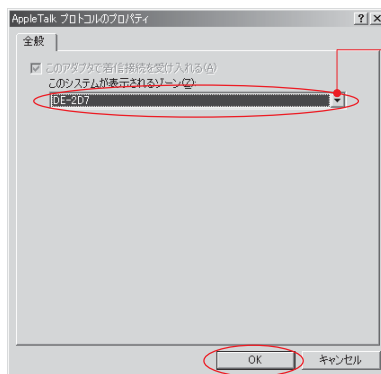
3

[プロパティ]をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

4

[AppleTalkプロトコル]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

[AppleTalkプロトコルのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

5

[このシステムが表示されるゾーン]を選択し、[OK]をクリックします。

をクリックして表示される一覧から選択します。

6

[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

以上で、サーバーが表示されるAppleTalkのゾーンが設定されました。

続いてServerManagerの設定をします。

ServerManagerにログインする

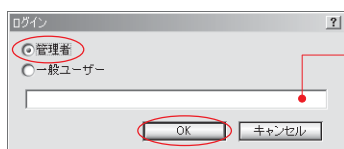
操作手順

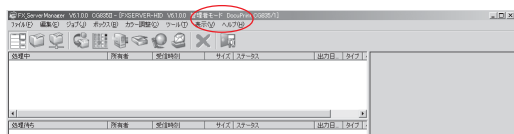
1

ServerManagerウィンドウで、をクリックします。または、[ファイル]メニューから[ログイン]を選択します。

[ログイン]ダイアログボックスが表示されます。

2

[管理者]をオンにし、管理者パスワードを入力して、[OK]をクリックします。

「サーバーを起動する」の手順3で設定したパスワードを入力します。

ServerManagerが管理者モードになります。

以上で、サーバーの設定や操作ができるようになりました。

ServerManagerの設定をする

ServerManagerで、AppleTalkからプリントするときに使用するプリンター名を設定します。

以下の設定を行うには、ServerManagerに管理者でログインする必要があります。

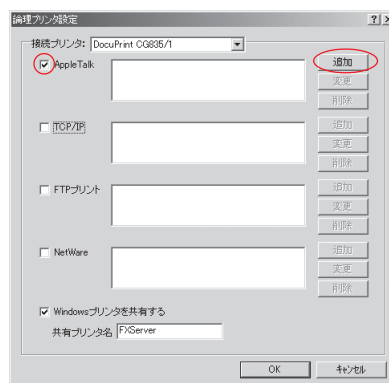
操作手順

1

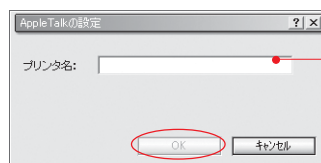
ServerManagerで、[ツール]→[サーバーの環境設定]→[論理プリンタの設定]を選択します。

[論理プリンタ設定]ダイアログボックスが表示されます。

2

[AppleTalk]をオンにして、[追加]をクリックします。

[AppleTalkの設定]ダイアログボックスが表示されます。

3

AppleTalkからプリントするときに使用するプリンター名を入力し、[OK]をクリックします。

プリンター名には、「FXPSS」をお勧めします。

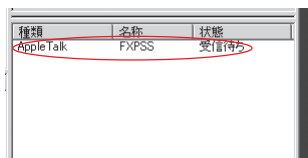
複数のプリンターを設定するときは、手順2～3を繰り返します。設定できるプリンターは、最大50個です。

同一ゾーン内で複数のプリンターを使用している場合は、それぞれ別のプリンター名を付けてください。

4

[論理プリンタ設定]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

5

ServerManagerネットワーク状態ウィンドウに「AppleTalk」が表示されていることを確認します。

以上で、Macintoshクライアントからの印刷データを受信できるようになりました。

TCP/IPネットワークで使用する場合

TCP/IPクライアントからのLPR/LPDプリントジョブ、およびFTPプリントジョブを受信するために設定を行います。

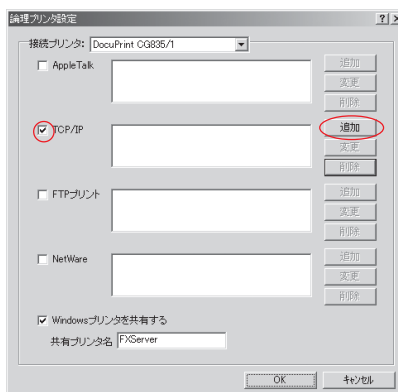
以下の設定を行うには、ServerManagerに管理者でログインする必要があります。
→「ServerManagerにログインする」(11ページ)

操作手順

ServerManagerで、[ツール]→[サーバーの環境設定]→[論理プリンタの設定]を選択します。

[論理プリンタ設定]ダイアログボックスが表示されます。

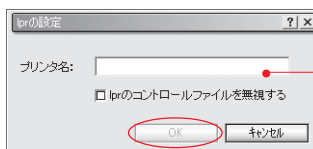
2

[TCP/IP]をオンにして、[追加]をクリックします。

[lprの設定]ダイアログボックスが表示されます。

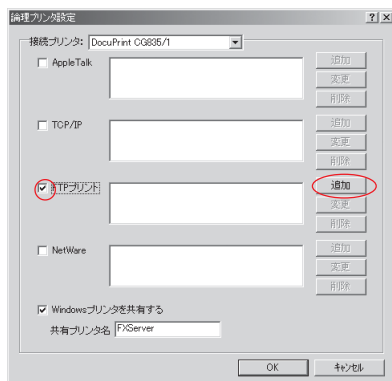
3

lprからプリントするときに使用するプリンター名を入力し、[OK]をクリックします。

プリンター名には、「FXPSS」をお勧めします。

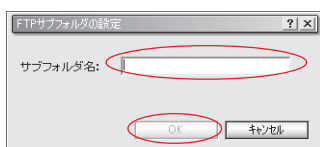
補足

- ここで設定したプリンター名が、クライアントからlpr出力するときのキュー名になります。
- 複数のプリンターを設定するときは、手順2〜3を繰り返します。設定できるプリンターは、最大50個です。

4

FTPプリントをする場合は、[FTPプリント]をオンにして、[追加]をクリックします。

[FTPサブフォルダの設定]ダイアログボックスが表示されます。

5

サブフォルダー名を入力し、[OK]をクリックします。

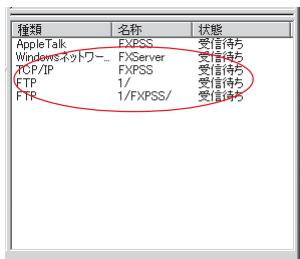
補足

- サブフォルダーは、作業用フォルダー「ftp¥folder1」の下に作成されます。
- 複数のフォルダーを設定するときは、手順4～5を繰り返します。設定できるプリンターは、最大50個です。

6

[論理プリンタ設定]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

7

ServerManagerネットワーク状態ウィンドウに「TCP/IP」および「FTP」が表示されていることを確認します。

種類	名称	状態
AppleTalk	FXPSS	受信待ち
Windowsネットワー...	FXServer	受信待ち
TCP/IP	FXPSS	受信待ち
FTP	1/	受信待ち
FTP	1/FXPSS/	受信待ち

以上で、LPR/LPDプリントジョブ、およびFTPプリントジョブを受信できるようになりました。

スタートアップページのプリント

スタートアップページでは、サーバーのシステム情報や設定情報を確認できます。
スタートアップページには、以下の項目がプリントされます。

- 総プリントページ数
- 全体
- フォント
- ページ記述言語（PDL）
- 画質
- オプション
- 用紙サイズ
- 設定
- サーバー/マシン
- コミュニケーション

操作手順

1

ServerManagerで、[ファイル]メニューから[スタートアップページの印刷]を選択します。

[スタートアップページの印刷]ダイアログボックスが表示されます。

2

[用紙トレイ]、[排出先]を設定し、[OK]をクリックします

スタートアップページが印刷されます。

補足

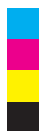
総プリントページ数は、リカバリーCD-ROM を使ってシステムの再セットアップをすると、「0」にリセットされます。リカバリーCD-ROMについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「付録C リカバリーCD-ROM の使い方」を参照してください。

セットアップ時の障害対応

サーバーのセットアップや接続のときに発生するおそれがある、代表的な障害について対処方法を説明します。

状況	対処方法
サーバーを設置してケーブル類の接続を終了したあと、電源スイッチを押しても立ち上がらない。	・サーバーに電源ケーブルが正しく接続されていること、および電源プラグが使用できるコンセントに接続されていることを確認します。 ・すべてのケーブルが接続されていることを確認します。接続が正しいときには、動作が確認できている、ほかのキーボードやケーブルがあれば、それをサーバーのものと交換してみてください。
サーバーが立ち上がっているようだが、ディスプレイに何も表示されない。	・ディスプレイの電源コードが接続されていること、および電源プラグが使用できるコンセントに接続されていることを確認します。 ・ディスプレイケーブルの両端が正しく接続されていることを確認します。 ・ディスプレイの電源が入っている(パワーインジケーター(前面のグリーンのランプ)が点灯している)ことを確認します。 ・接続できる、ほかのディスプレイがあれば、サーバーのものと交換してみてください。
サーバーは立ち上がるが、キーボードとマウスが機能しない。	・キーボードとマウスが正しく接続され、すべてのケーブルが接続されていることを確認します。接続が正しいときには、動作が確認できている、ほかのキーボードやケーブルがあれば、それをサーバーのものと交換してみてください。 ・マウスが接続されている場合、動作が確認できている、ほかのマウスがあれば、サーバーのものと交換してみてください。

第2章 ソフトウエアをインストールしましょう

プリンターとサーバーを接続したら、プリンタードライバーや必要なフォントなどをクライアント PC にインストールします。

INSTALL

The print server is equipped with a high speed Celeron 1.2GHz processor and 1,024 MB of memory so it can quickly process heavy data up to a few hundred mega-bytes with speedy printout from the first sheet. Moreover, RIP* data is stored on the hard disk, allowing fast reprints without the need for an applications or a PC.

インストールの前に

プリンタードライバーや市販のフォントをインストールする前に、クライアントPCの動作環境やプリンタードライバーのインストール方法を確認します。

クライアントPCの動作環境

● Macintoshをお使いの場合

サポートしているOS環境

- 漢字Talk7.6.1以降
  ただし、プリンタードライバーは、漢字Talk7.6.1より前のOSにもインストールできます。
- Mac OS X 以降
  ただし、プリンタードライバーは、Mac OS X 10.1.5、Mac OS X 10.2.8、10.3、10.4にもインストールできます。

必要なシステム環境

- 68040以降のMacintosh、またはPowerMacintosh
- ハードディスクドライブ
- ネットワーク環境(EtherTalk、TCP/IP)
- Internet Explorer 5.0以降、またはNetscape Communicator 4.5以降

● Windowsをお使いの場合

サポートしているOS環境

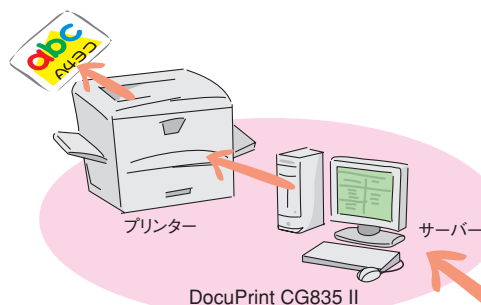
- Microsoft Windows 95
- Microsoft Windows 98
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows NT 4.0(Service Pack 4以降)
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows XP 64bit
- Microsoft Windows Server 2003

必要なシステム環境

- CPU:Pentium 100MHz以上
- ハードディスクドライブ
- ネットワーク環境(TCP/IP、Microsoft Windows Network※、NetWare※)

※ サーバーを使用するために必要な設定については、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「5.2 ネットワーク環境の設定」を参照してください。

ドライバー…

プリンターやスキャナー、マウスなどを作動させるために必要なソフトウエアです。
プリンタードライバーは、プリンターを利用するときに使います。

プリンタードライバーとは?

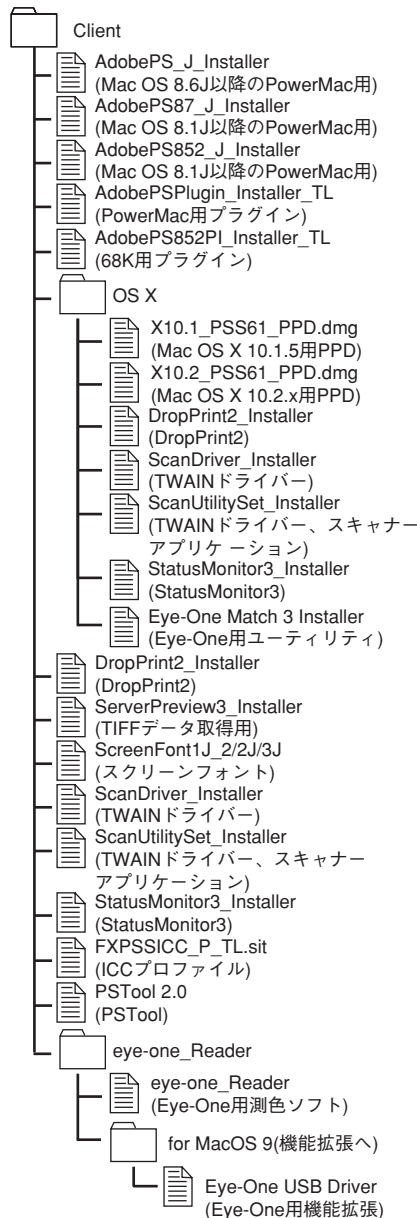
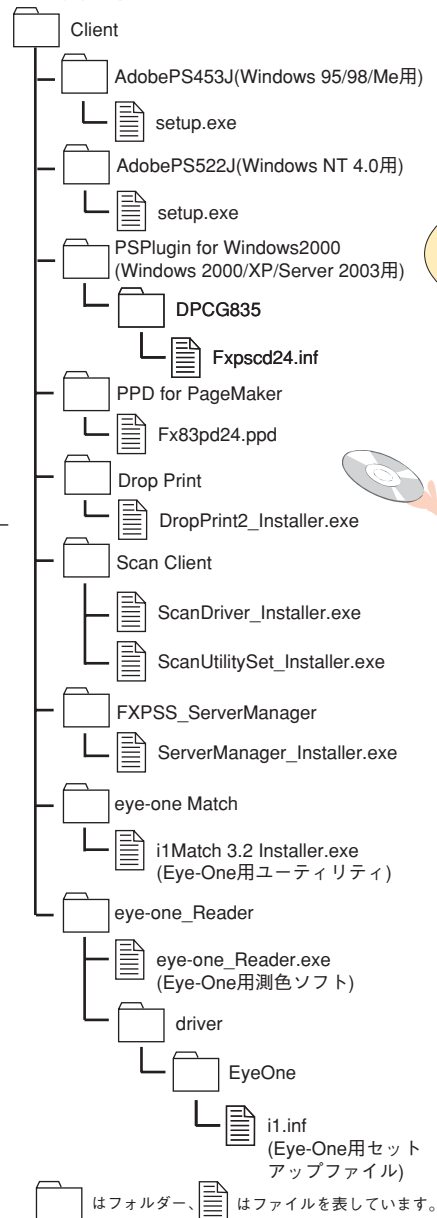
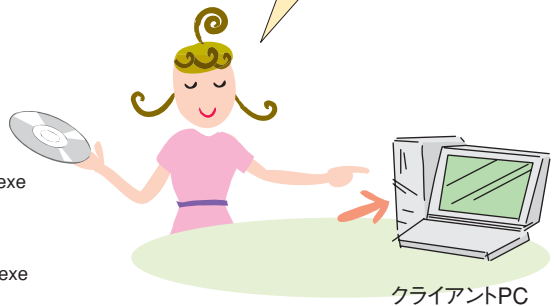
アプリケーションで作成されたデータを、印刷形式(用紙サイズ、方向、カラー印刷、グレースケール印刷など)を指定して、プリンターに渡すためのソフトウエアです。
プリンターによって印刷機能が違うため、それぞれのプリンターの機能に合ったプリンタードライバーが必要になります。たとえば、A3用紙に印刷できないプリンターでは、A3用紙は指定できません。

インストールの方法

プリンタードライバーのインストールには、次の方法があります。

- サーバーに同梱されているCD-ROMからインストールする
- サーバーからダウンロードしてインストールする

CD-ROMからインストールする場合

同梱されているCD-ROMには、以下のファイルやフォルダーが含まれています。
Macintoshの場合はファイル名に「Installer」、Windowsの場合は拡張子に「.exe」がついているファイルをダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

サーバーからダウンロードする場合

サーバーから、以下のソフトウエアをダウンロードできます。

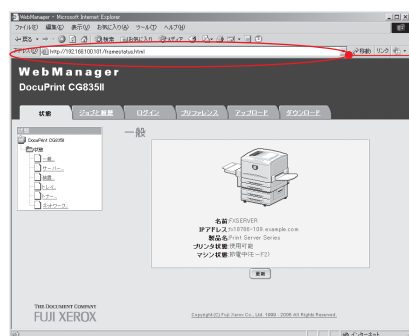
ソフトウエア	Macintosh				Windows	
	Mac OS X 10.2.8以降	Mac OS X 10.1.5以降	Power Mac	68K	95/98/Me/NT	2000/XP/Server 2003
プリンタードライバー	—	—	—	○	○	—
プリンタードライバー1※1	—	—	○	—	—	—
プリンタードライバー2※1	—	—	○	—	—	—
プリンタードライバープラグイン	○	—	○	○	—	○
プリンター記述ファイル	○	○	—	—	—	○
スクリーンフォント(1/2/3)	—	—	○	○	—	—
PageMaker用PPD	—	—	—	—	○	○
DropPrint(DropPrint2)	○	—	○	○	○	○
ScanDriver	○	—	○	○	○	○
ScanUtility(ScanUtility2)	○	—	○	○	○	○
ServerPreview(ServerPreview3)	—	—	○	○	—	—
ServerManager	—	—	—	—	—	○
StatusMonitor3	○	—	○	○	—	—
ICCプロファイル	—	—	○	○	○	○

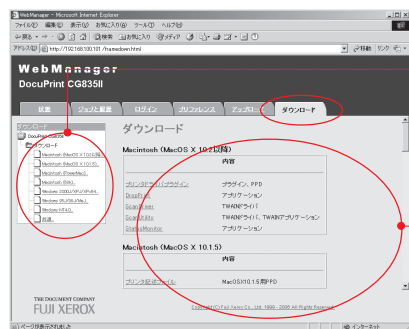
※1 PowerMac用に2種類のドライバーを提供しています。
　プリンタードライバー1…Mac OS 8.6J以降のPowerMac用
　プリンタードライバー2…Mac OS 8.1J以降のPowerMac用

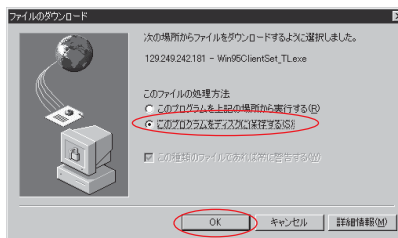
ここでは例として、Internet Explorerを使ってサーバーからソフトウエアをダウンロードする手順について説明します。

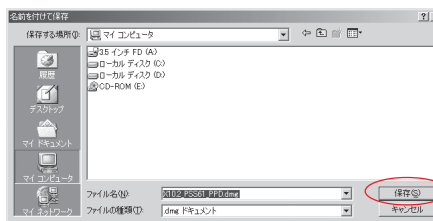
操作手順

1. Internet Explorerを起動し、[アドレス]欄に「http://」に続けてサーバーのIPアドレスを入力し、<Enter>キーを押します。

WebManager画面が表示されます。

「http://」に続けてサーバーのIPアドレスを入力します。

2. [ダウンロード]をクリックし、左側のフレームからお使いのOSを、右側のフレームからインストールするソフトウエアをクリックします。

[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されます。

3. [このプログラムをディスクに保存する]を指定して、[OK]をクリックします。

[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

4. 保存する場所を指定して、[保存]をクリックします。

ソフトウエアのダウンロードが開始されます。

5. プリンタードライバー、PPDをダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

ファイルが解凍されます。

以上で、ソフトウエアのダウンロードは完了です。
続いてソフトウエアをインストールする場合は、次ページ以降の該当するコンピューターの節を参照してください。

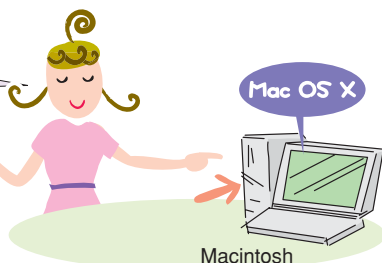
Macintoshをお使いの場合

お使いのOSに応じて、操作方法が異なります。

- Mac OS Xをお使いの場合：「Mac OS X用プリンターを作成する」(下記)に進んでください。
- PowerMacをお使いの場合：「Macintosh用プリンタードライバーをインストールする」(23ページ)に進んでください。

Mac OS X用プリンターを作成する

Mac OS X用プリンター記述ファイル（PPD）をMac OS X 10.1.5または10.2.8以降のMacintoshにインストールします。ここでは、Mac OS X 10.2.8の画面の例で説明します。

補足

Mac OS Xをお使いの場合は、プリンタードライバーのインストールは必要ありません。OSに付属のLaserWriter用プリンタードライバーを使用します。

操作手順

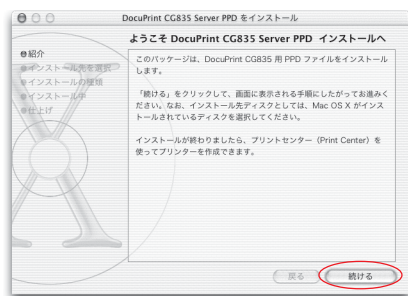
1

CD-ROMの「Client」フォルダーの「OS X」フォルダー内にあるPSS61_PPD.dmgアイコンをダブルクリックし、マウントされたイメージ内のPPDインストーラパッケージをダブルクリックします。

- 10.1.5の場合：
  「X10.1_PSS61_PPD.dmg」内の
  「X10.1_PSS61_PPD.pkg」
- 10.2.8以降の場合：
  「X10.2_PSS61_PPD.dmg」内の
  「X10.2_PSS61_PPD.pkg」

管理者パスワードを求める画面が表示された場合は、[]ボタンをクリックし、表示される[認証]画面で管理者のパスワードを入力してください。
インストール画面が表示されます。

2

[続ける]をクリックします。

[インストール先を選択]画面が表示されます。

3

インストール先を選択し、[続ける]をクリックします。

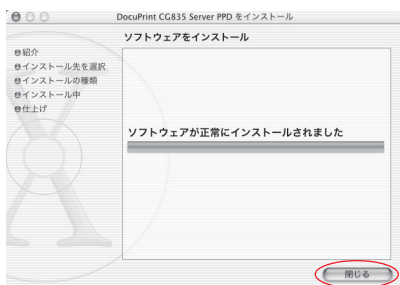
[簡易インストール]画面が表示されます。

4

[インストール]をクリックします。

インストールが始まります。インストールが終了すると、次の画面が表示されます。

5

[閉じる]をクリックします。

以上で、PPDファイルのインストールは完了です。
続いて手順6に進み、プリンターの作成を行います。

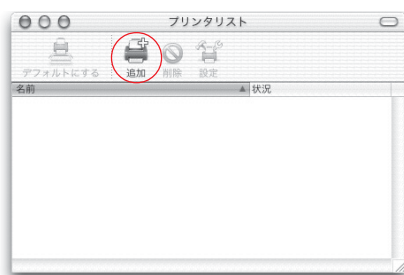
6

「Applications」フォルダー→「Utilities」フォルダーの順に開き、Print Centerアイコンをダブルクリックします。

Mac OS X 10.4では、「システム環境設定」→「プリントとファクス」の順に開き、[プリント]をダブルクリックします。

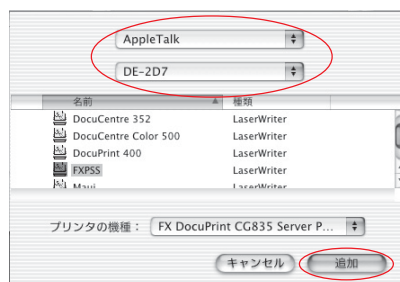
[プリンタリスト]ウィンドウが表示されます。

7

[追加]をクリックします。

Mac OS X 10.4では、[+]をクリックします。

次の画面が表示されます。

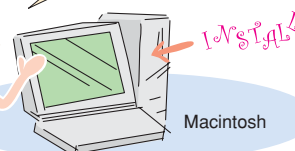
8

[AppleTalk]、およびサーバーが属しているゾーンを選択し、リストからサーバーを選択して、[追加]をクリックします。

9

[プリンタリスト]ウィンドウを閉じます。

Macintosh用プリンタードライバーをインストールする (68K/PowerPC搭載のMacintosh)

お使いのMacintoshに応じて、以下のファイルをインストールしてください。

- 68Kをお使いの場合：
  AdobePS852_J_InstallerとAdobePS852_PI_Installer_TL
- PowerMac(Mac OS 8.1J以降)をお使いの場合：
  AdobePS87_J_InstallerとAdobePS_PlugIn_Installer_TL
- PowerMac(Mac OS 8.6J以降)をお使いの場合：
  AdobePS_J_Installer とAdobePS_PlugIn_Installer_TL

インストールの前に

Macintosh 68K用のAdobePS8.5.2Jドライバーを、Mac OS8.5以降のPowerMacで使用するときは、AdobePS8.5.2Jドライバーをインストールする前に、機能拡張フォルダー内の｢PrintingLib｣を削除してください。

操作手順

1 CD-ROMをセットし、プリンタードライバーをダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

2 [続ける]をクリックして、インストールを続行します。

エンドユーザーライセンス契約書が表示されます。

3 [同意]をクリックします。

AdobePSのインストール画面が表示されます。

4 [インストール]をクリックします。

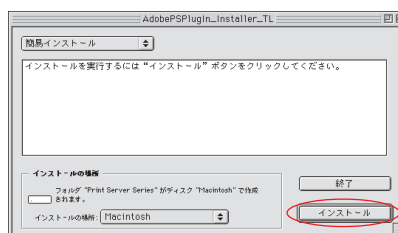
インストールが始まります。インストールが終了すると、インストーラーを終了するためのウィンドウが表示されます。

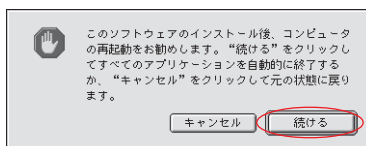
5 [終了]をクリックし、インストーラーを終了します。

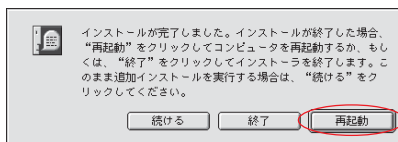
続いてプリンタードライバープラグインをインストールします。

6 ダウンロードしたプラグインをダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

7 [インストール]をクリックします。

インストール後に再起動を勧めるウィンドウが表示されます。

8 [続ける]をクリックします。

インストールが終了すると、コンピューターを再起動するためのウィンドウが表示されます。

9 [再起動]をクリックし、コンピューターを再起動します。

以上で､プリンタードライバーのインストールは完了です。
続いて手順10に進み、プリンターの作成を行います。

10 アップルメニューから[セレクタ]を選択します。

[セレクタ]ウィンドウが表示されます。

11

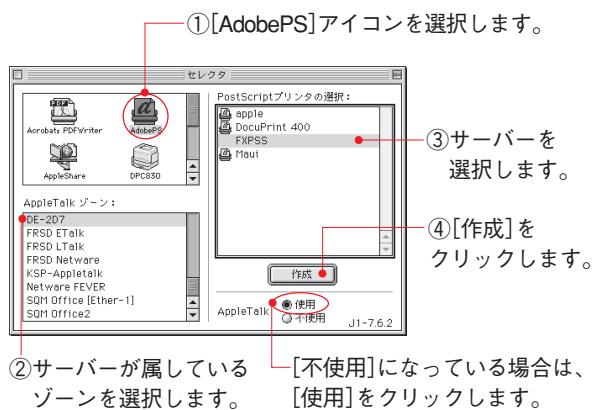
[AdobePS]アイコンを選択し、[AppleTalkゾーン]からサーバーが属しているゾーンを選択します。次に、[PostScriptプリンタの選択]に表示されたリストからサーバーを選択し、[作成]をクリックします。
サーバーの名称やゾーン名がわからない場合は、使用しているネットワーク管理者に確認してください。

①[AdobePS]アイコンを選択します。

③サーバーを選択します。

④[作成]をクリックします。

②サーバーが属しているゾーンを選択します。

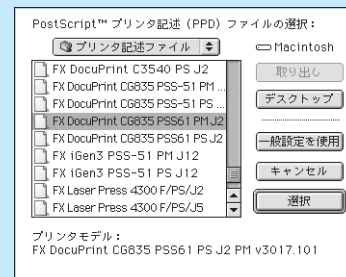
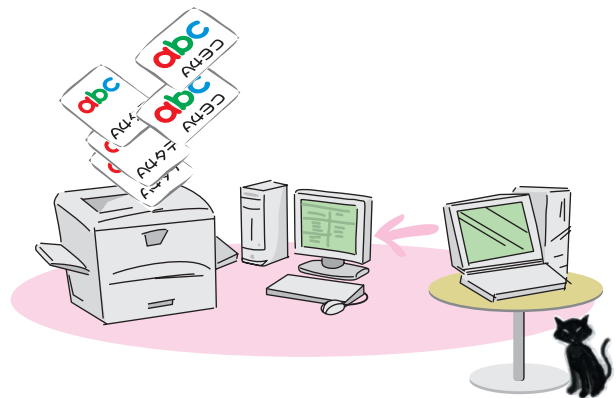
[不使用]になっている場合は、[使用]をクリックします。

サーバーの機種に合ったAdobePSドライバー用のPPDファイル(FX DocuPrint CG835 PSS-61 PS J2)が自動的に選択され、プリンターの作成が完了します。

PageMakerからプリントする場合は、[セレクタ]ウィンドウの[再設定]をクリックします。表示された画面で[PPDの選択]をクリックして、次のPPDを選択してください。

●FX DocuPrint CG835 PSS61 PM J2

12

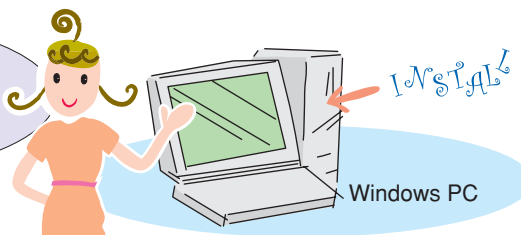
[セレクタ]ウィンドウを閉じます。

2 ソフトウエアをインストールしましょう

Windowsをお使いの場合

ここでは、Windows 2000/XP、Windows Server 2003用のプリンタードライバーのインストールについて説明します。

Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0用のプリンタードライバーのインストールについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「5.1 プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

Windows 2000/XP、Windows Server 2003用のプリンタードライバーをインストールする

ここでは例として、
Windows 2000でStandard TCP/IPを
使用する場合について説明します。

インストールの前に

起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。

プリンタードライバーのインストールは、Administrator権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

プリンタードライバーのインストールは、共有プリンターを使う場合と使わない場合で異なります。ここでは、共有プリンターを使わない場合について説明します。

共有プリンターを使う場合については、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「5.1.3 Windows 2000/XP、Windows Server 2003用プリンタードライバーのインストール(共有プリンターを使う場合)」を参照してください。

操作手順

[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択します。

[プリンタ]ウィンドウが表示されます。

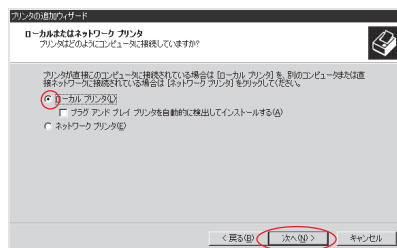
2

[プリンタの追加]をダブルクリックします。

[プリンタの追加ウィザード]が表示されます。

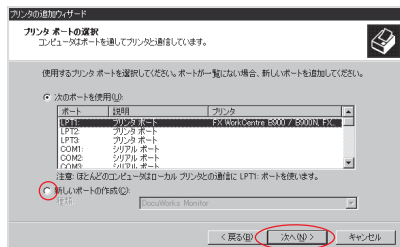
[次へ]をクリックします。

[ローカルまたはネットワークプリンタ]画面が表示されます。

[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

[プリンタポートの選択]画面が表示されます。

2 ソフトウエアをインストールしましょう

5

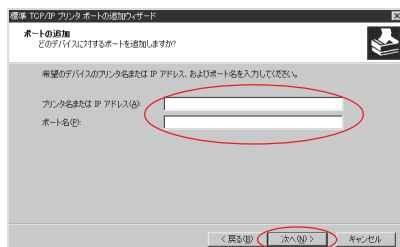
[新しいポートの作成]を選択し、[種類]で[Standard TCP/IP Port]を選択し、[次へ]をクリックします。

[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]が表示されます。

6

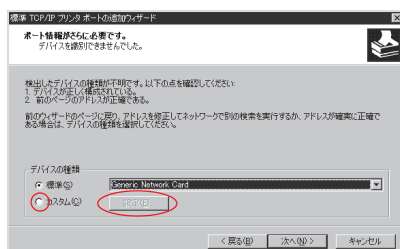
[次へ]をクリックします。

[ポートの追加]画面が表示されます。

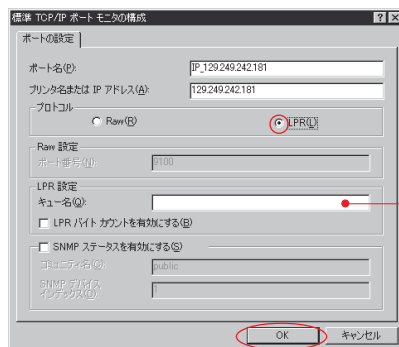
7

[プリンタ名またはIPアドレス]にサーバーのIPアドレスを、[ポート名]に、サーバーに設定しているTCP/IPのプリンター名を入力して、[次へ]をクリックします。

ポート情報を詳細に設定する画面が表示されます。

8

[デバイスの種類]で[カスタム]を選択し、[設定]をクリックします。

[標準TCP/IPポートモニタの構成]ダイアログボックスが表示されます。

9

[プロトコル]で[LPR]を選択し、[LPR設定]の[キュー名]にサーバーに設定してあるTCP/IPのプリンター名を入力して、[OK]をクリックします。

「TCP/IPネットワークで使用する場合」(12ページ)の手順3で設定した名前を入力します。

Rawモードはサポートしていません。

10

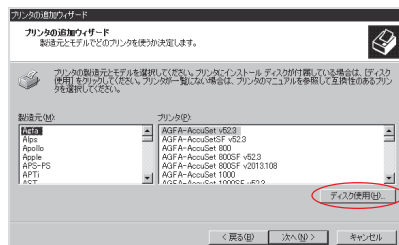
[プリンタの追加ウィザード]画面に戻ったら、[次へ]をクリックします。

11

[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]の完了画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

プリンターの製造元とモデルを選択するダイアログボックスが表示されます。

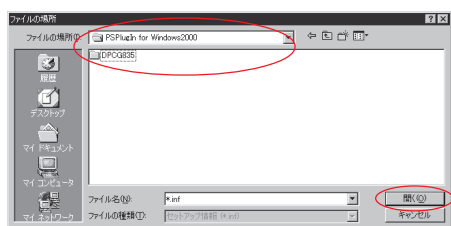
12

[ディスク使用]をクリックします。

13

[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されたら、[参照]をクリックします。

[ファイルの場所]ダイアログボックスが表示されます。

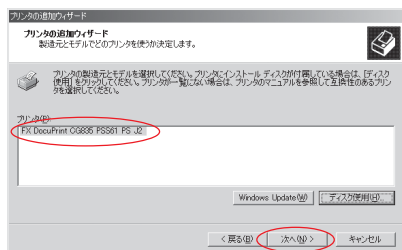
14

CD-ROM内の「Client」フォルダーにある「PSPlugIn for Windows2000」フォルダーを指定し、[DPCG835]→[Fxpscd24.inf]を選択して、[開く]をクリックします。

15

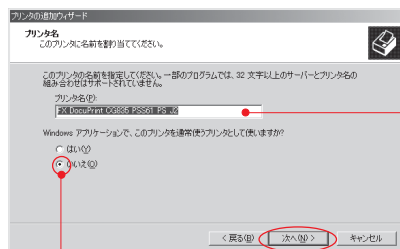
[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスに戻ったら、[OK]をクリックします。

PPDが表示されます。

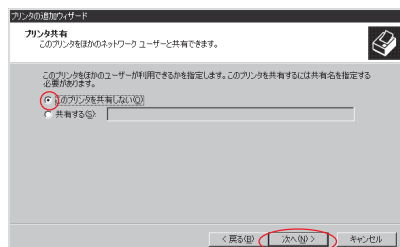
16

[FX DocuPrint CG835 PSS61 PS J2]を選択して、[次へ]をクリックします。

[プリンタ名]画面が表示されます。

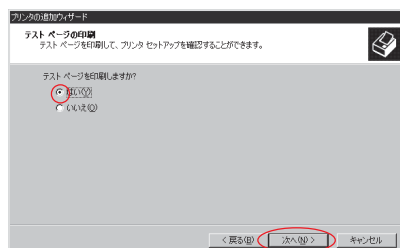
17

以下の項目を設定し、[次へ]をクリックします。

[プリンタ共有]画面が表示されます。

18

プリンターを共有する場合は[共有する]を指定し、プリンターの共有名をテキストボックスに入力します。共有しない場合は[このプリンタを共有しない]を指定し、[次へ]をクリックします。

[テストページの印刷]画面が表示されます。

19

インストールの完了後にテストページをプリントする場合は[はい]を指定し、[次へ]をクリックします。

20

[プリンタの追加ウィザード]の完了画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
表示されるデジタル署名の画面で[はい]をクリックして、インストールを終了します。

21

[プリンタ]ウィンドウを閉じます。

PageMakerを使用する場合、PageMaker用PPDをインストールしてください。
PageMaker用PPDのインストールについては、「PageMaker用PPDのインストール」(32ページ)を参照してください。

以上でドライバーのインストールは完了です。

便利なソフトウエアをクライアントPCにインストールする

DocuPrint CG835 IIでは、プリント作業をサポートする以下の便利なソフトウエアを用意しています。必要に応じて、インストールしてご利用ください。

各ソフトウエアのアイコン名については、「インストール方法」(31ページ)を参照してください。

ソフトウエアの種類

● DropPrint2 (Macintosh, Windows)

ドキュメントを作成したアプリケーションを開かずに、印刷データをサーバーに送信するためのソフトウエアです。クライアントPCにインストールして使います。
DropPrint2を使うと、ドキュメントを作成したアプリケーションがなくてもプリントできます。
また、プリントオプションが同じ設定の複数の印刷データをプリントするときは、印刷データごとにプリント指示をしなくても1回の指示でプリントできます。
DropPrint2では、以下のファイルフォーマットをプリントできます。

- PostScript
- EPS
- PDF
- TIFF
- SunRaster
- XWD
- JPEG

● StatusMonitor3 (Macintosh のみ)

AppleTalkプロトコルを使用して、Macintoshからサーバーや印刷データの状態を確認するためのソフトウエアです。

- サーバーに送信した印刷データを確認したり、保存した印刷データを削除したりできます。
- サーバーの状態、プリンターにセットされている用紙サイズや用紙の残量、トナー量などを確認できます。

● ServerPreview3 (Macintoshのみ)

ServerPreview3を使うとPrint Serverのtiffフォルダー(D:¥Fuji Xerox¥Print Server Series¥Work¥tiff)からAppleTalkを使ってファイルをダウンロードできます。また、次のファイルを表示するためのアプリケーションを指定できます。

- TIFF
- JPEG
- PDF
- EPS
- PostScript

● ServerManager(Windowsのみ)

クライアントからサーバーに送られたプリントジョブの状態・順番の変更や、プリントオプションの設定・編集などを行うソフトウエアです。また、プリント履歴やフォントの管理、スキャン、PDF配信も行えます。

インストール方法

起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。

ここでは例として、DropPrint2をインストールするときの手順を説明します。

Macintoshをお使いの場合

操作手順

1

CD-ROM内のDropPrint2のアイコンをダブルクリックします。
インストーラーが起動します。

2

[インストール]をクリックします。

インストールが始まります。インストールが終了すると、インストーラーを終了するためのウィンドウが表示されます。

3

[終了]をクリックして、インストーラーを終了します。

以上で、DropPrint2のインストールは完了です。

「DropPrint2を使ってプリントする」
(83ページ)

Windowsをお使いの場合

操作手順

1

CD-ROM内の「Client」フォルダーにある「Drop Print」フォルダーを開き、DropPrint2のアイコンをダブルクリックします。

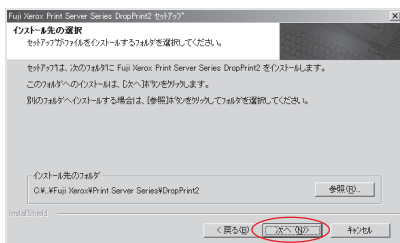
DropPrint2のインストーラーが起動し、次のような画面が表示されます。

2

[次へ]をクリックします。

[インストール先の選択]ダイアログボックスが表示されます。

3

インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして、インストールディレクトリを指定します。
[次へ]をクリックします。

インストールが開始されます。
インストールが終了すると、ウィザードの完了画面が表示されます。

4

[完了]をクリックして、インストールを終了します。

以上で、DropPrint2のインストールは完了です。

「DropPrint2を使ってプリントする」
(83ページ)

PageMaker用PPDのインストール

PageMakerから印刷する場合は、専用のPPDファイルをインストールする必要があります。

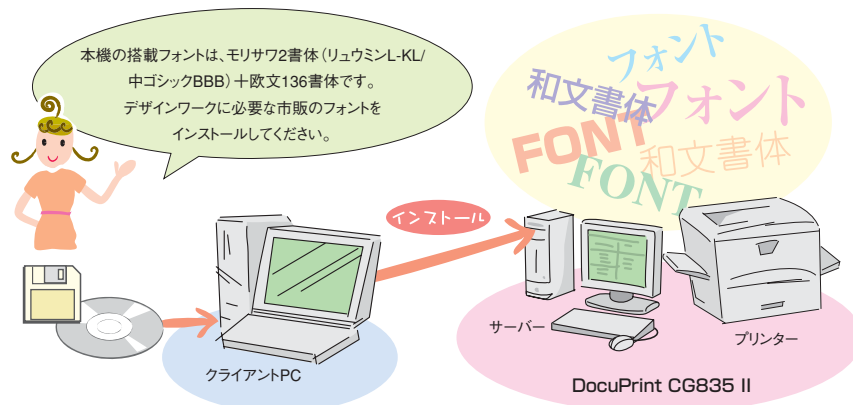
操作手順

1

CD-ROM内の「Client」フォルダーにある「PPD for PageMaker」フォルダーを開き、PageMaker用PPDファイル(Fx83pd24.ppd)を、以下のディレクトリにコピーします。

- PageMaker6.5J/7.0Jの場合
  PageMakerのインストールディレクトリ¥Rsrc¥Japanese¥PPD4
- PageMaker6.0Jの場合
  PageMakerのインストールディレクトリ¥Rsrc¥PPD4

以上で、PageMaker用PPDのインストールは完了です。

市販のフォントをインストールする

補足

欧文フォントのダウンロードには、製品に同梱されているPSTool 2.0Jを使用してください。

注記

●市販フォントをインストールする場合は、まずServerManagerの［ツール］→［サーバーの環境設定］→［論理プリンタの設定］からAppleTalkのプリンターを作成してください。そのあと、市販フォントをインストールしてください。AppleTalkのプリンターの作成方法は、「AppleTalkで使用する場合」（10ページ）を参照してください。
●フォントをインストールするときは、必ずサーバーとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れておいてください。

操作手順

1

サーバーの［FX_ServerManager］ウィンドウで、［ファイル］→［特別］→［フォントダウンロード開始］を選択します。

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

補足

［フォントダウンロード開始］を選択すると、［フォントダウンロード終了］を選択するまで、プリント処理は行われません。

2

クライアントのMacintoshの［セレクタ］（漢字Talk 7.6.1以降）または［プリントセンター/プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X）で、フォントダウンロード用のプリンターに接続します。

補足

フォントダウンロード用のプリンター名は、「XXX-Font」になります（「XXX」には、AppleTalkのプリンター名が表示されます）。

3

フォントメーカーのインストール手順に従い、インストールします。

4

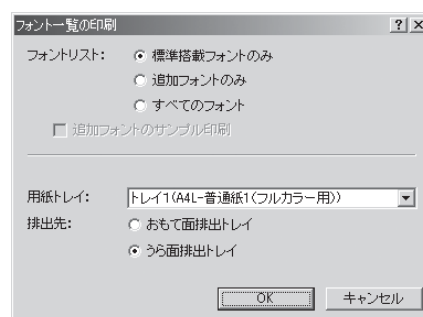
インストールが終了したら、サーバーの［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントダウンロード終了］を選択します。

5

フォントのインストールがすべて完了したら、［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントの更新］を選択します。

6

フォント一覧をプリントし、正常にインストールされているか確認します。

① ［フォントリスト］で［すべてのフォント］を選択し、［追加フォントのサンプル印刷］をオンします。

② [用紙トレイ]、[排出先]を設定して、[OK]をクリックします。

フォントー覧がプリントされます。

ほかにもインストールしたいフォントがあるときは、手順1～4を繰り返します。
フォントメーカーによっては、一度に複数の書体をインストールできる場合もあります。各フォントメーカーのインストール手順に従ってください。

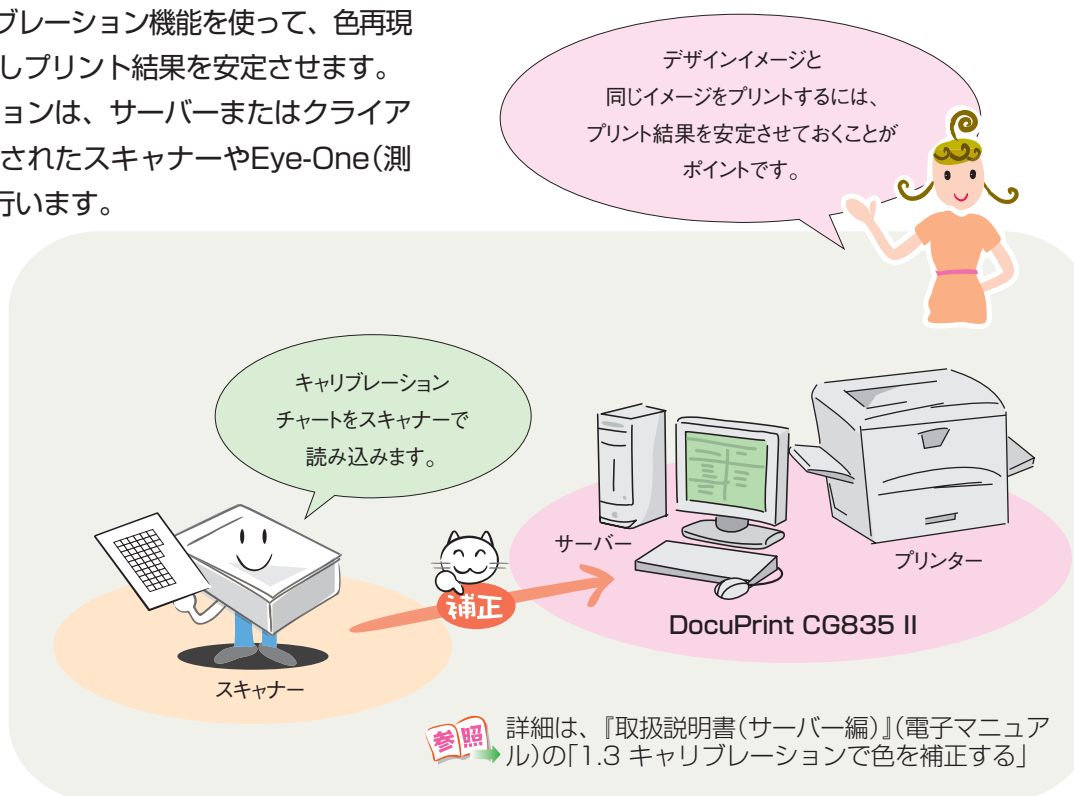
安全のため、フォントのバックアップを作成し、CD-Rなどで保管しておくことをお勧めします。万一トラブルが起きたときに、復旧作業の時間を短縮できます。フォントのバックアップについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「2.9.1 フォント情報を確認・バックアップする」を参照してください。

色の調整

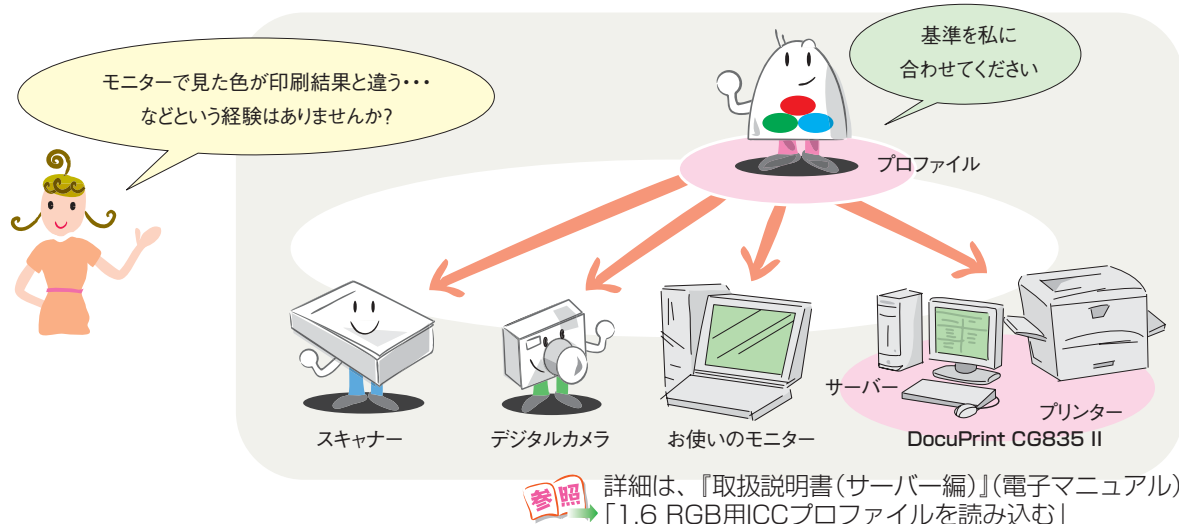
色は、表示･入力･出力方法の違いによって、結果が同じように再現されるとは限りません。
しかし、測色器を使えば、色をデータとして扱えるので、商業印刷のシミュレーションができます。
それらを簡単に説明します。

プリント結果を安定させるキャリブレーション

プリンターは使用条件、頻度により色再現性が劣化します。キャリブレーション機能を使って、色再現性の劣化を補正しプリント結果を安定させます。キャリブレーションは、サーバーまたはクライアント PCに接続されたスキャナーやEye-One(測色器)を使って行います。

詳細は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.3 キャリブレーションで色を補正する」

RGB色補正・・・

モニターがRGBデータをどのように表示するか、あるいは、スキャナーが原稿を読み取ってどのようなRGBデータに変換するかといったことは、機器に固有の特性があるため、異なります。モニターやスキャナーに用意されたICCプロファイルをRGB色補正プロファイルに適用してプリントすれば、それらの特性を補正し、プリント結果の色味をより近づけることができます。(ただし、完全に合うことを保証するものではありません。)

詳細は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.6 RGB用ICCプロファイルを読み込む」

CMYKシミュレーション

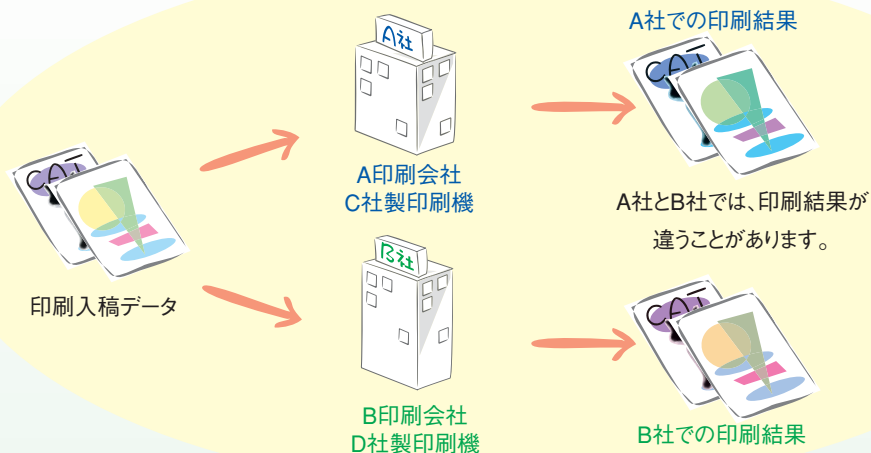
印刷の仕上がりは、印刷機・インク・用紙などによって違ってきます。

A社での印刷結果

A印刷会社
C社製印刷機

A社とB社では、印刷結果が
違うことがあります。

印刷入稿データ

B印刷会社
D社製印刷機

B社での印刷結果

印刷の仕上がりに近い色味をプリンターで再現するのがCMYKシミュレーションです。
DIC標準色、東洋インキ標準色、JMPAカラーなどのCMYKシミュレーションがあります。

あらかじめ、A印刷会社での印刷結果に近くなるように、
プリンターのCMYKシミュレーション設定をしておきます。

CMYKシミュレーションで再現した
プリンターでの印刷結果

＝

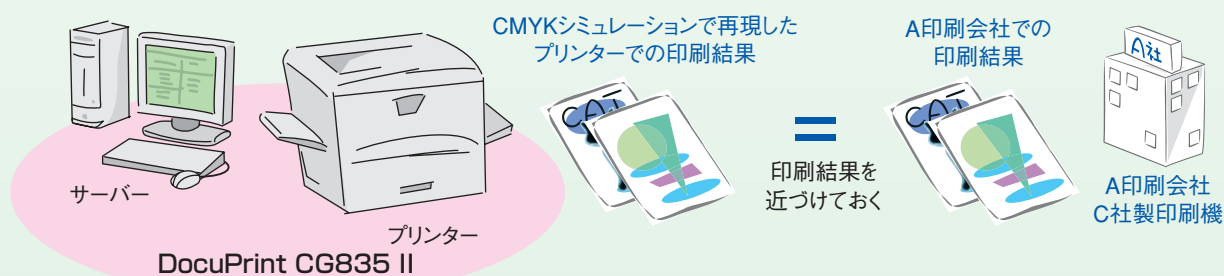
印刷結果を
近づけておく

A印刷会社での
印刷結果

A印刷会社
C社製印刷機

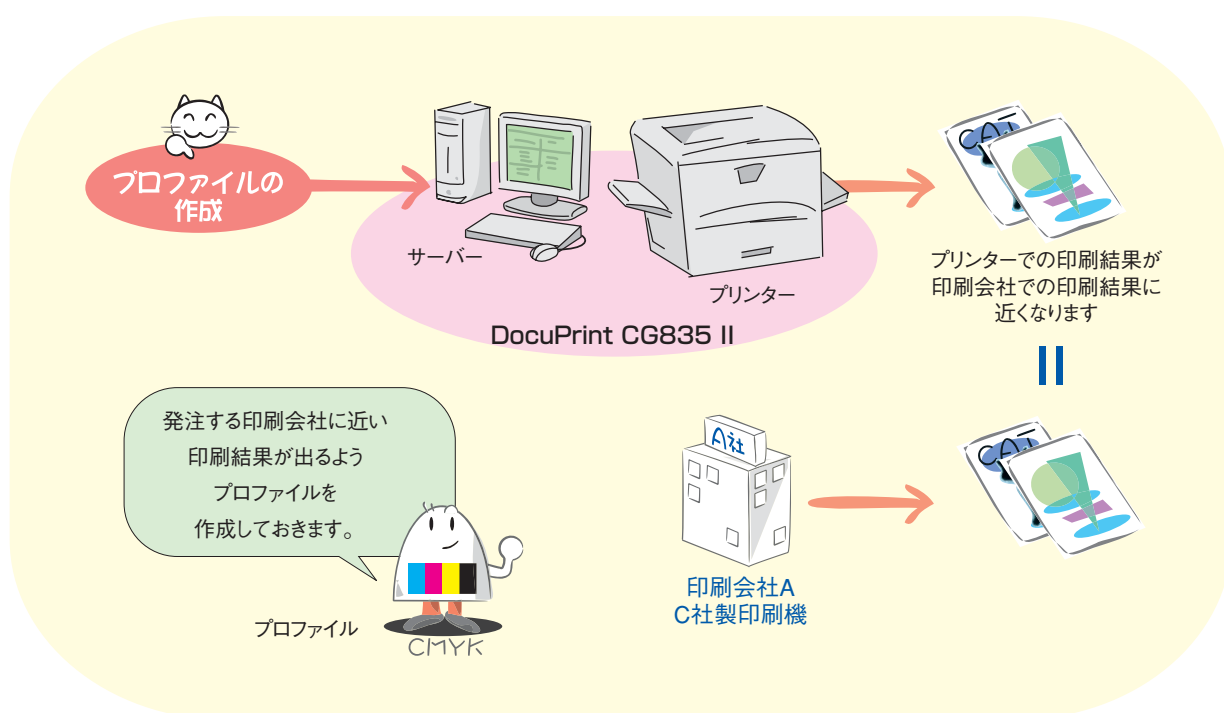
サーバー

プリンター

DocuPrint CG835 II

用意されているカラープロファイルの種類は、「CMYKシミュレーション」(101ページ)を参照してください。

カスタムCMYKプロファイルの作成

印刷物をターゲットとして印刷シミュレーションをするための、より精度の高いCMYKプロファイルを作成できます。作成には、ICC(International Color Consortium)プロファイルも使用できます。

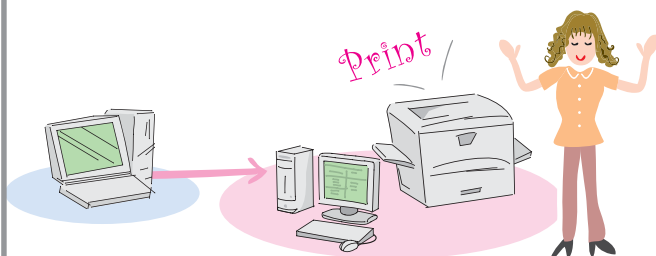
詳細は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.7 CMYKプロファイルを作成する」

入稿データにプロファイルを添付しても、印刷会社との取り決めがなければ、考えていた色で印刷されない場合もあります。
プロファイルを添付して入稿する際は、入稿前に印刷会社との打ち合わせをしてください。

ユーザー調整カーブの作成

特定の色を濃くするか、薄くするかなど、さらに詳細にプロファイルを調整できます。

詳細は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.9 ユーザー調整カーブを作成する」

第3章 プリントしましょう

基本的なプリント操作や、サーバーの基本的な機能の使い方、使用できる用紙について説明します。

DESKTOP PUBLISHING

The printer helps eliminate errors before the file is sent to the print process through its warning system, highlighting overprint areas, alerting the user if the image data is in RGB, rather than CMYK, which is necessary for printing, and indicating where lines are too thin to show up in printing.

The print server is equipped with a high speed Celeron 1.2GHz processor and 1,024 MB of memory so it can quickly process heavy data up to a few hundred mega-bytes with speedy printout from the first sheet. Moreover, RIP* data is stored on the hard disk, allowing fast reprints without the need for an applications or a PC.

プリントの基本操作

印刷データをプリントするには、クライアントPCから直接プリントする方法と、サーバーで編集してプリントする方法があります。

クライアントPCやシステム構成によって、異なる場合があります。

基本的なプリント操作の流れ

カラー・用紙の種類・画質などを設定し［プリント］ボタンを押すと、印刷データがサーバーに送信されます。

通常のプリント

1

1. プリントオプションを設定
2. 印刷データを
   サーバーに送信します。

クライアントPC

スプールオプションで「保存しない」を選択します。

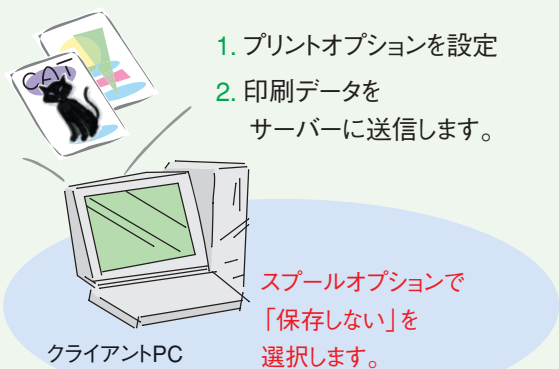
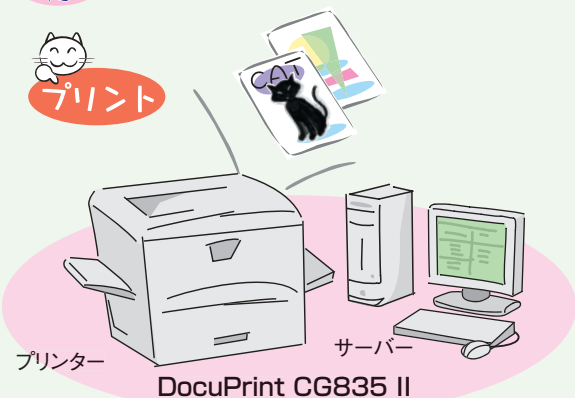
送信

2

プリント

プリンター

サーバー

DocuPrint CG835 II

クライアントPCから、直接プリントされます。

サーバーで編集してプリント

1

スプールオプションで「プリントせずに保存する」を選択します。

クライアントPC

送信

2

保存

編集

1. 印刷データのプリント
   オプションを設定・編集します。
2. プリントの指示をします。

プリンター

サーバー

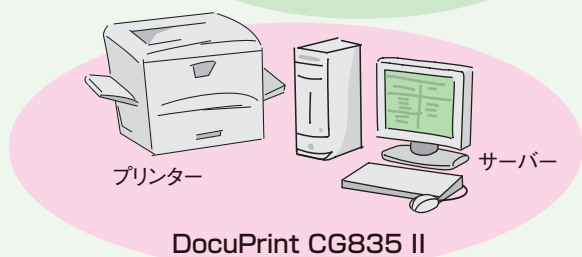
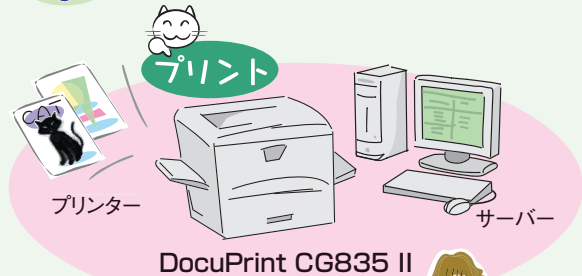
DocuPrint CG835 II

3

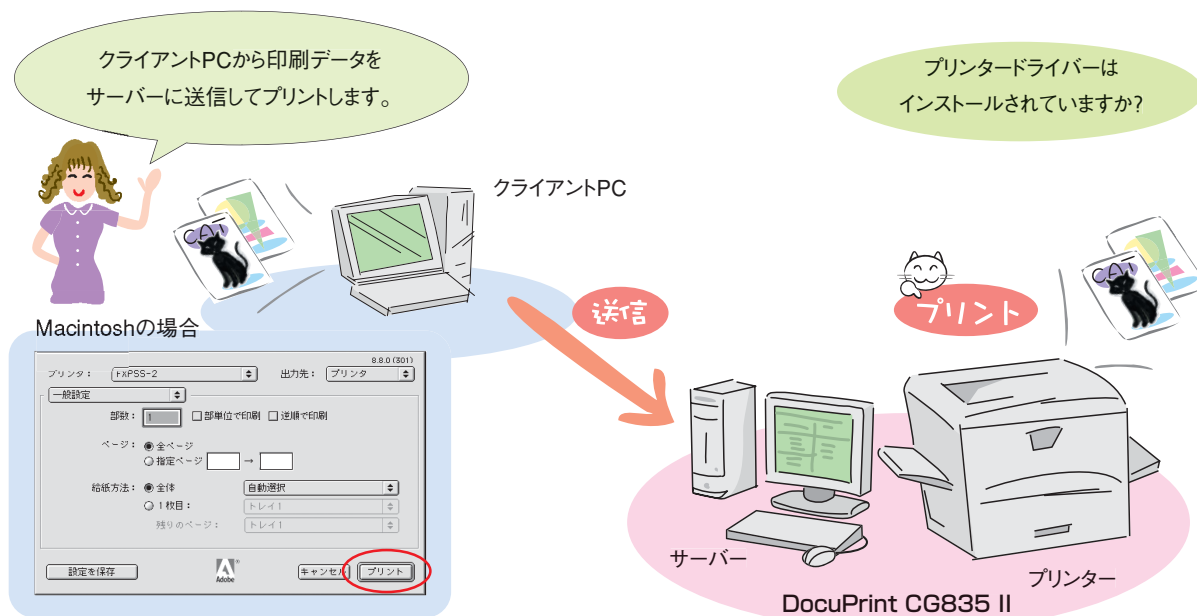
プリント

プリンター

サーバー

DocuPrint CG835 II

サーバーで編集された印刷結果になります。

印刷データをプリントする

ここでは、クライアントPCからプリントする手順について説明します。

Macintoshをお使いの場合

ここでは例として、Mac OS 9.2.2の画面を使って説明します。

操作手順

1

[セレクタ](漢字Talk 7.6.1以降)または[プリントセンター/プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X)で、Print Server Seriesのサーバーを、使用するプリンターとして選択します。

補足

●PageMakerからプリントする場合は、PageMaker用のPPDファイル(「FX DocuPrint CG835 PSS61 PM J2」)を使用します。選択されているPPDファイルの確認、およびPPDファイルの変更方法については、「Macintosh用プリンタードライバーをインストールする(68K/PowerPC搭載のMacintosh)」(23ページ)を参照してください。

●サーバーの名称やゾーン名がわからない場合は、使用しているネットワークの管理者に確認してください。

2

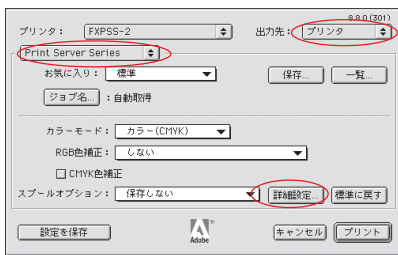
[セレクタ](漢字Talk 7.6.1以降)または[プリントセンター/プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X)を閉じます。

3

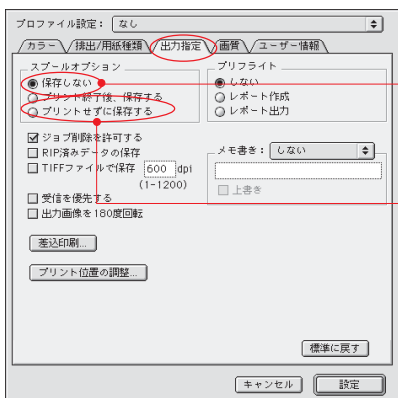
アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

プリントダイアログボックスが表示されます。

4

[出力先]から[プリンタ]を選択し、左上にあるメニューから、[Print Server Series]を選択して、[詳細設定]をクリックします。

5

[出力指定]タブを選択し、[スプールオプション]を選択します。

直接プリントするか、サーバーで編集してプリントするかによって、選択するスプールオプションが異なります。

[プリント終了後、保存する]を選択したときは、プリント終了後、印刷データがサーバーに残ります。

6

必要に応じて、その他のプリントオプションを設定し、[設定]をクリックします。

プリントオプションの詳細については、「プリントオプションをカスタマイズする」(47ページ)を参照してください。

両面印刷するときは、[排出/用紙種類]タブの両面印刷を使用してください。

7

プリントダイアログボックスで[プリント]をクリックします。

データが送信され、プリントが開始されます。

Windowsをお使いの場合

ここでは例としてWindows 2000のWordの画面を使って説明します。

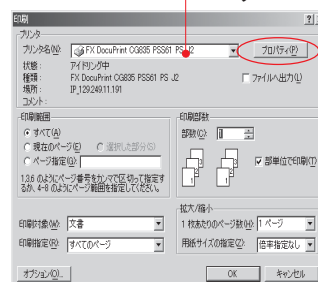
操作手順

1

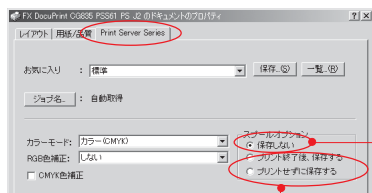
アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

2

[プリンタ名]でPrint Server Seriesのサーバーを選択し、[プロパティ]をクリックします。

プロパティダイアログボックスが表示されます。

3

[Print Server Series]タブをクリックし、[スプールオプション]を選択し、[OK]をクリックします。

直接プリントするか、サーバーで編集してプリントするかによって、選択するスプールオプションが異なります。

補足

[プリント終了後、保存する]を選択したときは、プリント終了後、印刷データがサーバーに残ります。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

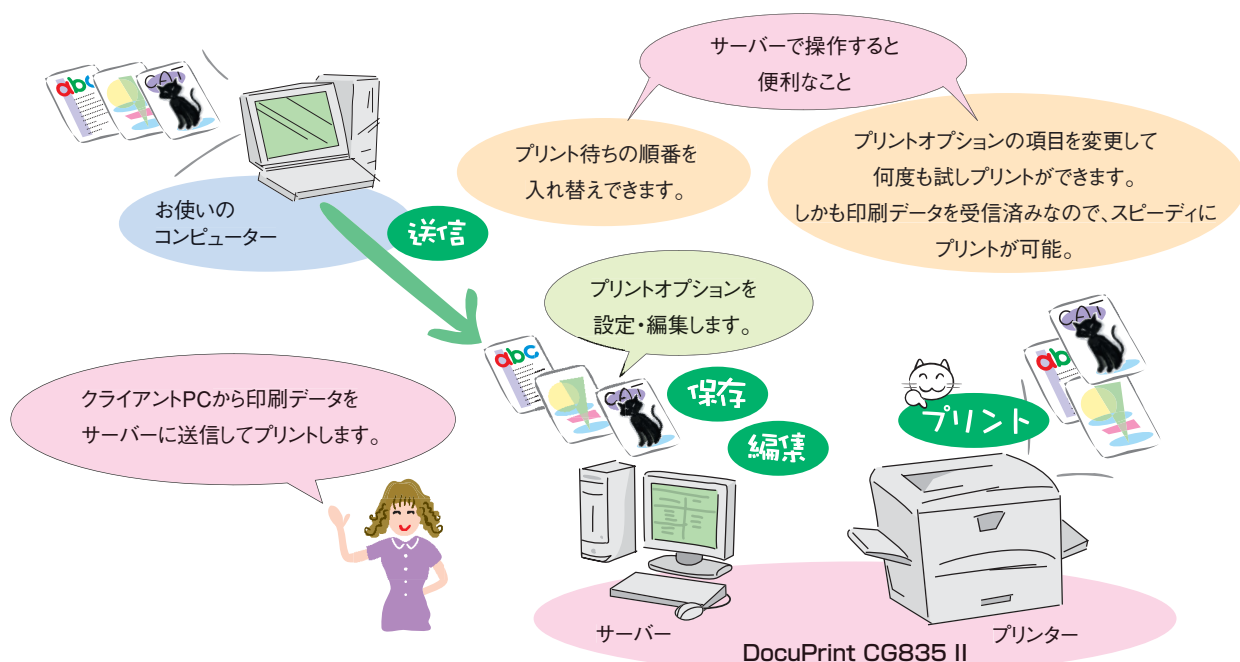
4

必要に応じて、その他のプリントオプションを設定し、[OK]をクリックします。

データが送信され、プリントが開始されます。

プリントオプションの詳細については、「プリントオプションをカスタマイズする」(47ページ)を参照してください。

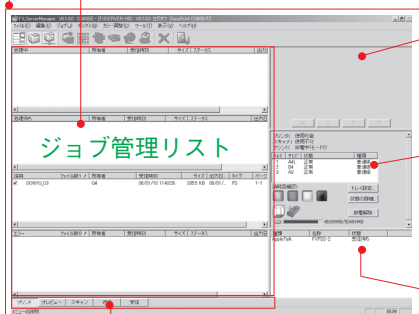
サーバーで印刷データを編集・プリントする

サーバーで受信した印刷データを、ServerManagerを使って編集し、プリントを指示します。
ここでは、ServerManagerの主な機能と操作方法について説明します。
Macintosh、Windowsとも操作は同様です。

ServerManagerのウィンドウ

ServerManagerは、次の4つのウィンドウから構成されています。

サーバーでは、この画面を使って印刷データの操作をします。直接アプリケーションを開いて編集はしません。

FX_ServerManagerウィンドウ
「ジョブ管理リスト」には、クライアントPCから送信・保存された印刷データが表示されます。

プレビューウィンドウ
ジョブ管理リストで選択した印刷データの、プレビュー画像が表示されます。

マシン状態ウィンドウ
プリンターの現在の状態、ディスク容量の情報が表示されます。
［トレイ設定］
各トレイの用紙の種類や特A3トレイの用紙サイズを設定できます。
［状態の詳細］
マシン状態の詳細が確認できます。
［節電］
節電モード

ボックスタブ
各ボックスを切り替えるタブが表示されます。

ネットワーク状態ウィンドウ
利用できるネットワークの現在の状態が表示されます。

印刷データを保存するかどうかを変更するには

［スプールオプション］でサーバーに保存するように設定された印刷データは、ジョブ管理リストの保持リストに表示されます。プリントしたあと、印刷データを保存しないように変更するときは、チェックボックスをオフにします。

オンになっている印刷データは、サーバーに保存するように設定されています。

- 処理中のジョブに対しても操作できます。
- チェックボックスがオフの印刷データは、プリントなどの処理が終了すると、ジョブ管理リストから削除されます。

- 通常、ウィンドウ内の文字の色は黒で表示されますが、印刷データの状態によって赤やオレンジなどの色文字が使われるものもあります。
- ジョブに色文字が使われていたり、ジョブ管理リストのエラーリストに表示されているときは、「困ったときは」（121ページ）を参照し対処してください。

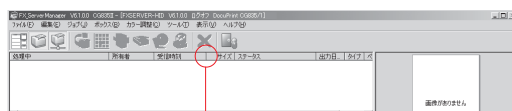
ログインモードを確認するには

［FX_ServerManager］ウィンドウ左上で、サーバー名とServerManagerにログインしたモードを確認できます。

サーバー名　ログインモード

システムの運用に影響するようなServerManagerの設定や、セキュリティープリントの設定がされている印刷データの操作などを、制限なく行うには、管理者でログインしている必要があります。

カラム幅を変更するには

図の部分をドラッグすると、各カラムの幅を変更できます。

この部分をマウスでドラッグします。

カラムを移動させるには

移動させたい項目のカラムを選択し、移動したい場所までドラッグします。

移動先には青色のマークが表示されます。

移動中は項目名が半透明で表示されます。

ジョブリストをソートするには

保持リストとエラーリストでは、指定した項目をキーにして、印刷データを昇順または降順にソートできます。

ソートしたい項目のカラム上でクリックすると、△マークが表示され、昇順にソートされます。昇順(△)と降順(▽)は、1回クリックするごとに、切り替わります。

このカラム上で１回クリックすると、△マークが表示されます。

デフォルトは、「受信時刻」の昇順にソートされています。

印刷データを編集してプリントする

ジョブ管理リストにある印刷データを選択して、次のことができます。

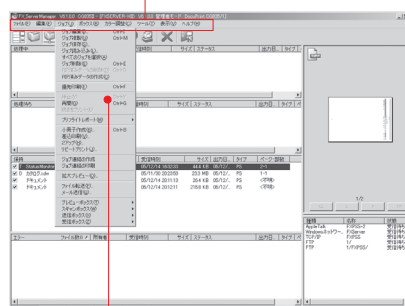
- ジョブ管理リスト間をドラッグ＆ドロップして移動し、印刷データの状態や処理の順番を変更できます。
- ServerManagerのメニューを実行できます。
- 右クリックで表示されるポップアップメニューの項目を実行できます。

操作手順

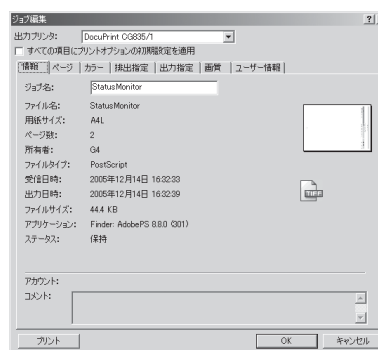
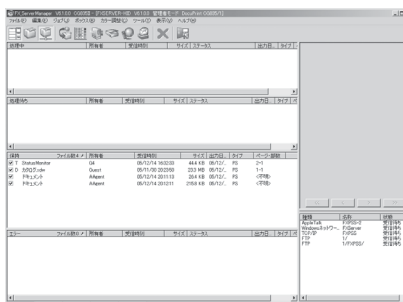
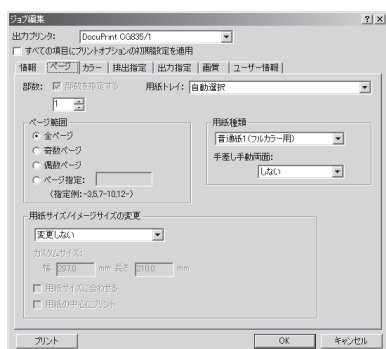
ServerManagerのメニュー

［ジョブ］メニュー

1 ［ジョブ］をダブルクリックします。

［ジョブ編集］ダイアログボックスが表示されます。

2 各タブの項目を編集します。

- 印刷データに対する操作は、選択されたすべての印刷データが対象になります。ただし、選択した印刷データや印刷データの数によって、使用できるメニューの項目は異なります。
- 処理中の印刷データは編集できません。

3

印刷データの編集が完了したら、プリントを指示します。
プリントするときは、処理待ちリストに印刷データをドラッグ＆ドロップして移動します。

［ジョブ編集］ダイアログボックスが表示されているときは、［プリント］をクリックします。

上記のほかにも、プリントの指示には次の方法があります。

- ServerManagerの［ジョブ］メニューから［再開］を実行します。
- 右クリックで表示されるポップアップメニューから［再開］を選択します。

ServerManagerを使うと、プリントジョブを表示したり、一時的にプリントを停止したり、プリント待ちの行列から印刷データを削除したりできます。

エラーシートがプリントされたときは

プリント処理中にPostScriptエラーが発生すると、エラーシートがプリントされます。エラーシートには、エラーの内容が記述されています。印刷データのドキュメントの設定を確認してください。
エラーシートは、エラーが発生したときにプリントするよう、デフォルトで設定されています。ServerManagerで、エラーシートをプリントしないように設定を変更したい場合は、ServerManagerの[サーバーの環境設定]→[プリントジョブの設定]の[PostScriptエラー]で設定してください。

■エラーの内容の例

```
%%[Error:undefiend spot color. (DIC 2349p)]%%
%%[Flushing:reset of job (to end-of-file) will be ignored]%%
```

プリントオプションをカスタマイズする

プリントオプションには、いろいろな機能が用意されています。目的に合わせて、プリンターごとにプリントオプションのデフォルト値を設定できます。
デフォルト値は、次の印刷データまたは項目に適用されます。

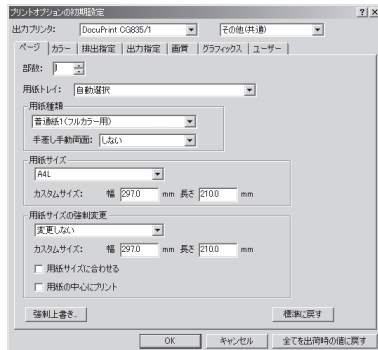
- PDF/SunRaster/XWD/TIFF/EPS/JPEGファイル
- プリンタードライバーを使用しないで作成したPostScriptファイル
- ジョブ編集で、[すべての項目にプリントオプションの初期設定を適用]をオンにした印刷データ
- 特別なプリンタードライバー(特別なPPDやシステムなど)からプリントする場合で、機能の設定が省略された項目

プリントオプションの詳細については、「プリントオプション」(96ページ)や『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「第2章 プリントの調整と設定」を参照してください。

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウの ボタンをクリックします。
または、[ツール]メニューから[プリントオプションの初期設定]を選択します。
[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスが表示されます。

2

[出力プリンタ]からプリンターを選択し、各タブの項目を設定し、[OK]をクリックします。

[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスには、次のタブがあります。

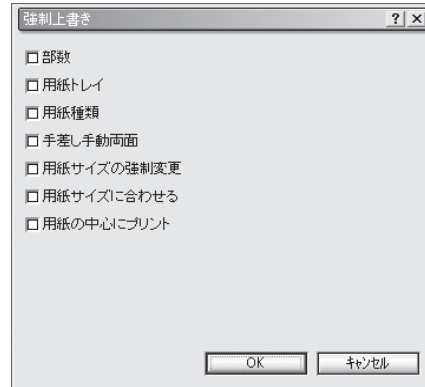
- ページ
- カラー
- 排出指定
- 出力指定
- 画質
- グラフィックス
- ユーザー

各項目の説明については、「プリントオプション」(96ページ)を参照してください。

[論理プリンタ設定]ダイアログボックスで、TCP/IP(lpr)やAppleTalk、FTPフォルダーが設定されている場合は、選択できる項目が[出力プリンタ]横のプルダウンメニューに表示されます。設定する項目を選択します。

また、[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスの各タブには、次の共通項目があります。

[強制上書き]ボタン

[強制上書き]ダイアログボックスが表示されます。各項目をオンにすると、クライアントPCからの指定が無視され、プリントオプションの初期設定が適用されます。

オンにした場合は、[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスの項目の右側に、チェックマークが表示されます。

[強制上書き]の指定は、次の項目よりも優先されます。

- プリンタードライバー、DropPrint2、およびWebManagerからのプリント
- DropPrint2およびWebManagerの[ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う]
- ServerManagerおよびWebManagerの[ジョブの読み込み]で読み込んだ、プリントオプションの設定を含むPostScriptファイル

[標準に戻す]ボタン

選択したタブで設定できる項目を工場出荷時の値に戻します。

[全てを出荷時の値に戻す]ボタン

出力プリンターおよび出力プロトコルごとに、すべてのタブの設定を工場出荷時の値に戻します。

サーバーの設定情報をバックアップする

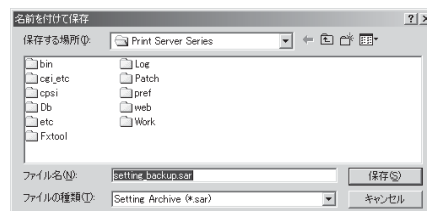
サーバーの設定情報をバックアップしておくと、万一トラブルが起きたとき、復旧作業の時間を短縮できます。安全のため、システムのバックアップを作成することをお勧めします。
設定情報をバックアップすると、次の情報が1つのファイルにまとめられます。

- ServerManagerの[ツール]メニューで設定した環境設定などの情報
- キャリブレーションデータと割り当て情報
- 次のカラープロファイルデータと割り当て情報
  - RGB色補正プロファイル
  - RGB出力プロファイル
  - CMYKシミュレーションプロファイル
- ユーザー調整カーブ

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウの[ファイル]→[特別]→[設定のバックアップの作成]を選択します。
[パスワード確認]ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックします。
設定情報をバックアップするフォルダーとファイル名を指定するための、[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

2

保存するフォルダーとファイル名を指定して、[保存]をクリックします。
ファイルの拡張子は、「.sar」です。
保存したファイルは、サーバーにバックアップしてください。

設定情報のバックアップを復元するには

バックアップした設定情報を復元する場合は、[FX_ServerManager]ウィンドウの[ファイル]→[特別]→[設定のバックアップの復帰]を選択します。表示された[ファイルを開く]ダイアログボックスで、復元するフォルダーとファイル名を指定して、[開く]をクリックします。

印刷処理を強制停止・再開する

プリンターの印刷処理を強制的に停止、または停止した印刷処理を再開できます。印刷処理の停止/再開は、メニューの選択によって切り替わります。
印刷処理を再開すると、通常の印刷処理が開始します。

操作手順

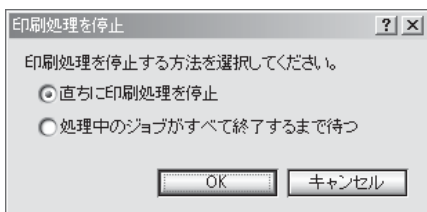
[ツール]メニューから[印刷処理を停止]を選択します。

[印刷処理を停止]ダイアログボックスが表示されます。

●直ちに印刷処理を停止

処理中のジョブを含めて、すべてのプリント動作を今すぐに停止します。
デフォルトは、[直ちに印刷処理を停止]です。

●処理中のジョブがすべて終了するまで待つ

処理中のジョブのプリントが終了したあとに、プリント動作を停止します。

2

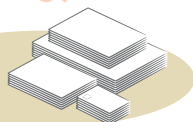
印刷処理を停止する方法を選択し、[OK]をクリックします。

印刷処理を再開する場合は、[ツール]メニューから[印刷処理を再開]を選択します。

用紙について

紙には数多くの種類があり、その特質も様々です。
適切でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質が低下する原因になることがあります。プリンターの性能を効果的に活用するためには、標準紙を使用されることをお勧めします。
せっかくのデザインも紙質でイメージダウンにならないようにしましょう。

特殊な加工がしてあるインクジェット専用紙をお使いになると、プリンタートラブルの原因になりますので、使用しないでください。

詳細は、『取扱説明書（プリンター編）』の「3.1 用紙について」をご覧ください。

使用できる用紙

用紙の種類

普通紙（標準紙）

本プリンターの標準紙は次のとおりです。

用紙名	規格
J紙（カラー・片面印刷用）	メートル坪量：82g/m^2
JD紙（カラー・両面印刷用）	メートル坪量：98g/m^2

普通紙（一般紙）

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、標準紙の使用をお勧めします。

規格
メートル坪量：64～98g/m^2

メートル坪量とは、1m^2の用紙1枚の質量をいいます。

特殊紙

本プリンターでは、普通紙のほかに、次の用紙に印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。

- OHPフィルム（白黒プリンター用の枠なしOHPフィルム（XEROX FILM<枠なし>商品コード：V516））
- ラベル用紙（全面シールで、カットされていないもの）
- 封筒（洋形2/3/4号、洋長形3号）
- 官製はがき
- 厚紙（メートル坪量：98～210g/m^2）
- コート紙
- 専用光沢紙（ミラーコートプラチナ157g/m^2）
- マット紙

- 硬い厚紙に印刷すると、イメージがずれることがあります。
- インクジェットプリンター用のコート紙は、使用できません。
- コート紙/専用光沢紙/マット紙を多数枚セットして使用すると、用紙が湿気をおびて重なって機械に入り、故障の原因になります。コート紙/専用光沢紙/マット紙は、1枚ずつセットしてください。
- 封筒は、のりづけ部分にテープが付いていないものを使用してください。あらかじめのりづけされている封筒は、のりづけ部分の状態によっては印刷できないことがあります。
- すでにおもて面が印刷されているはがきのうら面に印刷するとき、少しでもはがきが反っていると、紙づまりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、はがきをセットしてください。なお、かもめーるなど多色刷りのはがきには印刷しないでください。
- 封筒の洋長形3号は、プリンタードライバーなどでは「洋長3号」と表示されます。

各トレイと使用できる用紙の種類・サイズ

給紙方法	用紙の種類	最大収容枚数
手差しトレイ	普通紙1(フルカラー用)、 普通紙2、 厚紙1(98 ～210g/m²)、 厚紙2(98 ～210g/m²)、 はがき、封筒、ラベル用紙、OHPフィルム	150枚または厚さ16mm まで
	コート紙、専用光沢紙、マット紙	1枚
トレイ1 250枚ユニバーサルトレイ(同梱品/オプション)	普通紙1(フルカラー用)、 普通紙2	250枚または厚さ26mm まで
特A3トレイ(オプション)、普通紙1(フルカラー用)	普通紙1(フルカラー用)、 普通紙2	250枚または厚さ26mm まで
トレイ2、3 トレイモジュール(オプション)	普通紙1(フルカラー用)、 普通紙2	250枚または厚さ26mm まで

次のような用紙は、紙づまりや故障、および装置破損の原因になります。使用しないでください。

- フルカラー用OHPフィルムなど、弊社が推奨しているOHPフィルム以外のもの
- インクジェット専用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 他のプリンターやコピー機で印刷された用紙
- シワや折れ、破れのある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 反っている(カールしている)用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 155℃の熱で変質するインクを使った用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは中性紙に替えてください。
- 凹凸や留め金のある封筒
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- のりづけ部分がのりでベタついている封筒
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないものや、カットされているラベル用紙
- 布地転写紙
- 水転写紙
- 電飾紙
- デジタルコート紙の艶ありタイプ
- タックフィルム(透明/無色)
- 穴あき用紙

用紙について...

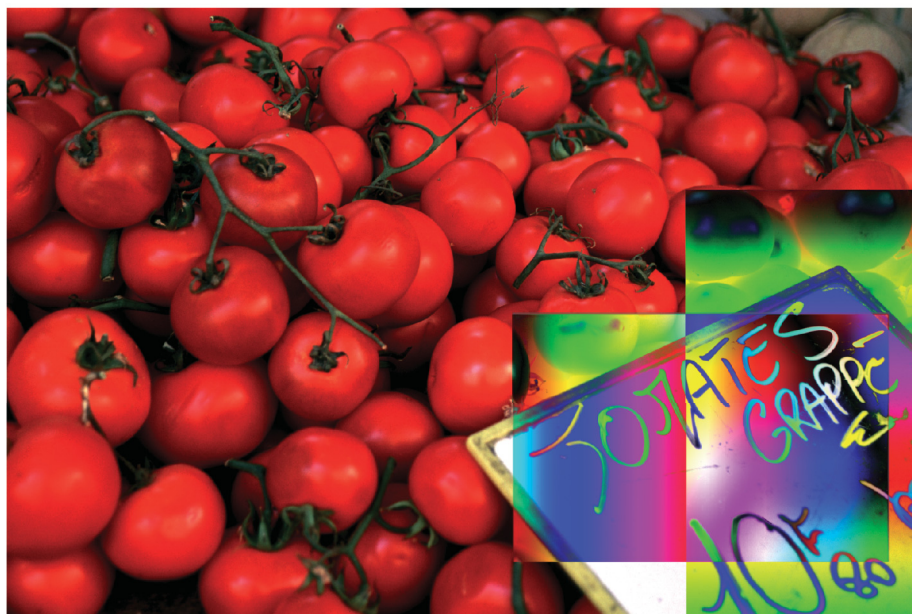
プリンター用紙には数多くの種類があり、紙の目がタテ目・ヨコ目などの差もあります。高温多湿の条件下では紙が変化し、適切にプリントできない場合があります。また、上質紙とコート紙では色の発色が違ってきます。

きれいなデザインカンプを提出するためには、それぞれの紙の特質を知っておくことがポイントです。推奨の「J紙(片面コート)」、「JD紙(両面コート)」は、コート紙と同じような質感を持ち、実際の印刷結果に近い色味でデザインカンプをプリントできます。

厚紙に印刷する場合

通常、厚紙に印刷する場合は「厚紙1」を選択します。用紙によって、トナーの定着が悪くはがれるような場合は、「厚紙2」を選択して印刷すると、定着性が改善することがあります。

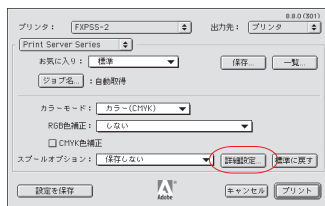
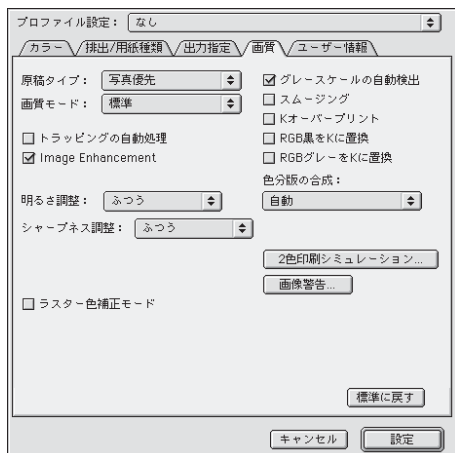
第4章 便利な機能

知っていると、さらに便利にサーバーを使いこなせる機能について説明します。

プリント前にデータを確認する

ドキュメントのオブジェクトに、オーバープリントが設定されていたり、RGB画像や特色、印刷で再現されにくい細線などが使用されていたりするとき、それを指定色で区別してプリントできます。
また、ディスプレイでは確認できないオーバープリントやトラッピング、色分版も、印刷と同じ出力形態でプリントできます。

操作手順

1

アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、プリントダイアログボックスの[詳細設定]を選択します。

以下は、[詳細設定]ダイアログボックスの[画質]タブを表示した画面です。

2

項目を設定します。

●色分版の合成

[画像警告]をクリックすると、以下の項目を設定できます。

●RGB画像警告
●オーバープリント警告
●ヘアライン警告
●特色警告
●インキ総量警告

2色印刷シミュレーションをクリックすると、以下の項目を設定できます。

●2色印刷シミュレーション

[出力指定]タブでは、以下の項目を設定できます。

●プリフライト

詳細は以降をご覧ください。

3

[プリント]をクリックします。

プリントが始まります。

参照

警告色や対象とするアプリケーションを変更できます。
詳細は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「5.3 画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。

RGB画像を確認する

オフセット印刷では、グレースケールで出力されてしまうようなRGB画像をマゼンタの警告色でプリントするので、容易に検知できます。
同様に、CIE画像もシアンで警告できます。

CMYKに正常に分版されない
RGB・CIE画像の警告をします。

RGBイメージやRGBオブジェクトなどの
RGB画像をマゼンタで、CIE画像はシアンの
警告色でプリントします。

画像警告
RGB画像警告
特色警告
インキ総量警告
総量： 300 (100-400)
ヘアライン警告： しない
警告幅： 0.090 pt以下
(0.000-0.999)

CIE画像とは、CIE色空間での色再現の対応を持たせた画像のことです。たとえば、Photoshopでポストスクリプトカラー管理機能をオンにすることによって、RGB画像は自動的にCIE画像に変換されます。また、CMYK画像はカラープロファイルを埋め込んだ形でCIE画像に変換されます。

オーバープリントやトラッピングを確認する

オーバープリントまたはトラッピングが指定されているオブジェクトを、再現、抽出または警告色でプリントします。グレースケールモードでも指定できます。グレースケールモードで警告色を指定した場合は、K70%でプリントされます。
通常のカラープリンターでは、オーバープリントやトラッピングを確認する場合、オーバープリントなどの指定は、ディスプレイでもプリント結果でも抜き合わせで表示またはプリントされるので、設定を見落としがちです。この機能を使うと、印刷前にオーバープリントが指定されている部分を検知できます。

オーバープリント機能 ON

DocuPrint CG835 II

オーバープリント警告には、次の項目があります。

- しない
- 警告色
- 抽出
- 再現
- 無視

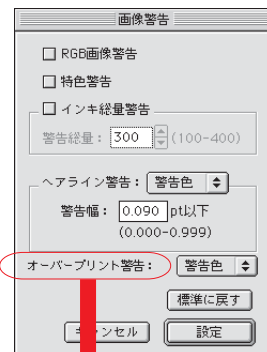
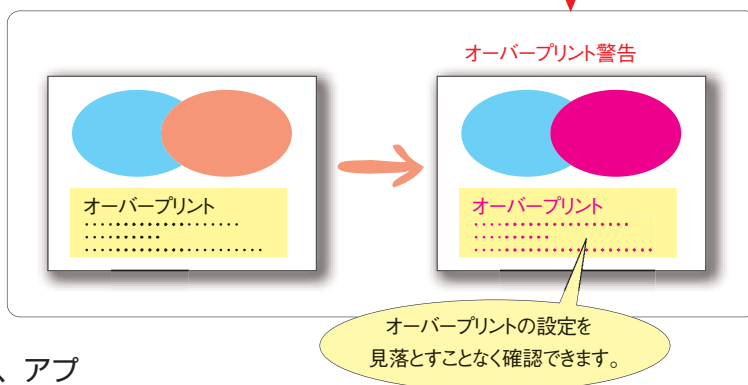
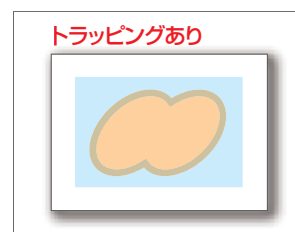
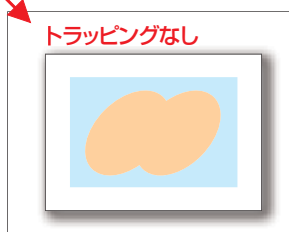
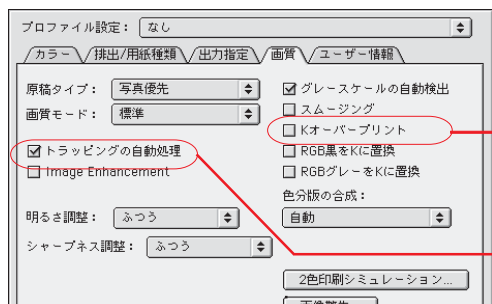
画像警告

RGB画像警告
特色警告
インキ総量警告
警告総量：300（100-400）
ヘアライン警告：警告色
警告幅：0.090 pt以下（0.000-0.999）
オーバープリント警告：警告色
標準に戻す
キャンセル　設定

この場合はマゼンタで警告します。

オーバープリント警告

オーバープリント

オーバープリント

オーバープリントの設定を見落とすことなく確認できます。

再現機能では、コンポジットプリントでも、アプリケーションで指定したオーバープリントやトラッピングを検出してシミュレーションできます。

アプリケーションにトラッピング機能がない場合でも、自動的にトラッピング処理ができます。

補足

トラッピングとは、色味が近い淡い色の組み合わせなどのときに、オブジェクトの面積を調整して、くっきりと表現する機能のことです。

4 便利な機能

ヘアラインを確認する

任意の幅より細いオブジェクトを、抽出、消去、または警告色でプリントします。

警告値：0.090以下

この機能を使うと、オフセット印刷で消えてしまったり、かすれてしまったりする可能性のある線幅のオブジェクトを確認できます。

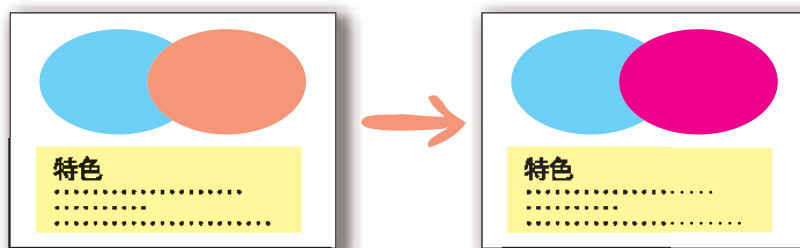
ヘアライン警告には、次の項目があります。

- **しない**
- **警告色**
  警告値以下のヘアラインを警告色でプリントします。（デフォルトはマゼンタ）
- **消去**
  警告値以下のヘアラインを消去します。
- **抽出**
  警告値以下のヘアラインのみプリントします。

特色やインキ総量を確認する

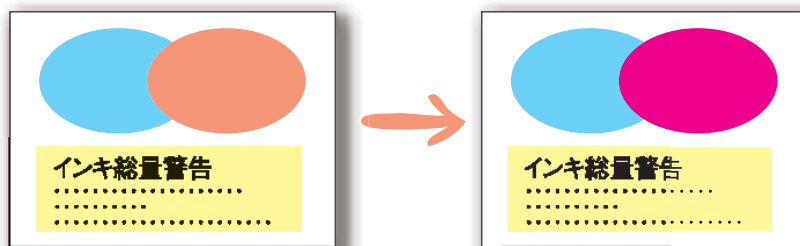
特色警告

この機能を使うと、特色を使用している箇所を警告色でプリントします。

特色を警告色で確認

インキ総量警告

この機能を使うと、警告総量の指定値以上のインキを使用している箇所を警告色でプリントします。

警告総量は、100～400%の間の1%刻みで指定できます。

指定値以上の部分を警告色で確認

色分版合成機能を使って仕上がりを確認する

イメージセッター用の色分解版データを印刷機と同様に、1枚のカラーページに合成してプリントできます。また、通常のコンポジット出力では再現できない、オーバープリントやトラッピングの指定もこの色分版の合成機能を使用することにより、印刷前に事前にその仕上がり状態を確認できます。

色分版の合成機能を使うと、印刷の校正刷りと同じ結果がプリントされますので、入稿前の最終色校正チェックができます。

この機能を使って作成した色校正出力は、フイルムから作成した色校正出力の代わりになります。オーバープリントを指定したオブジェクトを正しい色でプリントするので、トラッピングの結果も確認できます。

色分版のスタイルは、以下の中から選択できます。

[自動]
通常は[自動]を選択します。特色版に対しても合成できます。対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONEです。

[しない]
分版データの各版をそのままグレースケールで出力します。

[QuarkXPress-4Style]、[QuarkXPress-3Style]、[PageMaker Style]、[FreeHand Style]、[Canvas Style]、[Illustrator Style]、[InDesign Style]
各アプリケーションに対応するスタイルです。
[自動]で正しく出力されない場合でも、各アプリケーションに対応するスタイルを選択すると、正しく出力できることがあります。ただし、特色版の合成には対応していません。

設定したスタイルでプリントされます。

2色印刷シミュレーションで特色を確認する

使用する色版(C、M、Y、K)の指定と、置き換える特色名を指定します。
この機能を使うと、チラシなどで使用される特色(スポットカラー)を用いた2色印刷をシミュレーションできます。

特色の指定方法については、「画質タブ」(109ページ)を参照してください。

色校正することなく特色の掛け合わせやグラデーションの確認ができます。

下記の例では、
「C版をDIC 643p、M版をDIC 156pに置き換え・・・」
と印刷会社に指示すれば、2色特色の印刷物ができます。

C	→	C	→	DIC 643p(緑系特色)
M	→	M	→	DIC 156p(赤系特色)
Y		未使用	色の置き換え	指定なし
K		未使用		指定なし

これは指定の特色で印刷すると、どのような印刷結果がでるかという、CMYKを使った疑似表現です。
蛍光色の再現は困難ですので、色校正で確認してください。

プリフライトでエラー確認する

プリフライトとは、プリントする前に、デザインデータにエラーがないかどうかを確認する機能です。

プリフライトでチェックされる項目

●ファイルサイズ　●ドキュメント名
●アプリケーション/ドライバ　●ユーザ名
●ページ数　●用紙サイズ
●PostScriptエラー内容
●使用している色空間
●使用しているフォント
●使用しているスポットカラー(特色)

プリフライトレポート

******* プリフライト開始 *******
ファイルサイズ: 111.1 KB
ドキュメント名: 文字写真_写真_Printer.ai
アプリケーション／ドライバ: Adobe Illustrator 9.0.2: AdobePS 8.8.0 (301)
ユーザー名: Classic_noro
ページ数: 1
用紙サイズ: 297 210 mm

*** PostScript メッセージ ***

*** 使用している色空間 ***

色空間	イメージ	グラフィックス
DeviceGray	0	1
CIEBasedA	0	0
DeviceRGB	0	0
CIEBasedABC	0	0
CIEBasedDEF	0	0
Indexed	0	0
DeviceCMYK	0	708
CIEBasedDEFG	0	0
Pattern	0	0
Separation	0	709
DeviceN	0	0

*** 使用しているフォント ***

Courier	ダウンロードされています
RodinCID-DB-83pv-RKSJ-H	ジョブに含まれています
RodinCID-M-83pv-RKSJ-H	ジョブに含まれています

*** 使用しているスポットカラー ***

******* プリフライト終了 *******

プリフライトレポート例

プリフライトには、次の項目があります。
●しない
●レポート作成：プリフライトレポートを作成します。
●レポート出力：プリフライトレポートを作成して、プリントします。

いろいろな仕上がりでプリントする

小冊子印刷でカタログ作成もラクラク

小冊子印刷を活用すれば、印刷の仕上がりに近い状態でカタログやパンフレットができます。

注記

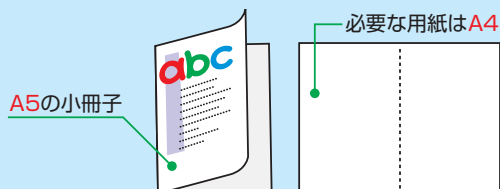
- 中綴じ以外のとじ方には、対応していません。
- 小冊子作成をするには、プリンターにオプションの両面印刷モジュールが装着されている必要があります。

用紙サイズ(小冊子仕上がりの大きさ)

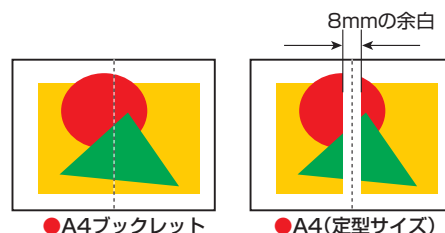
小冊子作成ができる用紙サイズは、次のとおりです。

●A5L ●A5 ●A4L ●A4 ●B5L ●B5
●8.5×11L ●8.5×11 ●A5ブックレット
●A4ブックレット ●B5ブックレット
●8.5×11ブックレット

補足

A5ブックレットの場合

補足

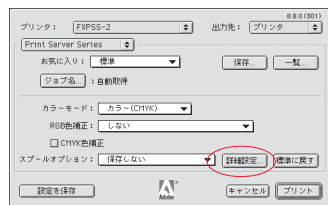
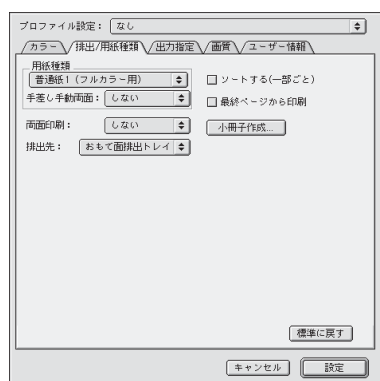
ブックレットサイズについて

プリンタードライバーからブックレット専用の用紙サイズを指定すると、のどあき部分(ページの余白)にもイメージをプリントできます。A4など定型サイズの用紙を指定した場合は、のどあき部分に8mmの余白が付きます。

注記

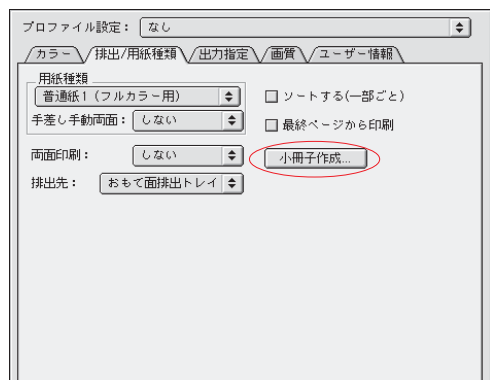
A5L/A5/A5ブックレットサイズのジョブを小冊子作成する場合は、トレイにA4用紙をセットしてください。A4L用紙では、正しく印刷されません。

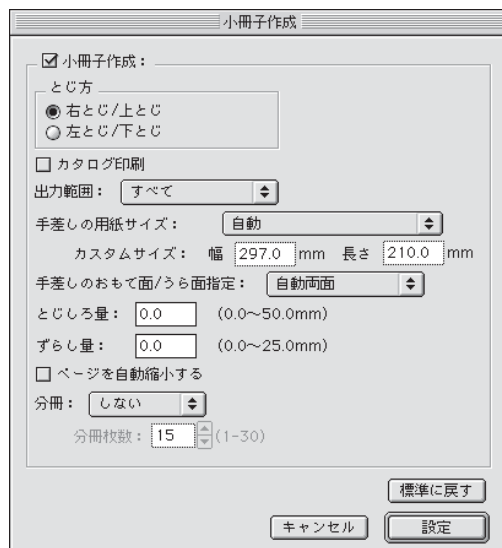
操作手順

1

アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、プリントダイアログボックスの[詳細設定]を選択します。

以下は、[詳細設定]ダイアログボックスの[排出/用紙種類]タブを表示した画面です。

2

[排出/用紙種類]タブの[小冊子作成]をクリックします。

[小冊子作成]ダイアログボックスが表示されます。

3

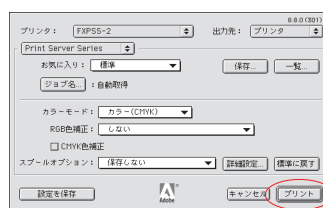
[小冊子作成]をオンにし、各項目を設定・選択して、[設定]をクリックします。

[小冊子作成]ダイアログボックスが閉じます。

4

[詳細設定]ダイアログボックスで[設定]をクリックします。

[詳細設定]ダイアログボックスが閉じ、プリントダイアログボックスが表示されます。

5

[プリント]をクリックします。

小冊子作成時に表示されるプリント枚数は、実際にプリントされる枚数を表しています。

カラーパッチやコメントをつける[メモ書き]

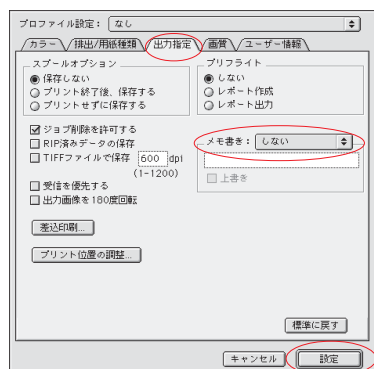
操作手順

ここでは例として、Macintoshでの操作手順を説明します。

アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、プリントダイアログボックスの[詳細設定]を選択します。

[ジョブ編集]ダイアログボックスが表示されます。

2

[出力指定]タブをクリックし、[メモ書き]からメモの種類を選択して、[プリント]をクリックします。

[カラーパッチ]

CMYKのカラーパッチを左下にプリントします。

[オプションメモ]

CMYKシミュレーションや画質モードなどのプリントオプション設定をプリントします。

[コメント]

指定した文字列をプリントします。(64バイト以内)

[カスタム]

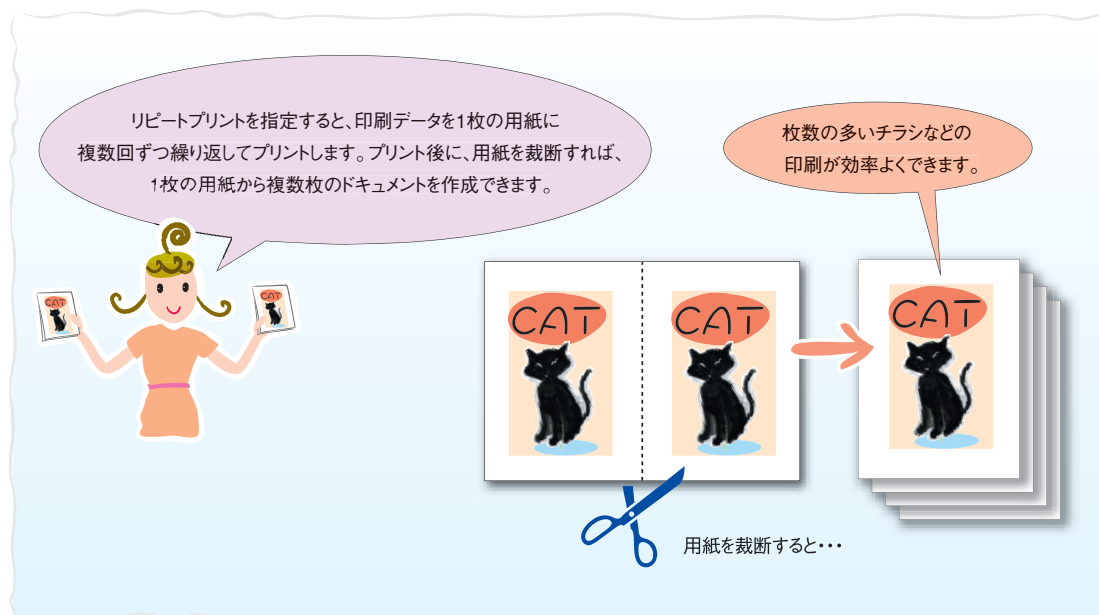
独自形式のメモ書きを設定できます。デフォルトは、印刷データごとに日付と番号がプリントされます。

[上書き]チェックボックス

オンにすると、印刷データの上にメモを重ねてプリントします。

オフにすると、メモの上に、印刷データを重ねてプリントします。メモ書きの内容が、印刷データによって上書きされますので、メモがプリントされない場合があります。

同じ画像を１枚の用紙に繰り返してプリントする[リピートプリント]

注記

- リピートプリントができるのは、ServerManagerの保持リスト、またはエラーリストにあるジョブだけです。
- Macintoshからは指示できません。
- リピートプリントで、両面印刷を指定するには、プリンターにオプションの両面印刷モジュールが装着されている必要があります。
- 1枚の用紙には、用紙サイズに収まる数のドキュメントがプリントされます。そのため、プリントされるドキュメントの数は、ドキュメントのサイズと用紙のサイズによって異なります。

操作手順

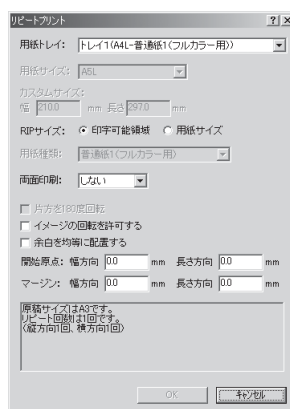
1 ServerManagerの保持リストから、リピートプリントをするジョブを選択します。

補足

リピートプリント時に表示されるプリント枚数は、実際にプリントされる枚数を表しています。

2 [ジョブ]メニューの[リピートプリント]を選択します。

一般ユーザーモードで、セキュリティープリントの指定がされているジョブを選択した場合は、表示されたダイアログボックスでパスワードを入力します。

[リピートプリント]ダイアログボックスが表示されます。

3 [用紙トレイ]を指定します。

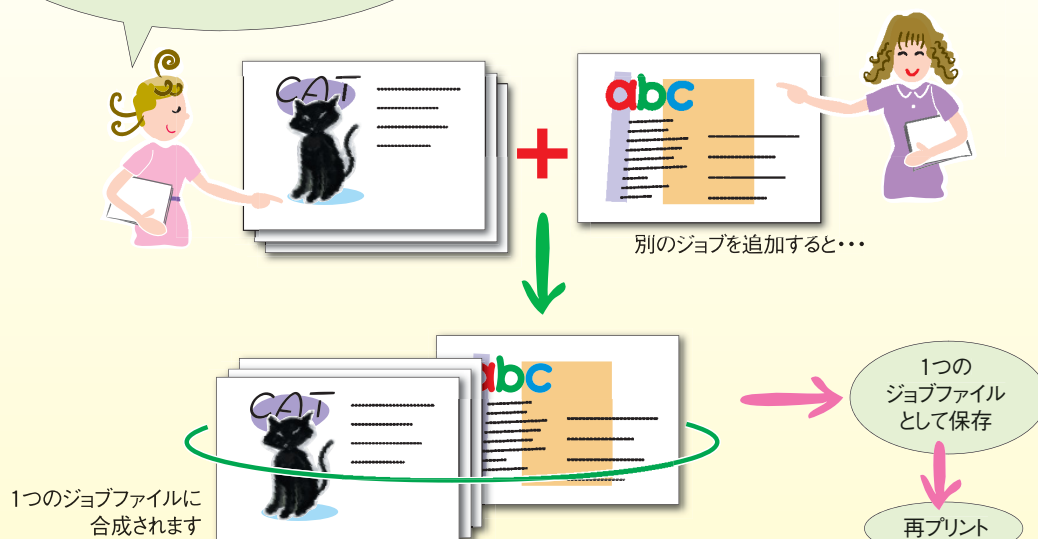
4 必要に応じその他の項目を設定します。

5 [OK]をクリックします。

1枚の用紙に、同じページが複数回ずつ繰り返してプリントされます。

複数のデータをまとめてプリントする[ジョブ連結]

ジョブ連結を使うと、1ページしか作成できないジョブ（デザインデータ）を複数まとめて1ジョブとして両面印刷できます。連結したジョブは保存されるので、再プリントもできます。

1ページしか作成できないアプリケーションを使った場合や、複数のデザイナーが分担してデザインをする時などのプレゼン・カンプ提出は、ジョブ連結でプリントできます。

- ジョブ連結ができるのは、ServerManagerの保持リスト、またはエラーリストにあるジョブだけです。クライアントからは指示できません。
- ジョブ連結は、管理者モードでだけ操作できます。

操作手順

1

ServerManagerの保持リスト、またはエラーリストから、1つ以上のジョブ連結をするジョブを選択します。

2

[ジョブ]メニューの[ジョブ連結の作成]を選択します。

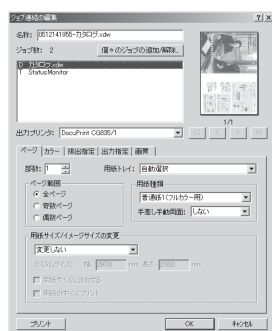
[ジョブ連結の編集]ダイアログボックスが表示されたら、名称・ジョブ数などの各項目を設定します。

3

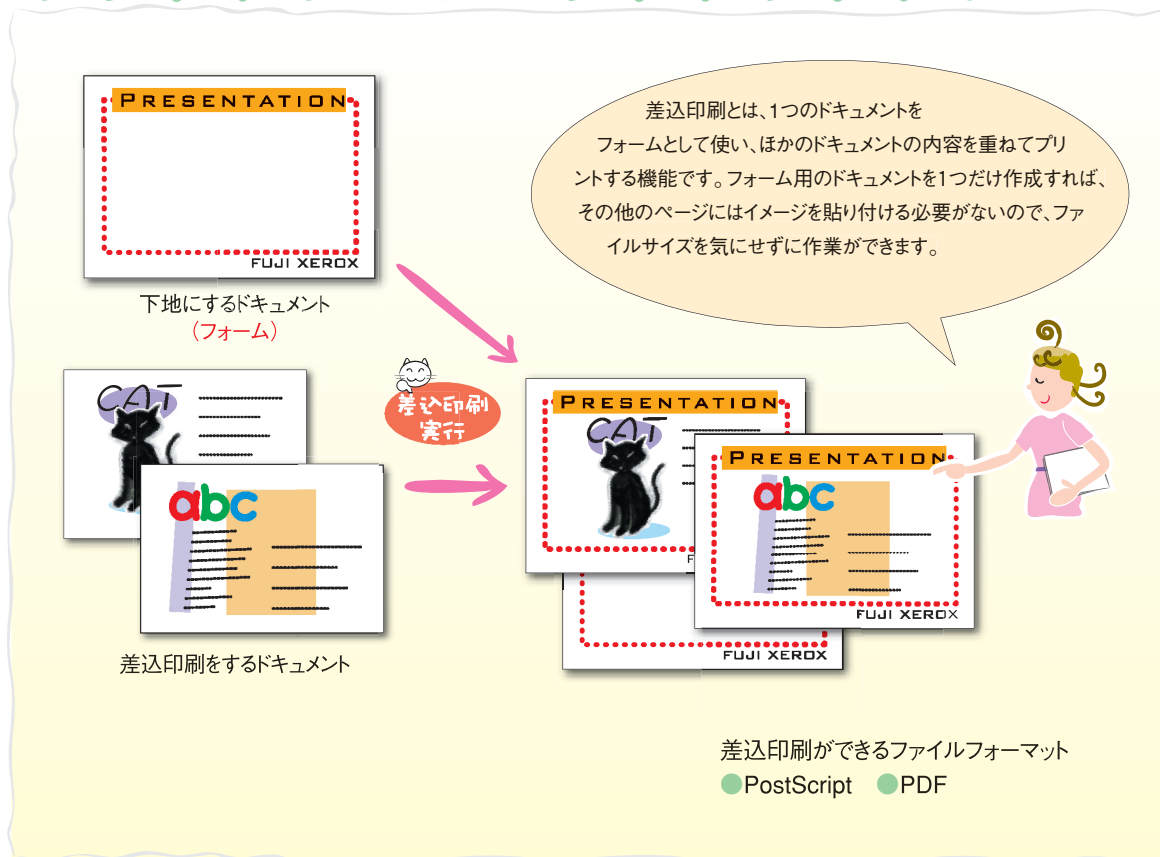
[プリント]をクリックすると、設定した内容で連結ジョブがプリントされます。

[OK]をクリックすると、設定した内容が保存されます。

保存された連結ジョブは、[ジョブ連結の印刷]ダイアログボックスで確認できます。

[ジョブ連結の印刷]については、『取扱説明書（サーバー編）』の「6.1.4 ジョブメニュー」を参照してください。

フォームと重ねてプリントする[差込印刷]

差込印刷ができるファイルフォーマット

●PostScript　●PDF

差込印刷できない用紙

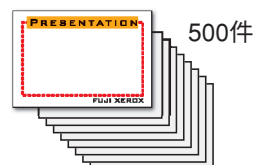
●A3×2　●A2L　●B4×2　●B3L

●A5ブックレット　●A4ブックレット

●B5ブックレット　●8.5×11ブックレット

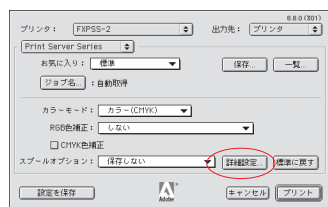
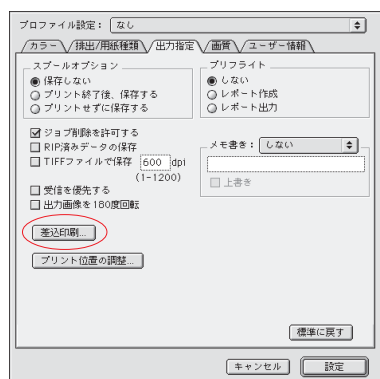
登録件数

フォームとして、500件まで登録できます。

複数ページのジョブも、フォームとして登録できます。フォームの最終ページまで使用されたら、先頭ページに戻ります。また、[ジョブ編集]ダイアログボックスで、あらかじめページ範囲を指定しておけば、指定したページだけをフォームとして使うこともできます。

●下地にするドキュメントと、下地の上に合成するドキュメントのイメージが重なる場合、下地になるほうは上のドキュメントのイメージに上書きされてしまうので、プリントされません。

●差込印刷は、フォーム用のドキュメントと重ねるドキュメントの[原稿タイプ]が同じ場合にできます。異なる場合は、エラージョブとなります。また、[原稿タイプ]が[文字/写真(写真優先)]、または[文字/写真(文字優先)]の場合、重ねるドキュメントの白データ部分はフォーム用のオブジェクトに従って処理されます。
白データ以外の部分は重ねるドキュメントのオブジェクトに従って処理されます。

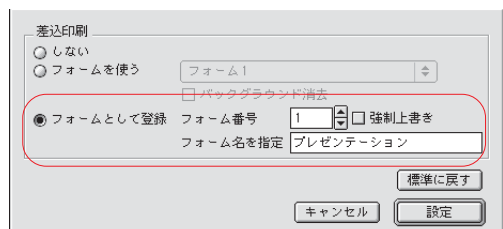
操作手順

アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、プリントダイアログボックスの[詳細設定]を選択します。

以下は、[詳細設定]ダイアログボックスの[出力指定]タブを表示した画面です。

2

[差込印刷]をクリックします。

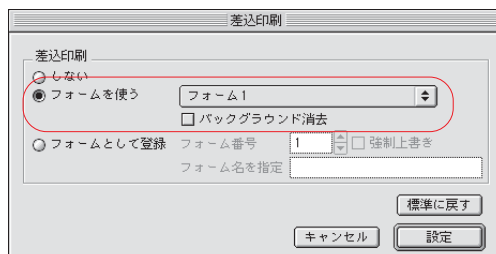
[差込印刷]ダイアログボックスが表示されます。

3

[差込印刷]ダイアログボックスの[フォームとして登録]を選択し、[フォーム番号][フォーム名を指定]に登録するフォーム番号、フォーム名を入力します。

●フォームは、100件まで登録できます。

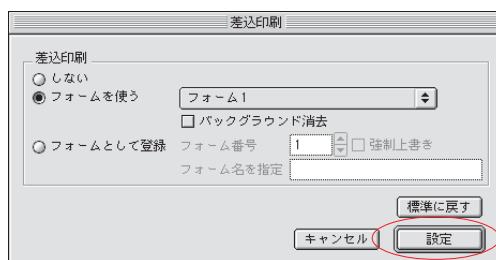
●[強制上書き]のチェックボックスをオンにすると、すでに登録してある同じフォーム番号に上書きされます。

4

[フォームを使う]を選択し、登録した[フォーム名]を選択して、[設定]をクリックします。

[差込印刷]ダイアログボックスが閉じます。

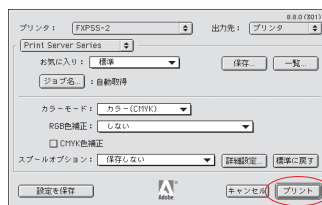
●[バックグラウンドを消去]のチェックボックスをオンにすると、差し込みをするデータのバックグラウンドを消去します。

5

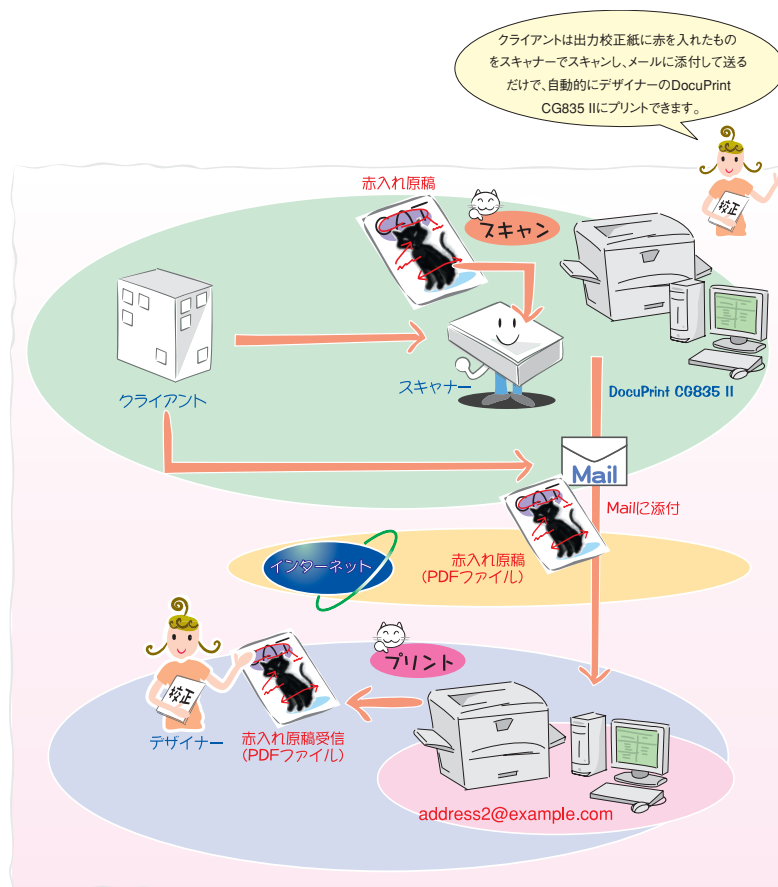
[詳細設定]ダイアログボックスで[設定]をクリックします。

[詳細設定]ダイアログボックスが閉じ、プリントダイアログボックスが表示されます。

6

[プリント]をクリックします。

差込印刷が始まります。

フォームの上に重ねるドキュメントをPowerPointなどのアプリケーションで作成した場合、白色の背景が下地のイメージを塗りつぶすことを防ぐため、[バックグラウンド消去]チェックボックスをオンにします。

ファイルを送受信する

遠隔地のPrint ServerまたはクライアントPCからメールに添付されて送られてきたPDF、PS、EPS、TIFF、JPEGファイルをサーバーで受信し、プリントできます。また、遠隔地のPrint ServerやクライアントPCにメール添付でファイルを送信することもできます。

●添付ファイルがPDF、PS、EPS、TIFF、JPEG以外の場合は、プリントされません。
●添付ファイルが複数ある場合は、すべてプリントされます。ただし、未対応のファイルはプリントされません。
●分割して送信されたメールは、DocuPrint CG835 II側で受信時に合成されますが、クライアントPCから分割して送信されたメールも、合成してプリントが可能です。ただし、クライアントPC側で使用しているメーラーによっては合成できないものもあります。
●受信したメールが転送メールの場合、エラーメールになることがあります。

環境設定をする

PDF送受信機能を使用するには、メール送受信の環境設定が必要です。
設定の前に、次の項目をシステム管理者やネットワーク管理者に依頼/確認してください。

●サーバー本体のメールアドレスの登録
●POP3ユーザー名
●POP3ユーザーパスワード
●POP3サーバーアドレス
●SMTPサーバーアドレス

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウの[ツール]→[サーバーの環境設定]→[ボックスの環境設定]を選択します。

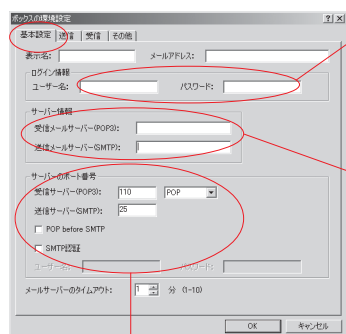
[ボックスの環境設定]ダイアログボックスが表示されます。

2 各タブで必要な項目を設定します。

はじめに[基本設定]タブのすべての項目を設定しないと、他のタブの設定はできません。

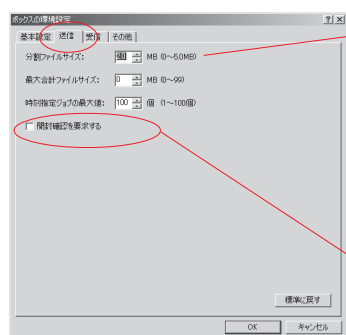
[標準に戻す]ボタンをクリックすると、そのタブの設定内容がデフォルトに戻ります。

[基本設定]タブ

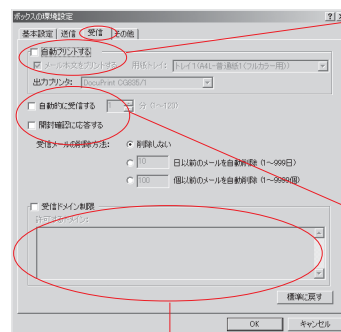
システム管理者やネットワーク管理者から指定された情報を設定してください。この設定を間違えると、メールの送受信ができません。

POP3サーバーへのログインユーザー名とパスワードを64バイト以内で入力します。

POP3サーバーアドレス、SMTPサーバーアドレスをIPアドレス(xxx.xxx.xxx.xxx形式)、またはDNS名で128バイト以内で入力します。

POP3サーバーのポート番号を0～9999の範囲で入力します。デフォルトは、「110」です。

[送信]タブ

ファイルを分割する場合の1ファイルあたりのサイズを設定します。分割しない場合は、[0]に設定します。

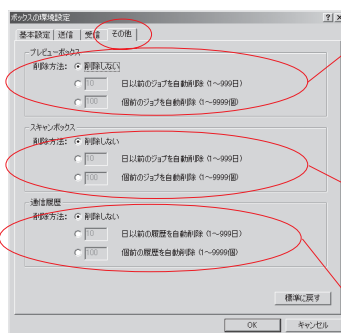
送信可能なファイルサイズの合計を設定します。設定以上のサイズのファイルを送信しようとすると中止されます。送信を中止しない場合、[0]に設定します。

[受信]タブ

受信ドキュメントの処理について指定します。プリントする場合は、本文プリント用の用紙トレイを選択します。

オンにすると、自動的に受信処理をします。自動受信する場合は、POP3サーバーへのメール確認間隔を設定します。デフォルトは、「1」分です。

受信を許可するドメインを制限する場合に、オンにします。デフォルトはオフです。受信ドメインを制限する場合は、許可するドメインを最大50個まで登録できます。1つのドメイン名は、128バイト以内で入力してください。ドメインとドメインの間は改行またはカンマ「,」を入力します。

[自動的に受信する]をオフに設定すると、手動受信となり[FX_ServerManager]ウィンドウの[メール受信]をクリックしたときに受信が行われます。

[その他]タブ

[プレビューボックス]の削除方法を設定します。デフォルトは[削除しない]です。

[スキャンボックス]の削除方法を設定します。デフォルトは[削除しない]です。

[通信履歴]の削除方法を設定します。デフォルトは[削除しない]です。

3 各タブを設定したら、[OK]をクリックします。

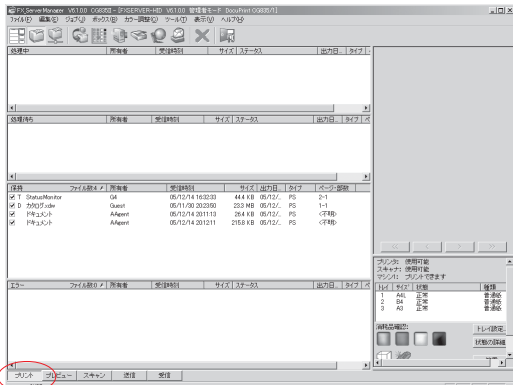
ファイルを送信する

プリントボックスまたはスキャンボックスで、選択したファイルおよびプリントジョブをメールで送信できます。
ここでは、例としてプリントボックスからプリントジョブをメール送信する場合について説明します。

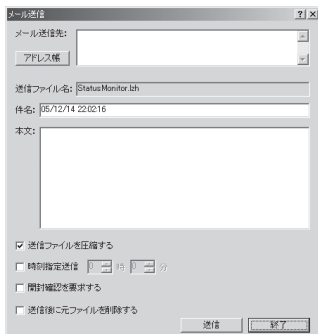
操作手順

1

[FX_ServerManager]ウィンドウの[プリント]をクリックします。

プリントボックスウィンドウが表示されます。

2

メールで送信したいプリントジョブを選択し、[ジョブ]→[メール送信]を選択します。

[メール送信]ダイアログボックスが表示されます。
複数のジョブを選択すると、選択したジョブをすべて添付することができます。

3

[送信先]を設定します。

[送信先]は、宛先、グループ合わせて100 件まで指定できます。
宛先を直接入力する場合は、メールアドレスごとの文字数は128 バイト以内で、メールアドレスとメールアドレスの間はセミコロン「;」、または改行で区切ります。
アドレス帳を使用する場合は、[アドレス帳]をクリックして[アドレス帳]ダイアログボックスで指定します。

4

[件名]を1 ～ 31 バイト以内で指定します。

デフォルトは[メール送信]ダイアログボックスを表示したときの日時になります。

5

[本文]を0 ～ 512 バイト以内で指定します。

半角/全角英数字、半角/全角カタカナ、ひらがな、記号、空白が使用できます。

6

必要に応じて各項目を設定します。

●送信ファイルを圧縮する

送信ファイルを圧縮する場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトはオンです。

●時刻指定送信

送信時刻を指定する場合は、チェックボックスをオンにして、時刻を設定します。デフォルトはオフです。

●開封確認を要求する

受信者がメールを開封した際に、開封確認メッセージを要求する場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトはボックスの環境設定の値です。

●送信後に元ファイルを削除する

メール送信が成功した後に、添付したファイルを削除する場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトはオフです。

7

[送信]をクリックします。

アドレス帳を使用して送信先を指定する

操作手順

［アドレス帳］をクリックして［アドレス帳］ダイアログボックスを表示します。

［宛先/グループ一覧］から指定する宛先、またはグループ名を選択して、［追加］をクリックします。
複数の宛先、またはグループ名が選択できます。

2

送信先の指定が終了したら、［OK］をクリックします。

PDFファイルを送信する

PDFファイルをメールに添付して送信する方法について説明します。

以下の場合は、メール送信できません。
- スキャナーがEPSON ES-8500、ES-10000G以外の場合
- スキャナーの電源がオフの場合
- スキャナーがクライアントからのスキャンで使用中の場合

操作手順

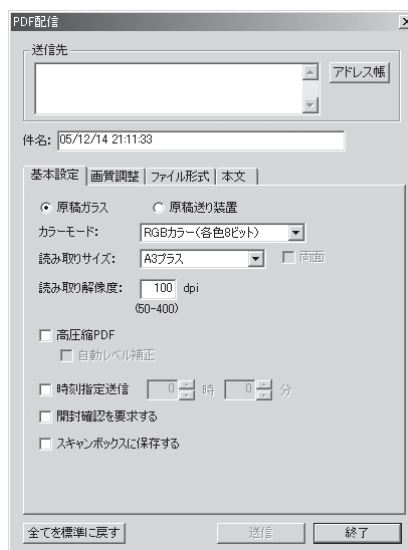
スキャンする面を下に向けて、原稿をセットします。

原稿送り装置を使用したスキャンでは、原稿を原稿送り装置にセットします。

原稿のセット方法については、スキャナーの取扱説明書を参照してください。

2

［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。

PDF配信アプリケーションが起動し、［PDF配信］ダイアログボックスが表示されます。
［ボックス］メニューから［PDF配信］を選択しても、PDF配信アプリケーションを起動できます。

3

[送信先]を設定します。

[送信先]は、宛先、グループ合わせて100件まで指定できます。
宛先を直接入力する場合は、メールアドレスごとの文字数は128バイト以内で、メールアドレスとメールアドレスの間はセミコロン「;」、または改行で区切ります。
アドレス帳を使用する場合は、[アドレス帳]をクリックして、[アドレス帳]ダイアログボックスで指定します。

4

[件名]を1〜31バイト以内で指定します。

デフォルトは、[PDF配信]ダイアログボックスを表示したときの日時になります。

5

目的のタブを選択して、環境を設定します。

[PDF配信]ダイアログボックスには、以下のタブがあります。詳細は、後述の各タブの説明を参照してください。

・基本設定
・画質調整
・ファイル形式
・本文

また、[PDF配信]ダイアログボックス内には、次の共通項目があります。

● [送信]ボタン

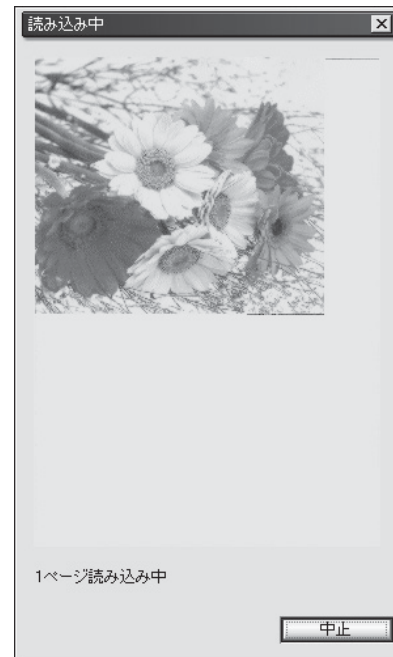
読み取りを開始します。

● [終了]ボタン

PDF配信アプリケーションを終了します。

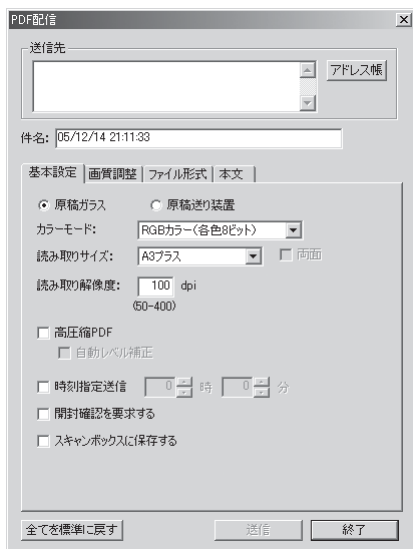
6

[送信]をクリックします。

読み取りが開始します。
[読み込み中]ダイアログボックスが表示され、プレビューイメージが表示されます。
[中止]をクリックすると、読み取りと送信がキャンセルされます。

読み取ったドキュメントをPDFファイルに変換し、メールに添付して送信されます。

4 便利な機能

基本設定タブ

[基本設定]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

入力先を[原稿ガラス]、[原稿送り装置]から選択します。デフォルトは、[原稿ガラス]です。

スキャナーに原稿送り装置が装着されていない場合は、[原稿送り装置]は選択できません。

●カラーモード

カラーモードには、次の項目があります。デフォルトは、[RGBカラー(各色8bit)]です。

・RGBカラー(各色8bit)
・グレースケール(8bit)
・モノクロ2階調

●読み取りサイズ

スキャンする原稿サイズを指定します。

「A4横」、「B5横」は、スキャナー本体に記載されている「A4 」、「B5 」と同じ方向を表します。

＜[原稿ガラス]の場合＞

デフォルトは、[A3プラス]です。

・A3プラス　・A3　・B4　・A4
・B5　・A4横　・B5横

A3プラスのサイズは、310×437mmです。

＜[原稿送り装置]の場合＞

デフォルトは、[A3]です。

・A3　・B4　・A4　・B5
・A4横　・B5横

原稿送り装置では、[A3プラス]は選択できません。

●両面

スキャナーに原稿送り装置が装着されていて、[原稿送り装置]が選択されているときに、両面に印刷してある原稿を両面ともスキャンする場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、オフです。

●読み取り解像度

読み取りの解像度を指定します。

50～400dpiまでの値を入力できます。デフォルトは、[100]dpiです。

解像度を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなります。

●高圧縮PDF

スキャン画像を高圧縮PDFに変換して送信する場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトはオフです。

●自動レベル補正

スキャン画像を自動レベル補正する場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトはオフです。高圧縮PDFがオンの場合のみ選択できます。

●時刻指定送信

時刻を指定してメールを送信する場合は、チェックボックスをオンにして、時間を24時間表示で指定します。

時刻指定通信ジョブは、送信ボックスに入ります。

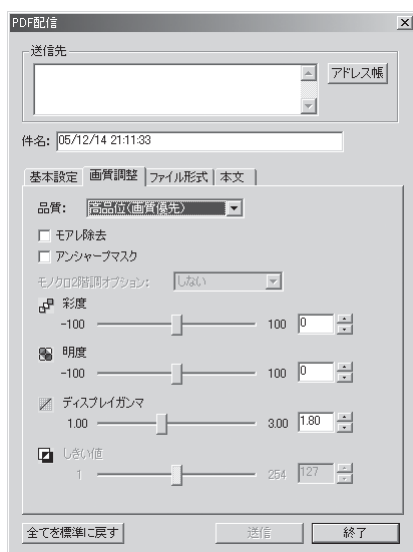
●開封確認を要求する

受信者がメールを開封した際に、開封確認メッセージを要求する場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトはボックスの環境設定の値です。

●スキャンボックスに保存する

スキャン画像をスキャンボックスに保存する場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトはオフです。

画質調整タブ

[画質調整]タブで設定できる項目は、次のとおりです。
[基本設定]タブの[カラーモード]の指定などによって、各項目は選択/非選択の状態になります。

●品質

読み取り品質を指定します。
品質には、次の項目があります。デフォルトは、[高品位(画質優先)]です。

・高品位(画質優先)

画質を優先してスキャンするときに指定します。

・ドラフト(速度優先)

速度を優先してスキャンするときに指定します。

●アンシャープマスク

アンシャープマスクフィルターをかけるときは、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、オフです。

●モアレ除去

モアレ除去フィルターをかけるときは、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、オフです。

●モノクロ2階調オプション

[基本設定]タブの[カラーモード]で[モノクロ2階調]を選択したときに、オプションを選択します。
[しない]、[TET]、[AAS]から選択します。デフォルトは、[しない]です。

・しない

オプションを使用しないでスキャンします。

・TET

画像の濃淡を判断するしきい値(白黒の境)を自動調整する機能です。文字と背景の色とのコントラストが低い原稿でも、文字と背景を自動識別して文字を鮮明に読み取ります。

・AAS

文字と画像が混在している原稿の文字部分はモノクロ、画像部分は擬似中間処理をする機能です。文字と写真などの画像が混在するモノクロ原稿を読み取るときに、文字領域と写真領域を自動識別して読み取ります。

●彩度

色の鮮やかさの度合いを指定します。
－100～100までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。
デフォルトは、[0]です。

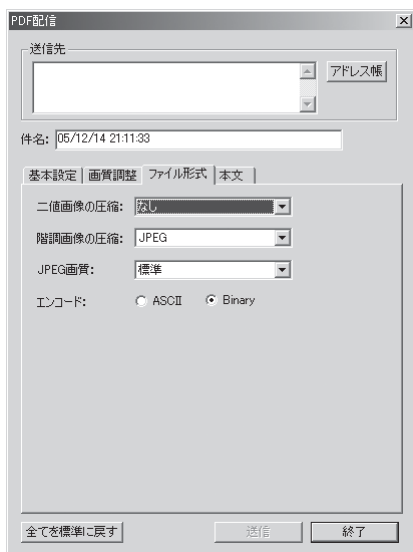
●明度

色の明暗の度合いを指定します。
－100～100までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。
デフォルトは、[0]です。

●ディスプレイガンマ
イメージのコントラスト(色調)を指定します。明るくしたり、暗くしたりできます。
通常は、人間の目の感覚に近い「1.8」に設定することをお勧めします。
1.00～3.00までの値を入力するか、スライドバーで指定します。
デフォルトは、[1.80]です。

●しきい値
白黒2値判別の濃度を入力します。
1～254までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。
デフォルトは、[127]です。

ファイル形式タブ

[ファイル形式]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

●2値画像の圧縮
3つの項目から選択できます。デフォルトは、[なし]です。
・なし　・CCITT Group3
・ CCITT Group4

●階調画像の圧縮
2つの項目から選択できます。デフォルトは、[JPEG]です。
・なし　・ JPEG

●JPEG画質
[階調画像の圧縮]で[JPEG]を選択した場合、圧縮率を指定できます。デフォルトは、[標準]です。
・低品質(高圧縮率)　・標準
・高品質　・最高品質(低圧縮率)

●エンコード
エンコードを選択してファイルを保存できます。デフォルトは、[Binary]です。
・ASCII　・Binary

本文タブ

[本文]タブではメールの本文を0 ～ 512 バイト以内で指定できます。
半角/全角英数字、半角/全角カタカナ、ひらがな、記号、空白が使用できます。

ファイルを受信する

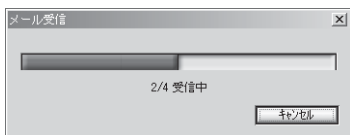
受信できるファイルは、PDF、PS、EPS、TIFF、JPEG、ジョブファイルです。
受信したファイルの処理方法は、プリント終了後削除・プリントして保存・プリントしないで保存があります。

[ボックスの環境設定]ダイアログボックスの[受信]タブで[自動的に受信する]がオンの場合は、自動的に受信します。
ここでは、手動で受信する方法について説明します。

クライアントPCからもメールプリントができます。

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウのをクリックします。または、[ボックス]メニューから[メール受信]をクリックします。

[メール受信]ダイアログボックスが表示され、受信が開始します。

受信が終了した順に、メールから添付ファイルが取り出されます。

添付ファイルは、[環境設定]ダイアログボックスの[受信]タブの設定に従って処理されます。プリントする設定の場合は、ServerManagerのプリントオプションの初期設定が適用されます。ただし、プリントされる用紙サイズは、このあとの「プリントされる用紙サイズについて」のようになります。

プリントされる用紙サイズについて

DocuPrint CG835 IIから受信した場合

受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされている場合

- 指定された用紙サイズにプリントされます。
- 受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされていない場合は、以下の優先順位でプリントされます。
  - ・受信ジョブの用紙サイズよりも大きいサイズの中で最小の用紙サイズを選択し、等倍で用紙の中心にプリントされます。
  - ・受信ジョブの用紙サイズよりも小さいサイズの中で最大の用紙サイズを選択し、用紙サイズに合わせて縮小してプリントされます。

クライアントPC から受信した場合

受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされている場合

- 指定された用紙サイズにプリントされます。

受信ジョブに指定された用紙サイズがトレイにセットされていない場合

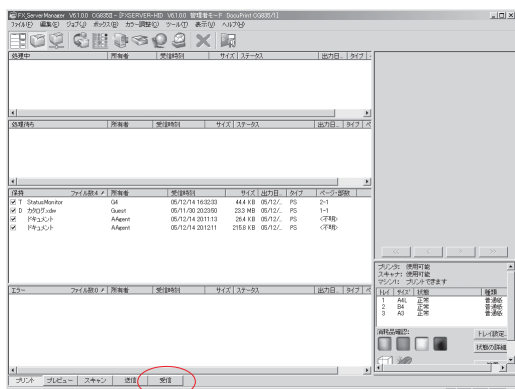
- エラージョブになります。

クライアントPCからの 印刷データで用紙サイズの指定がない場合は、受信ボックスの初期設定の値でプリントされます。

受信したメールをプリントジョブに複製する

受信ボックスに保存されているメールをプリントジョブに複製できます。

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウの[受信]をクリックします。

受信ボックスウィンドウが表示されます。

2

プリントジョブに複製したいメールを選択し、[ジョブ]→[プリントジョブに複製]を選択します。

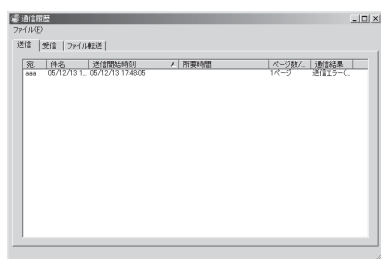
メールがプリントジョブに複製されます。

通信状況を確認する

送受信の結果を確認できます。

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウの[ボックス]→[通信履歴]を選択します。

通信履歴ウィンドウが表示されます。

エラーが発生している場合は、「エラージョブメッセージ一覧」(123ページ)をご覧ください。

2

内容を確認したら、[ファイル]→[終了]を選択します。

通信状況をファイルとして保存する

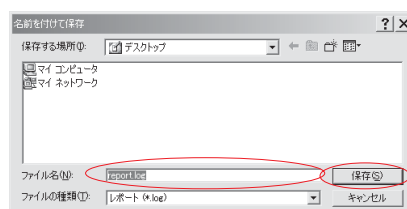
通信状況をCSV形式のファイルとして保存できます。

操作手順

通信履歴ウィンドウでタブを選択し[ファイル]→[保存]を選択します。

ファイル保存のダイアログボックスが表示されます。

2

保存する場所、[ファイル名]を指定して、[保存]をクリックします。

通信状況がCSV形式のファイルで保存されます。

通信状況をプリントする

通信状況の履歴レポートをプリントできます。

操作手順

通信履歴ウィンドウでタブを選択し、[ファイル]→[印刷]を選択します。

用紙トレイを選択するダイアログボックスが表示されます。

[用紙トレイ]からプリントする用紙トレイを選択して、[OK]をクリックします。

履歴レポートがプリントされます。

通信状況で確認できる項目

●送信

項目	説明	
宛先	宛先が表示されます。	
件名	件名が表示されます。	
送信開始時刻	送信開始時刻が表示されます。 送信待ちの場合は、空欄になります。	
所要時間	送信開始から送信終了までの時間が表示されます。 送信待ち、送信中の場合は、空欄になります。	
ページ数/個数	添付したファイルのページ数(PDF配信から送信した場合)、個数(その他の場合)が表示されます。	
通信結果 ※通信結果は、状態の変化に応じて表示が変わります。	送信待ち	送信待ち状態
	送信中	送信開始から送信終了までの状態
	送信済み	送信終了状態
	取り消し	送信待ち、または送信中に処理を停止した状態
	送信エラー(XXX)	送信中にエラーが発生した場合に、エラーの内容を(XXX)で表示します。
	プリント済み	開封確認が指定されたジョブで、送信先でプリントが正常終了した状態
	プリントエラー(エラー内容)	開封確認が指定されたジョブで、送信先でプリントエラーが発生した場合に、エラーの内容を(メール本文の内容)表示します。
	プリントキャンセル	開封確認が指定されたジョブで、プリント途中でキャンセルされた状態

●受信

項目	説明	
差出人	差出人の名前(メールヘッダーのFromフィールドを使用)が表示されます。	
件名	件名が表示されます。	
受信開始時刻	受信開始時刻が表示されます。	
所要時間	受信開始から受信終了までの時間が表示されます。 プリント処理時間は含まれません。	
ページ数/個数	添付されたPDFファイルのページ数(DocuPrint CG835 ⅡのPDF配信から受信した場合)、個数(その他の場合)が表示されます。	
通信結果	受信済み	受信終了状態
	受信中	受信開始から受信終了までの状態
	プリント済み	プリント終了状態
	プリント中	受信したジョブをプリント中の状態
	プリントキャンセル	ServerManagerでジョブがキャンセルされた状態
	プリントエラー	ServerManagerでジョブがエラーになった状態
	受信エラー(XXX)	受信中にエラーが発生した場合に、エラーの内容を(XXX)で表示します。

●ファイル転送

項目	説明	
保存先	ファイル転送を行ったときの保存先の名称が表示されます。	
ファイル名	ファイル名が表示されます。	
転送開始時刻	転送開始時刻が表示されます。	
所要時間	転送開始から送信終了までに要した時間が表示されます。	
通信結果	転送済み	転送が終了した状態
	転送エラー(xxx)	転送中にエラーが発生した場合にエラーの内容を(xxx)で表示します。
	転送中	転送開始から転送終了までの状態

エラーコードについては、「エラージョブメッセージ一覧」(123ページ)を参照してください。

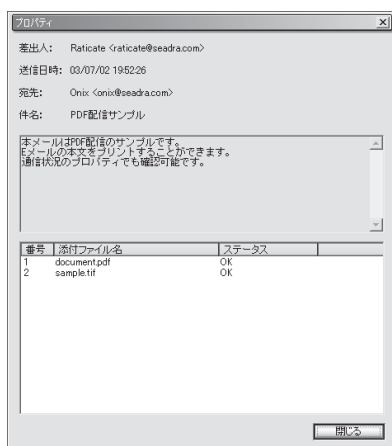
プロパティを確認する

受信メールのヘッダー情報と本文、添付ファイルの名前とステータスが確認できます。

操作手順

受信ボックスでメールを選択し、［ジョブ］→［プロパティ］を選択します。

選択できるメールは、ひとつだけです。

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2

内容を確認したら、［閉じる］をクリックします。

プロパティで確認できる項目

項目	説明	
メール情報	差出人	表示名と実アドレスが表示されます。
	送信日時	yy/mm/dd hh:mm:ss表示されます。
	宛先	すべての宛先の表示名と実アドレスが表示されます。複数の宛先がある場合は、「;」で区切って表示されます。
	件名	件名が表示されます。
	メール本文	メール本文が512バイト以内で表示されます。対応フォーマット以外は、空欄になります。
添付ファイル情報	番号	ファイルの番号が表示されます。
	添付ファイル名	添付ファイルの名前が表示されます。
	ステータス	添付ファイルのサポート状態が表示されます。 OK： 　サポートファイル 未サポート： 　未サポートファイル 未サポートエンコード： 　未サポートのエンコード

4 便利な機能

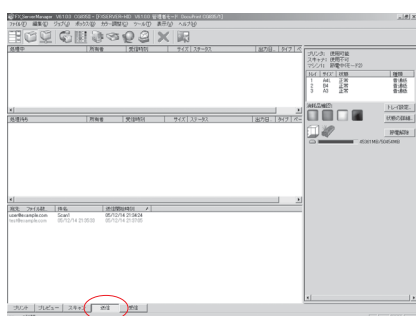
送信ジョブを管理する

時刻指定で送信したジョブの確認ができます。指定した時刻を待たずに送信することや、ジョブの送信の取り消しができます。

操作手順

1

[FX_ServerManager]ウィンドウの[送信]をクリックします。

送信ボックスウィンドウが表示されます。

項目	説明
宛先	宛先が表示されます。 複数の宛先がある場合は、「,」で区切って表示されます。
件名	件名が表示されます。
送信開始時刻	送信開始時刻送信開始時刻が表示されます。

2

指定した時刻を待たずに、ジョブをただちに送信する場合は、ジョブを選択して[FX_Server Manager]ウィンドウの[ジョブ]メニューから[直ちに送信]を選択します。

ジョブの送信を取り消す場合は、ジョブを選択して[ジョブ解除]を選択します。

補足

- 複数のジョブが選択できます。
- 送信を取り消す場合は、ダイアログボックスが表示されるので、[はい]をクリックします。

3

確認が終了したら、[閉じる]をクリックします。

DropPrint2を使ってプリントする

DropPrint2とは、印刷データを作成したアプリケーションを開かずに印刷データをサーバーに送信してプリントするための、クライアントPCで使うソフトウエアです。

DropPrint2を使用すると、印刷データを作成したアプリケーションがなくてもプリントできます。また、プリントオプションの設定が同じ印刷データが複数ある場合は、印刷データごとにプリントの指示をしなくても、1回の指示でプリントできます。

DropPrint2を使って、次のファイルフォーマットのファイルをプリントできます。

- PostScript
- EPS
- PDF
- TIFF
- SunRaster
- XWD
- JPEG

またDropPrint2では、キャリブレーションで色を調整するために、クライアントPCに接続されたスキャナーでスキャンしたGray Scale Targetやキャリブレーションチャートの画像を、サーバーにアップロードすることもできます。

参照

- DropPrint2のインストールについては、「便利なソフトウエアをクライアントPCにインストールする」(30ページ)を参照してください。
- DropPrint2を使って、Gray Scale Targetやキャリブレーションチャート画像をサーバーにアップロードする方法については、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「第1章 色の調整」を参照してください。

ここでは、DropPrint2を使って印刷データをプリントする手順について説明します。

4 便利な機能

● Macintoshをお使いの場合

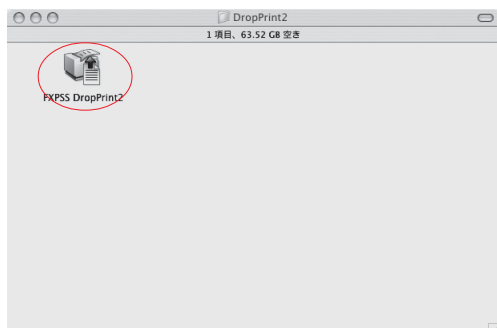
DropPrint2を使って、新規に送信先を登録してから印刷データをプリントする手順について説明します。
ここでは例として、MacOS Xの場合で説明します。

操作手順

クライアントの「Print Server Series」フォルダー内の「DropPrint2」フォルダーをダブルクリックします。

「Print Server Series」フォルダーは、インストール時に作成されたフォルダーです。
「DropPrint2」フォルダーの内容が表示されます。

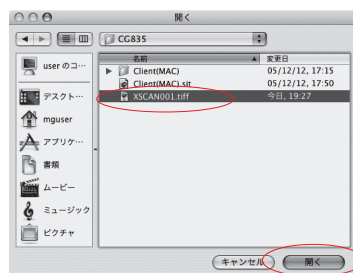
2

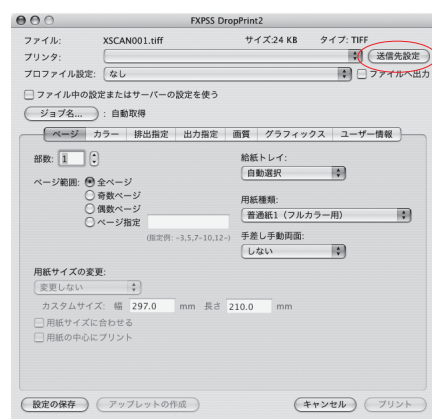
[FXPSS DropPrint2]をダブルクリックします。

DropPrint2が起動します。

3

[ファイル]メニューから[開く]を選択します。
ドキュメントを選択するダイアログボックスが表示されます。

4

ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

[プリントオプションの設定]ダイアログボックスが表示されます。

[送信先設定]をクリックします。
[プリンタ]がグレー表示になっている場合は、送信先にサーバーを登録する必要があります。

ファイルタイプは自動的に判別されます。[プリントオプションの設定]ダイアログボックスでは、設定できない項目はグレー表示になっています。

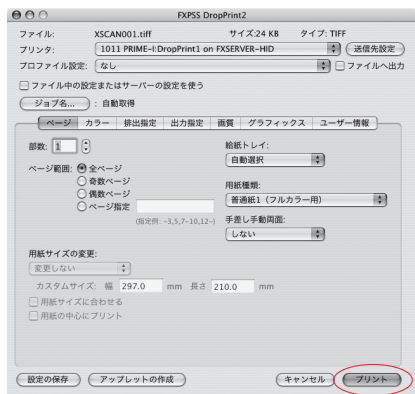
[送信先設定]ダイアログボックスが表示されます。

[AppleTalkゾーン]から使用するネットワークゾーンを選択し、表示されたプリンターリストから使用するサーバーを選択して、[送信先に追加]をクリックして[設定]をクリックします。

●[送信先に追加]は、プリンターリスト内でサーバーを選択している場合にだけ、クリックできます。
●リスト内の項目は、ドラッグ＆ドロップすることで順番を変更できます。

[プリントオプションの設定]ダイアログボックスの[プリンタ]が表示されます。

7

必要に応じて、プリントオプションを設定し、[プリント]をクリックします。

設定した内容で、印刷データがサーバーに送信されます。
DropPrint2を終了する場合は、[ファイル]メニューから[終了]を選択します。
<Command>+<Q>キーでも終了できます。

● Windowsをお使いの場合

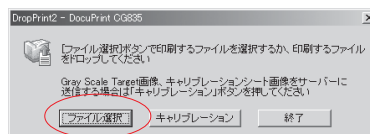
操作手順

1

[スタート]→[プログラム]→[Fuji Xerox]→[Print Server Series]→[DropPrint2]を選択します。

DropPrint2の起動ダイアログボックスが表示されます。

2

[ファイル選択]をクリックします。

[開く]ダイアログボックスが表示されます。

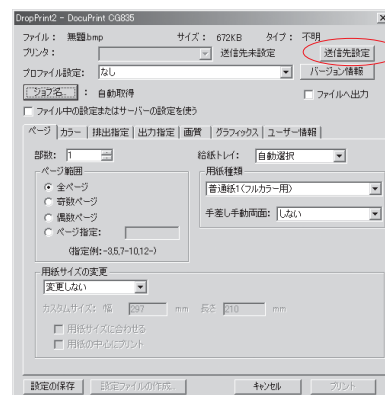
3

プリントするファイルを選択します。
プリントするファイルをDropPrint2の起動ダイアログボックスにドロップしても同じ操作が行えます。

[DropPrint2]ダイアログボックスが表示されます。

4

[送信先設定]をクリックします。

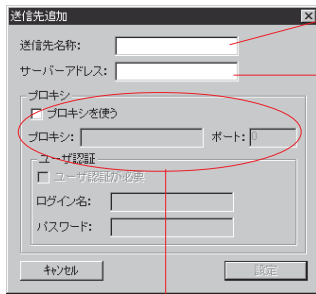
[プリンタ]が選択できない場合は、送信先にサーバーを登録する必要があります。

[送信先設定]ダイアログボックスが表示されます。

5

[追加]をクリックします。

[送信先追加]ダイアログボックスが表示されます。

6

[送信先名称]と[サーバーアドレス]を入力し、[設定]をクリックして、[送信先設定]ダイアログボックスの[閉じる]をクリックします。

送信先を表示するときの名前を入力します。[DropPrint2]ダイアログボックスの[プリンタ]の項目に、ここで入力した名前が表示されます。

サーバーのIPアドレスを入力します。

プロキシサーバーを使う場合は、[プロキシを使う]をオンにし、プロキシの項目を設定します。

7

必要に応じてプリントオプションを設定し、[プリント]をクリックします。

設定した内容で、ファイルがサーバーに送信されます。DropPrint2を終了したいときは、起動ダイアログボックスで[終了]をクリックします。

複数のファイルをプリントするには

複数のファイルをまとめてプリントする場合は、前述の[ファイルを開く]ダイアログボックスで、<Shift>キー(Windowsの場合は<Ctrl>キー)を押しながらファイルを選択します。または、Macintoshの場合は「DropPrint2」フォルダーの[FXPSS DropPrint2]、Windowsの場合は複数のファイルを選択してからDropPrint2の起動ダイアログボックスにドロップします。

複数のファイルを指定すると、[DropPrint2]ダイアログボックスに、[以降のファイルを同じ設定でプリント]チェックボックスが表示されます。

オンにした場合

設定した内容で、選択したすべてのファイルがサーバーに送信されます。ファイル数に相当する分のダイアログボックスは表示されません。

[ファイル]には、「-」が表示されます。[タイプ]には、ドキュメントのファイルタイプが表示されます。ただし、異なるファイルタイプのファイルを同時に複数選択した場合は、「-」が表示されます。

オフにした場合

送信するファイルの数だけ、繰り返しダイアログボックスが表示されます。それぞれのファイルのファイルタイプに応じて、設定できる項目が異なります。

ServerManagerをリモート接続で使用する

ServerManagerを使用してクライアントからサーバーに接続することにより、ジョブの操作や管理が行えます。

クライアントにServerManagerがインストールされている必要があります。
ServerManagerのインストール方法は、「便利なソフトウエアをクライアントPCにインストールする」(30ページ)を参照してください。

ServerManagerでの設定

ServerManagerの環境を、サーバー管理者が使いやすいようにカスタマイズできます。
設定の流れは次のとおりです。

操作手順

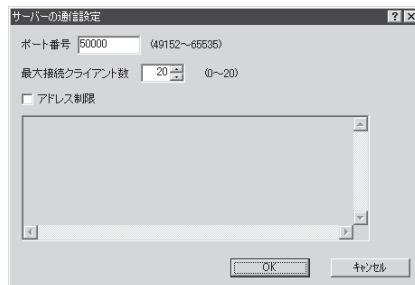
[FX_ServerManager]ウィンドウの[ツール]メニューの[サーバーの環境設定]メニューから目的のサブメニューを選択します。
[サーバーの環境設定]メニューには、次の9つのサブメニューがあります。

- サーバーの通信設定
- プリントジョブの設定
- スクリーンの設定
- 論理プリンタの設定
- プリント履歴の設定
- マシン設定
- スキャンの設定
- 特色の登録
- ボックス環境の設定

[OK]をクリックします。

サーバーの通信設定

[サーバーの通信設定]で設定できる項目は、次のとおりです。

設定を有効にするには、サーバーの再起動が必要となります。

●ポート番号設定

ネットワーク上のクライアントから接続するポート番号を入力します。
英数字だけを入力できます。

●最大接続可能クライアント数

サーバーに、同時に接続できるクライアント数を入力します。
デフォルトは、[20]です。

●アドレス制限設定

クライアントのServerManagerからの使用を制限する場合にアドレスを入力します。
デフォルトは、「オフ」です。

ServerManagerのアドレス制限にチェックを入れ、アドレスを入力しない(空欄)場合、すべてのクライアントから接続できません。

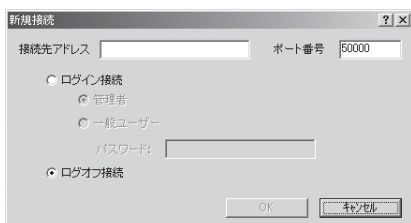
新規接続する

操作手順

[スタート]→[プログラム]→[Fuji Xerox]→[Print Server Series]→[ServerManager]を選択します。
ServerManagerが起動します。

2

クライアントPCで[FX ServerManager]ウィンドウの[ファイル]メニューから[新規接続]を選択します。

[新規接続]ダイアログボックスが表示されます。

3

[接続先アドレス]、[ポート番号]に接続したいサーバーの情報を設定します。

4

接続方法を選択し、[OK]をクリックします。

サーバーに接続されます。

[ログイン接続]を選択した場合は、パスワードを入力してください。

接続設定ファイルから接続する

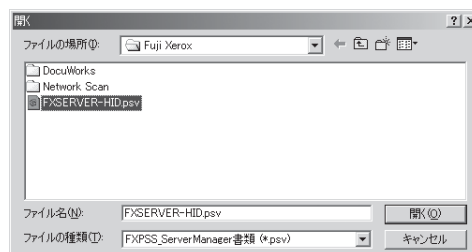
接続に必要な情報が記録された接続設定ファイル(.psv)を使用して、サーバーに接続します。接続設定ファイル(.psv)を使用すると、サーバー情報を入力せずにそのサーバーへの接続を行えます。

接続設定ファイルの保存方法については、「現在の接続状態を接続設定ファイルに名前を付けて保存する」(89ページ)を参照してください。

操作手順

1

クライアントPCで[FX ServerManager]ウィンドウの[ファイル]メニューから[開く]を選択します。

ファイル選択のダイアログボックスが表示されます。

2

接続設定ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

サーバーに接続されます。

接続設定ファイルにログイン接続用のパスワードが記録されていない場合は、パスワード入力用のダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。

サーバーとの接続を切断する

現在、接続しているサーバーとの接続を切断します。

操作手順

1

クライアントPCで[FX ServerManager]ウィンドウの[ファイル]メニューから[閉じる]を選択します。

2

接続設定ファイルを保存していない接続の場合には、接続設定ファイルを保存するか確認するダイアログボックスが表示されます。

●保存する場合

[はい]をクリックし、表示されたファイル保存のダイアログボックスで任意のファイル名を付け、[保存]をクリックします。

[ログインパスワードを記憶して保存]をオンにすると、ログイン接続用のパスワードが接続設定ファイルに保存されます。

●保存しない場合

[いいえ]をクリックします。

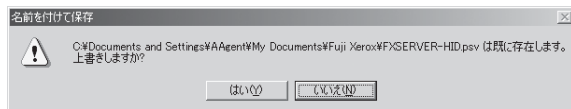
現在の接続状態を接続設定ファイルに上書き保存する

接続しているサーバーに対する接続設定ファイルを、現在の接続状態で上書きします。

操作手順

1

クライアントPCで[FX ServerManager]ウィンドウの[ファイル]メニューから[上書き保存]を選択します。

警告のダイアログボックスが表示されます。

2

[はい]をクリックします。

接続設定ファイルに記録されている情報と現在の接続情報が異なる場合は、ログインモードの変更やログイン接続用のパスワードの保存を行うかを確認するダイアログボックスが表示されます。変更、保存を行う場合は、[はい]をクリックしてください。

接続設定ファイルが上書きされます。

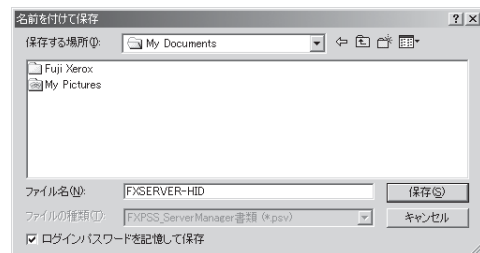
現在の接続状態を接続設定ファイルに名前を付けて保存する

サーバーのアドレス、ログインパスワードなどの接続に必要な情報を記録したファイルを作成します。ファイルには、接続しているサーバーへの接続状態が記録されます。

操作手順

1

クライアントPCで[FX ServerManager]ウィンドウの[ファイル]メニューから[名前を付けて保存]を選択します。

ファイル保存のダイアログボックスが表示されます。

2

任意のファイル名を付け、[保存]をクリックします。

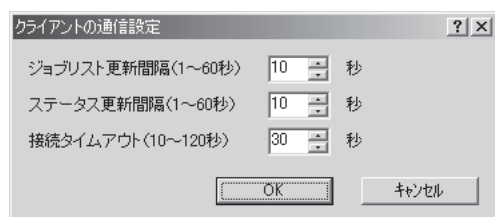
[ログインパスワードを記憶して保存]をオンにすると、ログイン接続用のパスワードが接続設定ファイルに保存されます。

4 便利な機能

クライアントの通信設定をする

操作手順

[ツール]メニューから[クライアントの通信設定]を選択します。

[クライアントの通信設定]ダイアログボックスが表示されます。

2

各項目を設定し、[OK]をクリックします。

●ジョブリスト更新間隔

ジョブリストの更新間隔を1～60秒で設定します。デフォルトは「10」秒です。

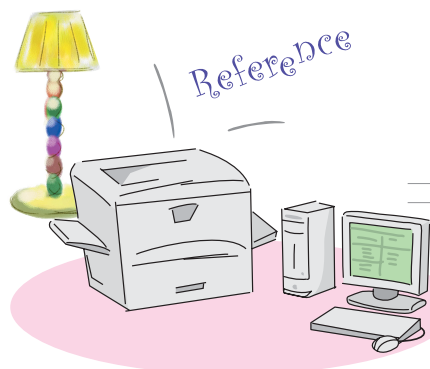
●ステータス更新間隔

ステータスの更新間隔を1～60秒で設定します。デフォルトは「10」秒です。

●接続タイムアウト

接続タイムアウトまでの時間を10～120秒で設定します。デフォルトは「30」秒です。

リファレンス

各画面の詳細を説明します。

プリンタードライバー

プリンタードライバーのプリントオプションの設定項目を、タブ別に説明します。
ここでは例として、Mac OS Xの画面を使って説明します。

各タブ共通の項目

プリンタードライバーのプリントオプションの各タブに共通する項目は、次のとおりです。

プリンタ

使用するプリンターを指定します。

プロファイル設定

詳しくは、「DropPrint2」の「②プロファイル設定」（94ページ）を参照してください。

ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う

ここをオンにすると、この［プリントオプションの設定］画面で設定した内容が無視されます。

送信先設定

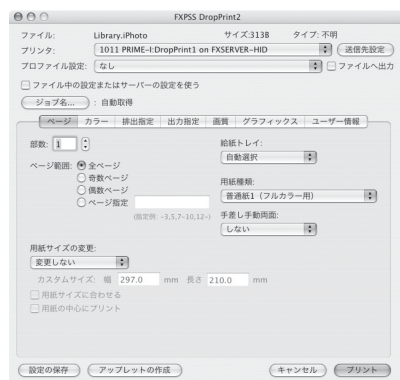
詳しくは、「DropPrint2」の「①送信先設定」（94ページ）を参照してください。

ファイルへ出力

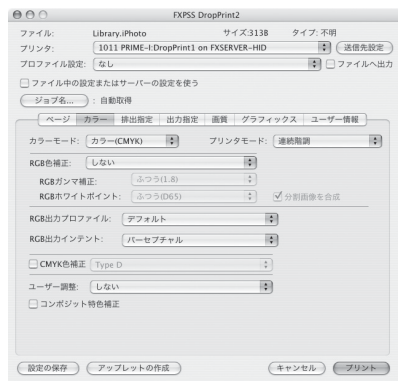
印刷データをファイルに出力します。

上記以外で設定できる項目については、「プリントオプション」の「各タブ共通の項目」（96ページ）を参照してください。

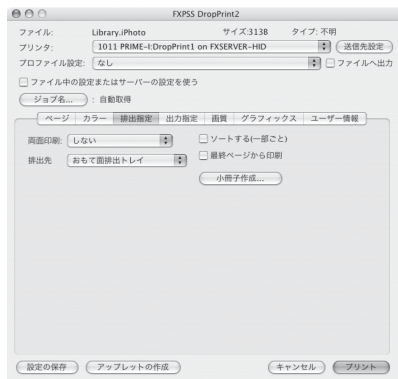
［ページ］タブ

［ページ］タブには、部数や用紙サイズなど、ページ設定の情報が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「［ページ］タブ」（97ページ）を参照してください。

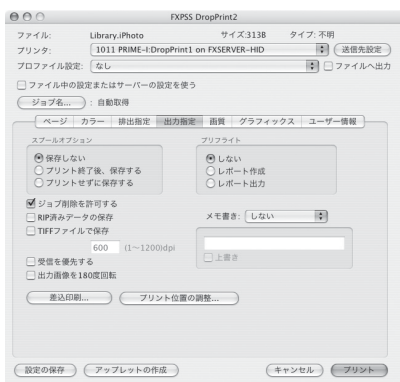
［カラー］タブ

［カラー］タブには、色の調整に関する情報が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「［カラー］タブ」（99ページ）を参照してください。

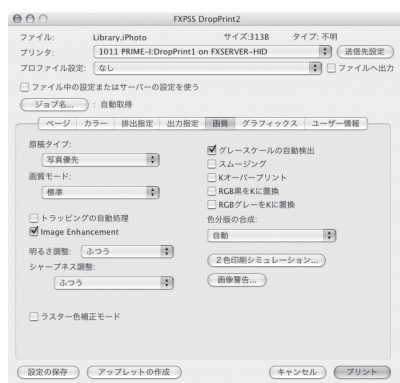
［排出指定］タブ

［排出指定］タブには、用紙の排出に関する情報が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「［排出指定］タブ」（103ページ）を参照してください。

[出力指定]タブ

[出力指定]タブには、スプールや出力などに関する設定が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[出力指定]タブ」(106ページ)を参照してください。

[画質]タブ

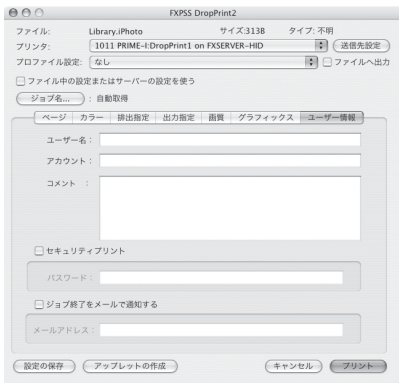
[画質]タブには、原稿タイプや各種警告機能などの設定が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[画質]タブ」(109ページ)を参照してください。

[グラフィックス]タブ

[グラフィックス]タブには、プリントの方向や位置などの設定が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[グラフィックス]タブ」(116ページ)を参照してください。

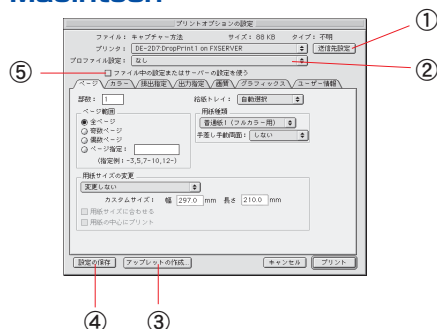
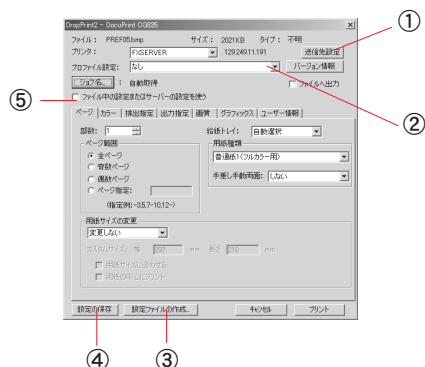
[ユーザー情報]タブ

[ユーザー情報]タブには、印刷データに関するユーザー情報が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[ユーザー情報]タブ」(118ページ)を参照してください。

DropPrint2

DropPrint2固有の機能について説明します。

●DropPrint2でできること、および操作の方法については、「DropPrint2を使ってプリントする」(83ページ)を参照してください。
●プリントオプションに関するタブの項目については、「プリントオプション」(96ページ)を参照してください。

Macintosh

Windows

①送信先設定

[送信先設定]ダイアログボックスが表示され、送信先を設定できます。

②プロファイル設定

接続先のサーバーで割り当てられている各種プロファイル(RGBプロファイル、CMYKプロファイル、ユーザー調整カーブ)の設定情報を持つファイルです。WebManagerでプロファイル設定のダウンロードを行う必要があります。

プロファイルの設定は、WebManagerからダウンロードできます。詳細については、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「4.3.7 WebManager画面からプリントする」を参照してください。

③アップレットの作成(Macintoshの場合)

[保存]ダイアログボックスが表示されます。[設定ウィンドウを出さずに直接印刷]をオンにすると、[プリントオプションの設定]ダイアログボックスが表示されずにプリントできるアップレットを作成できます。

また、ファイルをアイコンにドラッグ&ドロップするだけで、同じ設定でプリントできるアップレットを作成できます。

補足

アップレットの設定内容を変更したい場合は、[プリントオプションの設定]ダイアログボックスで各項目を変更し、[設定の保存]をクリックするか、アップレットを再度作成してください。

③設定ファイルの作成(Windowsの場合)

[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。[設定ウィンドウを出さずに印刷]をオンにすると、[DropPrint2]ダイアログボックスが表示されずにプリントできる設定ファイルを作成できます。

また、ファイルを presen用.dp2 アイコンにドラッグ&ドロップするだけで、同じ設定でプリントできる設定ファイルを作成できます。

●ファイル名の拡張子は「.dp2」です。
●設定ファイルの設定内容を変更したい場合は、[プリントオプションの設定]ダイアログボックスで各項目を変更し、[設定の保存]をクリックするか、設定ファイルを再度作成してください。

④設定の保存

設定した内容が[DropPrint2]ダイアログボックスのデフォルト値として保存されます。いったん[設定の保存]をクリックすると、[キャンセル]をクリックしても設定の内容を元に戻すことはできません。

⑤ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う

オンにすると、[プリントオプションの初期設定]の設定、またはプリントするドキュメント内に記述されている設定でプリントされます。

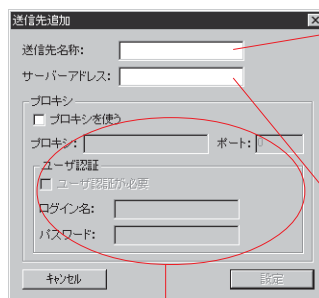
DropPrint2、またはアップロード印刷で、[ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う]を指定しても、送信するファイル内で[部数]が指定されていない場合は、サーバー側の[プリンタの初期設定]で設定している[部数]の値は反映されません。

[送信先追加]ダイアログボックス（Macintoshの場合）

[送信先設定]をクリックすると表示されます。[AppleTalkゾーン]から、使用するネットワークゾーンを選択します。次に、表示されたプリンターリストから使用するサーバーを選択し、[送信先に追加]をクリックして[設定]をクリックします。

MacOS Xの場合は、通信プロトコルを[AppleTalk]と[HTTP]の中から選択することができます。

[送信先追加]ダイアログボックス（Windowsの場合）

[送信先設定]をクリックし、表示された[送信先設定]ダイアログボックスで[追加]をクリックすると、表示されます。

送信先を表示するときの名前を入力します。[DropPrint2]ダイアログボックスの[プリンタ]の項目に、ここで入力した名前が表示されます。

サーバーのIPアドレスを入力します。

プロキシサーバーを使う場合は、[プロキシを使う]をオンにし、各項目を設定します。

プロキシサーバーは、HTTP1.0以降をサポートしている必要があります。

プリントオプション

プリントオプションの項目を、[ジョブ編集]ダイアログボックスのタブ別に説明します。

●各項目に記載されているプリントオプションのデフォルト値は、プリンタードライバー、DropPrint2、またはServerManagerの[プリントオプションの初期設定]の値です。
●ファイルタイプによって、設定できる項目が異なります。設定できない項目は、グレー表示になり、選択できないようになっています。

各タブ共通の項目

[ジョブ編集]ダイアログボックスの各タブに共通する項目は、次のとおりです。

出力プリンタ

使用するプリンターを指定します。

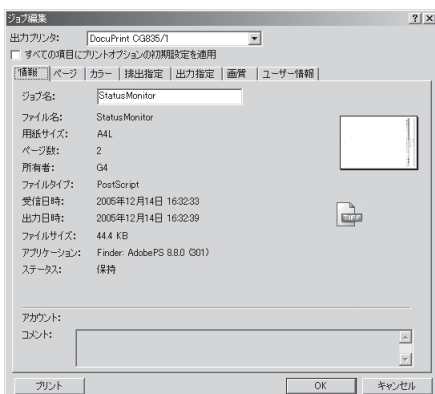
[プリント]ボタン

編集したジョブを、すぐにプリントできます。

すべての項目にプリントオプションの初期設定を適用

すべての項目に対して、[プリントオプションの初期設定]で設定した値を適用したい場合は、オンにします。
オフにすると、[ジョブ編集]ダイアログボックスで設定した値は無効になります。

[情報]タブ

[情報]タブには、ジョブ名や受信日時などのプロパティ情報が表示されます。
[情報]タブで確認できる項目は、次のとおりです。

ジョブ名

クライアントから送信されたジョブのドキュメント名が表示されます。
ジョブ管理リストに表示されるジョブ名を変更できます。

ファイル名

ドキュメント名が表示されます。

用紙サイズ

プリントオプションで指定したドキュメントの用紙サイズが表示されます。
また、RIP処理をした場合は、もとの用紙サイズと最後のイメージサイズが、次のように表示されます。
●もとの用紙サイズ→最後にRIP処理したときのイメージサイズ
●用紙サイズが指定されていない場合は、「不明」と表示されます。

ページ数

印刷データのページ数が表示されます。

所有者

プリントを送信した所有者名が表示されます。

ファイルタイプ

印刷データのファイルフォーマットが表示されます。

受信日時

サーバーが印刷データを受信した日時が表示されます。

出力日時

印刷データを最後に出力した日時が表示されます。

ファイルサイズ

印刷データのファイルサイズが表示されます。

アプリケーション

印刷データを作成したアプリケーションが表示されます。

ステータス

印刷データの処理状況や、エラーメッセージが表示されます。
RIPエラー、PostScriptエラーの場合は、右側に表示されている[詳細]ボタンをクリックすると、エラーの詳細が記述されたダイアログボックスが表示されます。

プレビュー画像

ジョブがプレビューを保存している場合は、右側にある四角い枠内に、1ページめの画像が表示されます。

保持データ

印刷データがデータを保持している場合は、プレビュー画像の下に以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
PF	プリフライトレポートを保持しています。
RIP	RIP済みデータを保持しています。
TIFF	TIFFファイルを保持しています。

アカウント

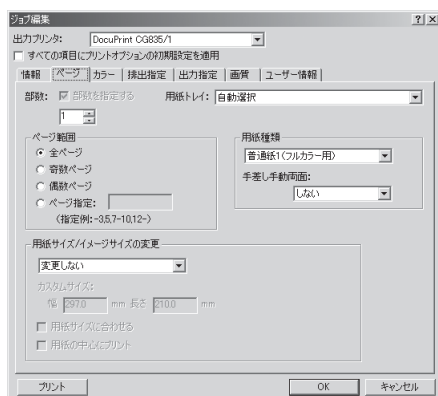
プリンタードライバーなどで指定したアカウントが表示されます。

コメント

プリンタードライバーなどで指定したコメントが表示されます。

[ページ]タブ

[ページ]タブには、部数や用紙サイズなど、ページ設定の情報が表示されます。

[ページ]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

部数

プリントする部数を、1～999までの値で入力できます。デフォルトは、[1]です。

DropPrint2、またはWebManagerのアップロード印刷で、[ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う]を指定しても、送信するファイル内で[部数]が指定されていない場合は、サーバー側の[プリンタの初期設定]で設定している[部数]の値は反映されません。

用紙トレイ(または給紙トレイ)

用紙トレイを選択します。デフォルトは、[自動選択]です。

[自動選択]を指定した場合の注意事項

- 選択される用紙トレイの優先順位は、次のとおりです。
  トレイ1>トレイ2>トレイ3
- プリントオプションで用紙サイズと用紙種類を指定している場合は、指定が一致するトレイから給紙されます。このとき、手差しトレイは選択の対象外になります。また、用紙切れのトレイは、優先順位が最下位になります。
- 選択した用紙サイズのトレイが装着またはセットされていない場合で、用紙サイズが代用されないときは、RIP処理を中止し、エラージョブとして処理されます。
- 用紙サイズを指定していない場合は、[プリントオプションの初期設定]で設定した[用紙サイズ]が適用されます。

[トレイ2]、[トレイ3]は、オプションのトレイモジュールが装着されている場合に表示されます。

ページ範囲

ページ範囲を選択します。デフォルトは、[全ページ]です。

[ページ指定]には、1～999までの値を入力できます。ページの区切りはカンマ「,」で、連続したページはハイフン「-」で指定します。「-5」は、「1～5ページまで」を、「5-」は「5ページ以降」を表します。

用紙種類

プリントに使用する用紙の種類を選択します。

用紙種類には、次の項目があります。デフォルトは、[普通紙1(フルカラー用)]です。

● 普通紙1(フルカラー用) ● 普通紙2 ● 厚紙1(98〜210g/m²) ●厚紙2(98〜210g/m²)
● OHPフィルム ● OHP合紙(白紙挿入) ● OHP合紙(プリント) ● ラベル紙 ● コート紙 ●マット紙
● 専用光沢紙 ● はがき ● 封筒

●[用紙トレイ]が、[トレイ1]〜[トレイ3]の場合は、[普通紙1(フルカラー用)]と[普通紙2]だけが セット可能です。

●通常、厚紙に印刷する場合は「厚紙1」を選択します。用紙によって、トナーの定着が悪くはがれるような場合は、「厚紙2」を選択して印刷すると、定着性が改善することがあります。

手差し手動両面

手差しトレイを使用して、両面印刷する場合の印刷方法を指定します。

手差し両面印刷には、次の項目があります。デフォルトは、[しない]です。

●しない ●おもて面(長辺とじ) ●おもて面(短辺とじ) ●うら面(長辺とじ) ●うら面(短辺とじ)

用紙は、以下のようにセットしてください。

●この項目は、[用紙トレイ]が[手差しトレイ]で、[用紙種類]が[普通紙1(フルカラー用]、[普通紙2]、[厚紙1(98〜210g/m²)]、[厚紙2(98〜210g/m²)]、[コート紙]、[マット紙]、[専用光沢紙]、[はがき]の場合に有効です。

●DocuPrint CG835 IIからジョブを読み込む場合は、V5.0以前のバージョンで[手差しうら面]を[する]で保存したジョブは、本バージョンでは[うら面(長辺とじ)]に変換されます。

用紙サイズ/イメージサイズの変更(または用紙サイズ)

用紙サイズを変更するときに指定します。デフォルトは、[変更しない]です。

- A3x2、A2L、B4x2、B3Lは、DropPrint2、WebManager、ServerManagerでは表示されません。
- A3x2/A2LまたはB4x2/B3Lを選択した場合は、1ページ分のイメージが、A3またはB4用紙2枚に分割されてプリントされます。
- A3x2、B4x2は、「A3+トンボサイズ」まで、A2Lは「A3の印字エリア×2」、B3Lは「B4の印字エリア×2」まで出力するためのサイズです。
- A3x2/B4x2でとじしろをつけたいときは、[サーバーの環境設定]→[プリントジョブの設定]の「分割出力時のとじしろ量」で設定してください。

A2L/B3Lの用紙サイズを指定してプリントした場合、A3x2/B4x2の用紙サイズに比べてRIP処理に時間がかかります。

カスタムサイズ(またはカスタムページサイズ)

[用紙サイズ/イメージサイズの変更]で[カスタムサイズ]を選択したときに、用紙のサイズを入力します。カスタムサイズの単位は、「mm」です。

入力できるサイズの範囲は、次のとおりです。デフォルトは、幅[297.0]、長さ[210.0]です。

用紙トレイ	入力範囲(単位mm)
トレイ1(特A3トレイがセットされている場合だけ)	幅:304.8〜328.0 長さ:420〜457.2
手差しトレイ	幅:90〜330.2 長さ:139.7〜457.2

用紙サイズに合わせる

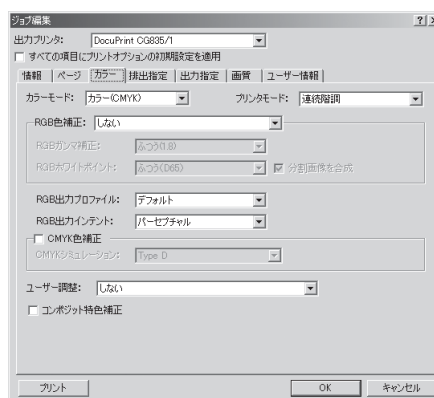
用紙サイズに合わせて拡大または縮小してプリントするときは、オンにします。

用紙の中心にプリント

用紙サイズを変更した場合、イメージを用紙の中央に合わせてプリントするときは、オンにします。

[カラー]タブ

[カラー]タブには、色の調整に関する情報が表示されます。

[カラー]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

カラーモード

カラーモードを選択します。

ドキュメントのイメージがグレースケールの場合は、どちらを選択してもほぼ同じプリント結果になりますが、[グレースケール(K)]を選択したほうが処理が速くなります。

[グレースケール(K)]を選択した場合は、[RGB色補正]、[RGBガンマ補正]、[コンポジット特色補正]、[RGBホワイトポイント]は指定できません。

プリンターモード

プリンターモードを選択します。
プリンターモードには、次の項目があります。デフォルトは、[連続階調]です。

●連続階調
連続階調(各色8ビット)でプリントします。

●スクリーン
2値(各色1ビット)でプリントします。

[スクリーン]を選択すると、カラーイメージにスクリーン処理をしてプリントします。ドキュメントの大部分が彩度の強い色を使ったカラー原稿などでは、スクリーン処理によってプリント結果が良くなることがあります。

[スクリーン]を選択した場合の注意/制限事項

- ユーザー調整カーブの設定は無効になります。
- RGB色補正やCMYK色補正は正しい色味でプリントできません。RGB色補正やCMYK色補正のプロファイルは、連続階調用です。
- [画質]タブの[原稿タイプ]が[文字/写真(写真優先)]、または[文字/写真(文字優先)]のときは、印刷データはエラーになります。

RGB色補正

ドキュメントにあるRGB画像に対して、色補正をするかどうかを設定します。
[カラーモード]で[カラー(CMYK)]を選択した場合に、指定できます。
RGB色補正には、次の項目があります。

● しない ● する ● sRGB ● Adobe RGB(1998)
● sRGB(写真画質の自動補正:標準)
● sRGB(写真画質の自動補正:人物)
● sRGB(写真画質の自動補正:風景)
● sRGB(写真画質の自動補正:現場写真)
● 標準(1)～(10)またはユーザー1～10

[する]を選択した場合は、さらに[RGBホワイトポイント]と[RGBガンマ補正]が指定できます。また、[ユーザー1～10]を選択した場合は、[RGBガンマ補正]だけがさらに指定できます。デフォルトは、[しない]です。
プリントするページ内の写真画像を、指定した「写真画像自動補正」メニューの特性に応じて自動で補正します。

●sRGB(写真画質の自動補正:標準)
写真画像を明るさやコントラスト、および鮮やかさに応じて自動で補正します。

●sRGB(写真画質の自動補正:人物)
標準よりも明るめに補正します。暗めに撮影された写真画像を明るく補正したい場合に適しています。

●sRGB(写真画質の自動補正:風景)
標準よりも鮮やかさを重視して補正します。

●sRGB(写真画質の自動補正:現場写真)
標準よりもコントラストを重視した補正を行います。画像内にある文字を強調してプリントしたい場合に適しています。

ユーザー1～10には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.6 RGB用ICCプロファイルを読み込む」を参照してください。

RGBガンマ補正

ディスプレイの表示にプリントの色を近づけるため、ディスプレイの明るさの状態を選択することで、RGBまたはCIE RGB画像に対してガンマ調整をします。[RGB色補正]で[する]または[ユーザー1～10]を選択した場合に、指定できます。デフォルトは、[ふつう(1.8)]です。

●デフォルト ●より明るい(1.0) ●明るい(1.4)
●ふつう(1.8) ●暗い(2.2) ●より暗い(2.6)

- [RGB色補正]で[する]を指定した場合、[デフォルト]を選択すると[ふつう(1.8)]が適用されます。
- [RGB色補正]で[ユーザー1～10]を指定した場合、[デフォルト]を選択するとユーザープロファイルのガンマ指定が適用されます。

RGBホワイトポイント

ディスプレイの表示色とプリントの色を近づけるため、ディスプレイのホワイトポイントを選択します。
[RGB色補正]で[する]を選択した場合に指定できます。
RGBホワイトポイントには、次の項目があります。デフォルトは、[ふつう(D65)]です。

●やや黄色い(D50 Proofing)

ディスプレイの肌色や赤の色調が黄色に近すぎたり、青が紫に近すぎたり、または緑色が黄色に近すぎたりして見える場合に選択します。

●ふつう(D65)

●やや青い(9300)

ディスプレイの肌色や赤の色調がマゼンタに近すぎたり、空色などの青がシアンに近すぎたり、または緑色が濃すぎたりして見える場合に選択します。

分割画像を合成

アプリケーションによって1つの画像を分割して作成されたデータを、合成した1つの画像として色補正をするかどうかを選択します。[RGB色補正]で[sRGB(写真画質の自動補正:標準)]、[sRGB(写真画質の自動補正:人物)]、[sRGB(写真画質の自動補正:風景)]、[sRGB(写真画質の自動補正:現場写真)]のいずれかを選択した場合に、指定できます。

デフォルトは、[する]です。

[RGB色補正]については、「RGB色補正」(100ページ)を参照してください。

RGB出力プロファイル

ドキュメントにあるRGB、CIEカラー、L*a*b*、およびXYZなどの画像の色変換に、指定したプロファイルを使用します。

●プリントオプションの[カラーモード]で[グレースケール(K)]を設定している場合、読み込んだRGB出力プロファイルを適用すると、プロセスカラーでプリントされます。

●Photoshopで[ポストスクリプトカラー管理]をオンにしたCMYKデータや、プロファイルを埋め込んだCMYKデータはCIEカラー扱いとなり、RGB出力プロファイルの指定が適用されます。

ユーザー1〜10には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.6 RGB用ICCプロファイルを読み込む」を参照してください。

RGB出力インテント

[RGB出力プロファイル]で指定したユーザープロファイルで使用する、変換モードを指定します。

RGB出力インテントには、次の項目があります。

デフォルトは、[パーセプチャル]です。

●パーセプチャル

カラー画像の全体的なバランスをとりながら処理します。

●サチュレーション

カラー画像の色相や彩度のバランスをとりながら再現できるように処理します。

●相対カラリメトリック

再現できる色領域は色を一致させ、異なる色領域のためにプリンターで再現できない色については、もっとも近い色に再現できるように処理します。

●絶対カラリメトリック

[絶対カラリメトリック]は、入力データの白と用紙の白の調整を行わない、絶対的なモードです。適用するICCプロファイルによっては、白いデータ部分でも、色が付いてプリントされることがあります。

CMYK色補正

ドキュメントにあるCMYK画像に対して色補正をするかどうかを指定します。チェックボックスをオンにすると、さらに[CMYKシミュレーション]でプロファイルが指定できます。デフォルトは、オフです。

CMYKシミュレーション

プリントするときに使用するプロファイルを選択します。[CMYK色補正]がオンの場合に、指定できます。

CMYKシミュレーションには、次の項目があります。

デフォルトは、「TypeD」です。

●TypeD

日本で使用されている代表的な印刷物のインク色に近づくように補正します。これにより、標準的オフセット・プロセス印刷における印刷物の色に近づくように補正できます。

●DIC標準色

印刷物の色の標準化のために大日本インキ化学工業株式会社が定めた規格です。標準的なオフセット・プロセス印刷で、印刷物の色を近似的にシミュレーションできるプロファイルです。

●雑誌広告基準カラー

雑誌広告基準カラー(JMPAカラー)がシミュレーションできるプロファイルです。

●雑誌広告基準カラーV2(2004)

雑誌広告基準カラー(JMPAカラー)Ver.2がシミュレーションできるプロファイルです。

●東洋インキ標準色ver.2.0

印刷物の標準化のために東洋インキ製造株式会社が定めた規格です。「東洋インキ標準色ver.2.0」の印刷条件は、次のとおりです。

インキ	：TKハイユニティ
イメージセッター	：Creo Dolev 800
用紙	：パールコート 104.7g/m²（三菱製紙）
印刷機	：三菱ダイヤ304型
スクリーン	：175線/インチ スクエアドット

●JapanColor2001(アート紙)

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のアート紙(ISO規格用紙タイプ1)印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

●JapanColor2001(マット紙)

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のマットコート紙(ISO規格用紙タイプ2)印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

●JapanColor2001(コート紙)

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のコート紙(ISO規格用紙タイプ3)印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

●JapanColor2001(上質紙)

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」の上質紙(ISO規格用紙タイプ4)印刷がシミュレーションできるプロファイルです。
JapanColor2001(上質紙)を使用した場合、黒文字が薄く再現されることがあります。黒文字を濃く、くっきり見せたいときは、「JapanColor2001(上質紙IEオン)を使用してください。

●JapanColor2002(新聞)

新聞用Japan Color 2002(JCN2002)をシミュレーションできるプロファイルです。

●JapanColor2003(輪転)

オフセット輪転印刷用(商業オフ輪用)Japan Color 2003(JCW2003)をシミュレーションできるプロファイルです。

●SWOP

米国における、主に出版オフセット輪転印刷の標準色であるSWOP(Specifications Web Offset Publications)に近づくように色補正します。

●Euro Sheet-fed(コート紙)

ヨーロッパにおける標準色であるユーロスタンダードのコート紙印刷に近づくように色補正します。

●Euro Sheet-fed(アート紙)

ヨーロッパにおける標準色であるユーロスタンダードのアート紙印刷に近づくように色補正します。

●Euro Sheet-fed(マット紙)

ヨーロッパにおける標準色であるユーロスタンダードのマットコート紙印刷に近づくように色補正します。

●DIC標準色 (IEオフ)(1)

[DIC標準色]のIEオフのカラープロファイルです。

●雑誌広告基準カラー(IEオフ) (2)

[雑誌広告基準カラー]のIEオフのカラープロファイルです。

●色補正なし(IEオフ) (3)～(10)

補足

●IEとは、Image Enhancement の略で、文字の輪郭などをくっきりさせる機能です。K100%の濃度が低い印刷環境をシミュレーションするCMYKプロファイルの場合、黒のグラデーションで、99～100%の部分に段差が目立ってしまうことがあります。このような場合には[Image Enhancement]をオフにしてください。Image Enhancementについては、「画質タブ」の「Image Enhancement」(110ページ)を参照してください。

●プリンターの状態によっては、IEがオンのとき、グラデーションなどがきれいにプリントされない場合があります。この場合は、IEオフのカラープロファイルを選択してください。

ユーザー調整

プリントするときに使用するユーザー調整カーブを選択します。

ユーザー調整には、次の項目があります。デフォルトは[しない]です。

- しない
- 無調整(1)～(10)、またはユーザー調整1～10

ユーザー調整1～10には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.9.4 ユーザー調整カーブを割り当てる」を参照してください。

コンポジット特色補正

コンポジットカラーのジョブの場合に、アプリケーションで指定している特色インクの色とプリントの色を近づけたいときは、オンにします。オフにすると、アプリケーションに内蔵されているCMYK値でプリントされます。

指定した特色が、サーバーに登録されていない場合には、「PostScriptエラー：undefined spot color」が発生します。

対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONEです。

デフォルトは、オフです。

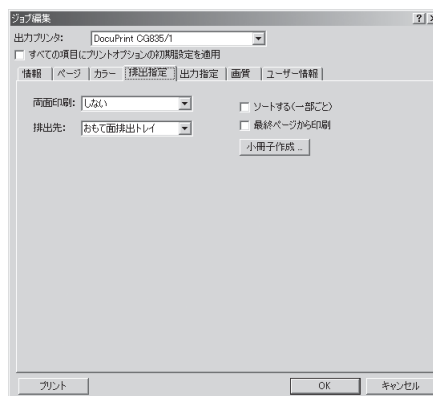
コンポジット特色補正は、分版ジョブには影響しません。分版合成で特色版が含まれる場合には、[画質]タブの[色分版の合成]を[自動]に設定してください。特色版の分版合成が行われると共に、コンポジット特色補正と同様の色補正処理が行われます。

PhotoshopのダブルトーンのEPSファイルを、QuarkXPressなどのアプリケーションのレイアウトに配置した場合、QuarkXPressからのコンポジットプリントではCIEカラーで出力されるので、コンポジット特色補正は適用されません。QuarkXPressから分版出力を行うと、特色版で出力されるので、分版合成機能の特色版合成機能により特色補正が適用されます。

[排出指定]タブ

[排出指定]タブには、用紙の排出に関する情報が表示されます。

[排出指定]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

プリンタードライバーの[詳細設定]ダイアログボックスでは、[排出/用紙種類]タブになります。

排出先

排出するときの印刷面の向きを選択します。

排出先には、次の項目があります。デフォルトは、[おもて面排出トレイ]です。

- **おもて面排出トレイ**
  印刷面を上にして、サイドトレイから排出します。
- **うら面排出トレイ**
  印刷面を下にして、センタートレイから排出します。
  用紙サイズがB5よりも大きく、用紙の種類が普通紙、ラベル紙の場合だけ有効です。

- 「両面印刷」で[長辺とじ]または[短辺とじ]が指定されている場合、以下のようになります。
- 奇数ページをうら向きにして排出します。
  [最終ページから印刷]と[排出先]の指定は無効になり、1ページめから排出されます。

両面印刷

両面プリントの方法を選択します。

●プリンターにオプションの両面印刷モジュールが装着されている場合だけ、両面印刷ができます。
●両面印刷が可能な用紙サイズは次のとおりです。また、両面印刷が可能な用紙の種類は、[普通紙1(フルカラー用)][普通紙2][厚紙1(98～210g/m²)][コート紙][マット紙]です。
・A4L　・A4　・A3　・B5L　・B4
・8.5x11L　・8.5x11　・8.5x14
・11x17　・12x18
●厚紙やコート紙、マット紙に両面印刷をする場合は、手差しトレイにセットしてください。
●トレイ1に特A3トレイがセットされている場合は、トレイ1から給紙できません。

両面印刷には、次の項目があります。デフォルトは、[しない]です。

●しない

●長辺とじ

用紙の長辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するようにプリントします。
たて向き原稿の場合は、表と裏が同じ方向を上にして両面にプリントされ、よこ向き原稿の場合は、裏面のプリントイメージが180度回転します。

●短辺とじ

用紙の短辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するようにプリントします。
たて向き原稿の場合は、裏面のプリントイメージが180度回転され、よこ向き原稿の場合は、表と裏が同じ方向を上にして両面にプリントされます。

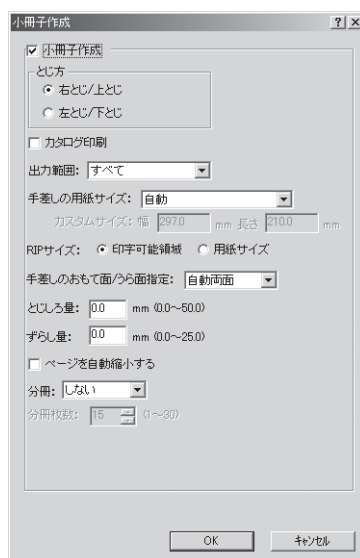
ソートする(一部ごと)

複数ページの印刷データを複数部数プリントするときに、部単位でまとめてプリントする場合は、オンにします。
デフォルトは、オンです。

最終ページから印刷

最後のページからプリントする場合に、オンにします。
デフォルトは、オフです。

[両面印刷]で、[長辺とじ]または[短辺とじ]が指定されている場合、[最終ページから印刷]の指定は無効になり、1ページめからプリントされます。

[小冊子作成]ダイアログボックス

小冊子作成

小冊子作成をする場合は、オンにします。デフォルトは、オフです。
複数ページのドキュメントをプリントし、まとめて中央で2つ折りにしてとじたとき、小冊子の形になるようにプリントできます。プリントするときには、ページ番号が順番に並ぶように自動的に調整しながら、両面印刷されます。

小冊子作成－とじ方

小冊子の状態にしたときに、ページを開く方向をどちら側にするかを指定します。デフォルトは、[右とじ/ 上とじ]です。

●右とじ/ 上とじ

たて向き原稿の場合は右側をとじるように、よこ向き原稿の場合は上側をとじるようにプリントされます。

●左とじ/ 下とじ

たて向き原稿の場合は左側をとじるように、よこ向き原稿の場合は下側をとじるようにプリントされます。

小冊子作成－出力範囲

プリントする用紙の範囲を指定します。デフォルトは、[すべて]です。

[1 枚目のみ]、[2 枚目以降]は、表紙だけ厚紙などにする場合に使用します。

●すべて

すべての用紙をプリントします。

●1 枚目のみ

小冊子になったときの1 枚目の用紙だけをプリントします。たとえば、8 ページの原稿の場合、1、2、7、8 ページが印字された用紙をプリントします。

●2 枚目以降

小冊子になったときの2 枚目以降の用紙をプリントします。たとえば、8 ページの原稿の場合、3、4、5、6 ページが印字された用紙をプリントします。

小冊子作成－手差しのおもて面/ うら面指定

手差しトレイからプリントする場合に、プリント面を指定します。デフォルトは、[自動両面]です。

●自動両面

手差しトレイから自動両面プリントができる場合に指定します。自動両面プリントできない用紙種類の場合は、[おもて面のみ]、または[うら面のみ]を指定して、片面ずつプリントしてください。

●おもて面のみ

小冊子になったときのおもて面だけをプリントします。たとえば、8ページの原稿の場合、1、8 ページが印字された用紙と3、6 ページが印字された用紙をプリントします。

●うら面のみ

小冊子になったときのうら面だけをプリントします。たとえば、8 ページの原稿の場合、2、7 ページが印字された用紙と4、5 ページが印字された用紙をプリントします。

小冊子作成－分冊

小冊子を分冊にするかを選択します。デフォルトは、[しない]です。

自動両面プリントができない用紙種類に[自動両面]を指定した場合は、[おもて面のみ]と同じ動作になります。

●しない

全ページで1 冊の小冊子になります。

●自動分冊

出力枚数が均等になるように複数の冊子に分けてプリントされます。ただし、1 冊の最大枚数は15 枚です。

●枚数指定

[小冊子作成－枚数]で指定された枚数で複数の冊子に分けてプリントされます。

枚数が10、分冊枚数が4 の場合は、4、4、2 に分けられます。

小冊子作成－枚数

[小冊子作成－分冊]で[枚数指定]を選択した場合に、1～30の間の指定された枚数で複数の冊子に分けてプリントされます。デフォルトは、[15]です。

小冊子作成－カタログ印刷

[する]を選択すると、A3のドキュメントに、A4のおもて表紙・うら表紙が混在しているといった用紙混在ドキュメントから小冊子を作成できます。デフォルトは[しない]です。

小冊子作成－RIPサイズ

各ページの印字可能領域をRIP処理するのか、用紙サイズでRIP処理するのかを指定します。デフォルトは[印字可能領域]です。

小冊子作成－手差しの用紙サイズ

[給紙トレイ]で[手差しトレイ]を選択した場合、用紙サイズを指定します。デフォルトは[自動]です。

小冊子作成－とじしろ量

2つ折りにしたとき、のどにあたる部分のとじしろを0.0～50.0mmで指定します。デフォルトは[0.0]mmです。

小冊子作成－ずらし量

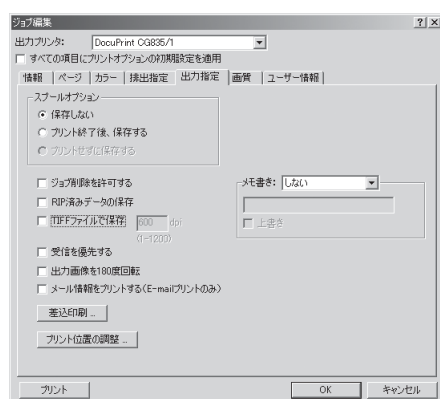
2つ折りにしたときの一番外側の用紙から一番内側の用紙に向かって、用紙内のページを少しずつ、のど方向へずらします。印刷位置をずらす量を0.0～25.0mmで指定します。デフォルトは[0.0]mmです。

最大で[小冊子作成－とじしろ量]の設定値の1/2まで設定できます。

小冊子作成－ページを自動縮小する

[小冊子作成－とじしろ量]を[0.1]以上に設定した場合、とじしろと反対側が欠けることがあります。このメニューを選択すると、ページを自動的に縮小して印刷されます。デフォルトは[しない]です。

[出力指定]タブ

[出力指定]タブには、スプールや出力などに関する設定が表示されます。
[出力指定]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

スプールオプション

送信された印刷データの出力方法を選択します。

プリフライト

プリフライトとは、プリントする前に、ジョブにエラーがないかどうかを確認する機能です。
プリフライトでチェックされる項目は、次のとおりです。

● ファイルサイズ ● ドキュメント名
● アプリケーション/ドライバ ● ユーザ名
● ページ数 ● 用紙サイズ ● PostScriptエラー内容
● 使用している色空間 ● 使用しているフォント
● 使用しているスポットカラー(特色)

プリフライトには、次の項目があります。デフォルトは、[しない]です。

●しない

●レポート作成
プリフライトレポートを作成します。

●レポート出力
プリフライトレポートを作成して、プリントします。

受信を優先する

データをすべて受信し終わってからRIP 処理を開始するときにオンにします。オフにすると、RIP中のデータがない場合は、受信しながらRIP処理が行われます。デフォルトは、オフです。

この機能は、クライアントからのプリント指示時にだけ有効です。印刷データの読み込み時には無視されます。

高速/低速のネットワークが混在する場合(1000Baseや100Baseに10Baseや無線LANが混在する場合)に、低速ネットワークから大容量のプリント指示をすると、送信が終わるまでRIP処理を占有してしまい、高速なネットワークからのプリントのRIP処理を待たせてしまうことなります。
低速なネットワークから大容量のプリントをする場合は、[受信を優先する]チェックボックスをオンにすると、全体の生産性を向上できます。「プリントオプションをカスタマイズする」の「[強制上書き]ボタン」(48ページ)を参照して、通常のプリンターのほかに、低速なネットワークからプリントする場合の専用のプリンターを設定し、そのプリンターに[受信を優先する]がオンになるように強制上書き機能で設定して使用すると便利です。

RIP済みデータの保存

RIP処理後のデータをサーバーに保存する場合に、オンにします。
[プリントジョブ設定]ダイアログボックスで、[RIP後のデータをイメージとして保存]をオンに設定し、かつ[スプールオプション]で、[プリント終了後、保存する]または[プリントせずに保存する]を選択した場合にだけ有効です。デフォルトは、オンです。

●[スプールオプション]で[保存しない]が選択されていると、RIP処理済みデータは保存されません。
●[原稿タイプ]を[文字/写真(写真優先)]、または[文字/写真(文字優先)]から、[写真優先]、[文字優先]、[グラフ]のいずれかに変更した場合、またはその逆の変更をしたときは、RIP処理済みデータは削除されます。

TIFFファイルで保存

イメージングソフトなどを使用して、プリント結果をプレビューで確認したい場合に使用します。
ジョブのプレビュー用イメージをTIFFファイルに保存する場合は、オンにすると、TIFFファイルがサーバーに保存されます。
Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XPからは共有フォルダーを使用して、Macintosh からはServerPreview3アプリケーションを使用して、TIFFファイルを取り出します。また、WebManagerから［ジョブと履歴］→［プレビュー］を使用するか、ServerMangerのプレビューボックスからもTIFFファイルを取り出すことができます。デフォルトは、オフです。

［TIFFファイルで保存］と［RIP済みデータの保存］の両方を選択している場合、TIFFファイルのみ作成され、RIP済みデータは作成されません。

TIFFファイルは、1ページにつき1ファイルが作成され、ドキュメントが複数ページある場合は、ページ数と同じだけのTIFFファイルが作成されます。
作成されるTIFFファイルのファイル名は、「ジョブ名nnn.tif」で、「nnn」には、ページ番号が入ります。
TIFFファイルの解像度は、1～1200dpiの範囲で1dpi刻みに入力できます。デフォルトは、［600］です。

差込印刷

差込印刷を指定したり、差込印刷に使用するフォームを登録します。
差込印刷については、「フォームページと重ねてプリントする［差込印刷］」（69ページ）を参照してください。
差込印刷ができるジョブは、PostScriptとPDFだけです。
差込印刷には、次の項目があります。デフォルトは［しない］です。

●しない

●フォームを使う

あらかじめサーバーに登録してあるフォームの番号を指定して、差込印刷をします。
フォーム番号のデフォルトは［フォーム1］です。
PowerPointなど、背景に白地を出力するアプリケーションの場合、フォームデータをすべて白で上書きしてしまいます。［バックグラウンド消去］をオンにすることで、白で上書きされるのを防ぐことができます。［バックグラウンド消去］のデフォルトは、「オフ」です。
プリントオプションで、［RIP済みデータの保存］をオンに設定している場合は、フォームと合成後にRIP処理済みデータが保存されます。

●フォームとして登録

フォーム番号を指定して登録します。フォームの登録名をジョブ名から変更する場合は、新しいフォーム名を指定します。
RIP処理済みデータが自動的に作成されます。

差込印刷－強制上書き

この項目は、プリンタードライバーの［詳細設定］ダイアログボックスやDropPrint2で、ジョブをフォームとして登録する場合に指定します。
ServerManagerのプリントオプションには、ありません。

［差込印刷－フォーム番号］で指定したフォーム番号がすでに登録済みの場合、チェックボックスをオンにしていると、登録されていたフォームの差込印刷を解除し、指定したフォームを登録し直します。チェックボックスがオフの場合は、指定したフォーム番号がすでに登録済みのときは登録できません。ジョブはエラーリストに移動されます。
ただし、チェックボックスをオンにしていても、登録済みのフォームにセキュリティープリントの指定がされていた場合は、登録できません。指定したジョブは差込印刷が解除されてエラーリストに移動されます。

メモ書き

印刷データに、カラーパッチやコメントなどを重ねてプリントします。
パッチの設定や、オプションメモで使用するフォントなどを変更できます。
メモ書きには、次の項目があります。デフォルトは［しない］です。

●しない

●カラーパッチ

CMYKおよびプロセスブラックについて、100%、50%、10%の3種類、計15パッチが、各1×1cmの大きさでプリントされます。

●オプションメモ

プリントオプションの設定をプリントします。
次の項目について、デフォルト値から変更した場合に、変更値がプリントされます。

・RGB色補正　・RGBガンマ補正
・RGBホワイトポイント
・RGB出力プロファイル・RGB出力インテント
・CMYKシミュレーション
・ユーザー調整　・コンポジット特色補正
・Image Enhancement
・スムージング　・原稿タイプ
・画質モード

●コメント

[メモ書き－コメント]で指定した文字列をプリントします。

●カスタム

独自の形式のメモ書きを設定することができます。
デフォルトでは、印刷データごとに、日付と番号がプリントされます。複数部数の設定および複数ページの印刷データでは、すべてのページに同じ番号がプリントされます。この番号は、RIP処理のたびに、またキャンセル、エラー、およびWindows からのフォントダウンロードのときにも、カウントアップします。
この番号は、カンプ番号を想定したものです。複数部のプリント出力を行い、自分と先方、または複数部署で校正するような場合、編集や修正によるバージョンの不整合が発生しないように、この番号で確認できます。

メモ書き－上書き

印刷データの上にメモを重ねてプリントするときは、オンにします。オフにすると、メモの上にジョブを重ねてプリントします。
デフォルトは、オンです。

プリント位置の調整

用紙上の印字開始位置を調整したい場合に使用します。
デフォルトは[しない]です。
実際の用紙上の印字開始位置は[プリント位置の調整－片面/おもて面(幅方向)]、[プリント位置の調整－片面/おもて面(長さ方向)]、[プリント位置の調整－うら面(幅方向)]、[プリント位置の調整－うら面(長さ方向)]で指定します。

ジョブ削除を許可する

ServerManager、WebManager、StatusMonitor3からの[ジョブ削除]を許可するかどうかを指定します。デフォルトは[する]です。
「しない」の場合、[ジョブ削除]を実行しても削除せず、アラートが表示されます。

「しない」の場合でも、[スプールオプション]で[保存しない]を選択し、かつ[サーバーの環境設定]→[プリントジョブの設定]の[ジョブを自動保持する]がオフの場合は、プリント終了後にジョブが削除されます。ただし、プリント終了までの間(RIP待ち、RIP 中、プリント中)に「ジョブ削除」を実行した場合にはアラートを表示し、削除されません。

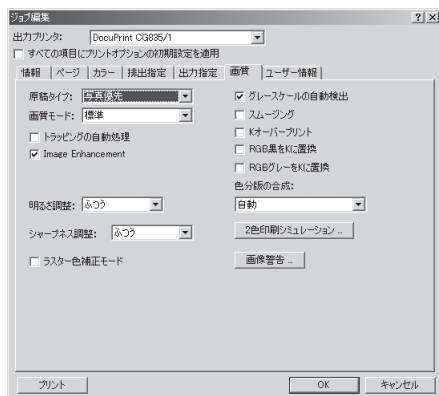
出力画像を180度回転する

[する]を選択すると、イメージを180度回転してRIP処理されます。デフォルトは[しない]です。

メール情報をプリント

[する]を選択すると、Eメールプリント時にメール情報がプリントされます。デフォルトは[する]です。

[画質]タブ

[画質]タブには、原稿タイプや各種警告機能などの設定が表示されます。
[画質]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

原稿タイプ

原稿タイプを選択します。デフォルトは、[写真優先]です。

●写真優先

写真のように中間調データが多く含まれているドキュメントの場合に指定します。階調が重視されたプリント結果になります。

●文字優先

ドキュメント内に、中間色の文字や図形を多く含む場合に指定します。中間色の図形の品質が重視されたプリント結果になります。

●グラフ

グレースケールのドキュメントやグラフのように細部をくっきりさせたいときに指定します。写真や文字が多く含まれるようなドキュメントには向いていません。

●文字/写真(写真優先)

写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータ、文字や線図形などデータが、それぞれのデータに適した処理に切り替えられてプリントされます。
写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータは、階調重視のプリント結果になります。

●文字/写真(文字優先)

写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータ、文字や線図形などデータが、それぞれのデータに適した処理に切り替えられてプリントされます。
写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータは、中間色の図形の品質が重視されたプリント結果になります。

画質モード

画質モードを選択します。デフォルトは、[標準]です。

●標準

用紙サイズや印刷面にかかわらず、600×600dpiで処理されます。

●グラフィックス

A4サイズ以下の片面/両面印刷、およびA4サイズより大きい片面は600×300dpiで、A4サイズより大きい両面の場合は300×300dpiで処理されます。

●ドラフト

用紙サイズや印刷面にかかわらず、300×300dpiで処理されます。出力解像度が標準より低いので、処理が速くなります。最終出力前のドラフトプリントや、Windowsからのプリントで解像度が制限される場合に選択してください。

補足

- [標準]でプリントしたとき、印刷データがエラー(コントローラーボードエラー(1031))で終了した場合は、[グラフィックス]を選択します。
- 頻繁にコントローラーボードエラー(1031)が発生する場合には、拡張メモリーオプションを購入することをお勧めします。

トラッピングの自動処理

アプリケーションにトラッピング機能がない場合でも、文字や図形に対して自動的にトラッピング処理を行うことができます。
メモ書き機能で印字されるカラーパッチやコメントがイメージの上に描画される場合にも、カラーパッチやコメントがトラッピングされます。
デフォルトは、オフです。

- [トラッピングの自動処理]は、製版時のトラッピングをシミュレーションする機能ではありません。トラッピング処理を行えないアプリケーションからのプリントで、図形や文字の重なり部分に白い隙間が目立つような場合に、プリントの見栄えを向上させるための機能です。
- InDesignなどのAdobe In-RIPトラッピングを指定できるアプリケーションで、プリント時にAdobe In-RIPトラッピングを指定する場合には、トラッピングの自動処理はオフにしてください。InDesignでの指定により、Print Serverに内蔵されているAdobe In-RIPトラッピングの機能がオンになります。InDesign 2.0では、プリント時に色分解(In-RIP)を指定すると、Adobe In-RIPトラッピングが指定できます。
- [カラーモード]に[グレースケール(K)]が指定されている場合は無効になります。
- 分版合成モードのジョブに対しては無効になります。
- 差込印刷のフォームとデータの重なり合いへのトラッピング処理は行われません。
- スムージング処理は、トラッピング処理の結果に対して行われます。

Image Enhancement

Image Enhancementは、K100%の文字や図形のエッジを滑らかにプリントするための機能です。通常は、オンの状態で使用します。

- CMYKプロファイルで、IEオフのプロファイルを選択している場合、Image Enhancement機能は無効になります。
- プリンターの状態によっては、IE がオンの場合、黒の99～100%の部分のグラデーションがきれいにプリントされないことがあります。この場合は、IEをオフにしてください。
- ユーザー調整カーブでK100%の濃度を下げてプリントしたいときには、IEをオフにしてください。IEがオンの場合には、K100%の濃度はユーザー調整カーブでは下げることができません。

明るさ調整

画像全体の明るさを[明るく(+5)]～[暗く(-5)]までの±5段階で調節できます。デフォルトは[ふつう]です。

シャープネス調整

画像全体のシャープネスを[もっと強く(+3)]～[もっと弱く(-3)]までの±3段階で調節できます。デフォルトは[ふつう]です。

ラスター色補正モード

[する]を選択すると、RIP後のラスター画像に対し、インキ総量警告、CMYK色補正、トナー制限、ユーザー調整を行います。デフォルトは[しない]です。

この機能は、コンポジット出力ジョブに対してだけ有効であり、分版ジョブ、In-Ripジョブに対しては無効です。

グレースケールの自動検出

自動的に白黒ページを判別させ、プリント速度の速い[グレースケール(K)]モードでプリントする場合は、オンにします。少量のカラーページを含む複数ページの印刷データをプリントする場合などに、プリント時間を短縮できます。
全ページにカラーデータがある印刷データの場合は、オフにします。
デフォルトは、オンです。

スムージング

スムージングをする場合は、オンにします。スムージングをすると、Kの線や文字にアンチエイリアス効果がかかります。デフォルトは、オフです。

●この機能は、［プリンタモード］が［連続階調］の場合に有効です。

●IEを有効にして文字や線の輪郭の品質を向上させたい場合には、スムージングをオフにしてください。IEがオフの場合に、文字や線の輪郭をなめらかに見せたいとき、スムージングをオンにしてください。IEとは、Image Enhancementの略で、文字の輪郭などをくっきりさせることをいいます。

Kオーバープリント

ブラック100%で文字やグラフィックをプリントする場合で、オーバープリントするときは、オンにします。抜き合わせでプリントしたい場合は、オフにします。デフォルトは、オフです。

この機能は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

RGB黒をKに置換

RGB黒をブラック100%に置き換えてプリントしたい場合は、チェックボックスをオンにします。

RGBモードで作られたCMYK混色の黒を、純粋な黒トナー(C=M=Y=0%、K=100%)に置き換えてプリントするので、ぼやけて見えるCMYK混色の黒を、Kだけのはっきりとした黒にできます。

Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合、デフォルトは、オンです。Macintoshの場合、デフォルトは、オフです。

RGBグレーをKに置換

RGBグレーをK単色のグレーに置き換えてプリントしたい場合は、チェックボックスをオンにします。

RGBモードで作られたCMYK混色のグレーを、純粋な黒トナー(C=M=Y=0)に置き換えてプリントするので、ぼやけて見えるCMYK混色のグレーを、Kだけのはっきりとしたグレーにできます。

Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合、デフォルトは、オンです。Macintoshの場合、デフォルトは、オフです。

この機能は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

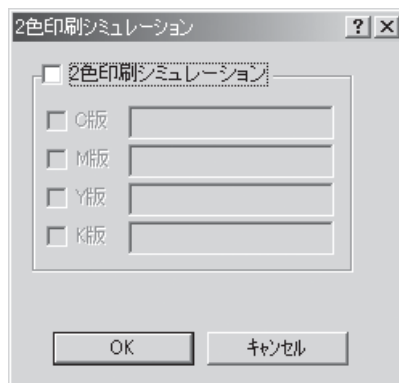
色分版の合成

各色の版を合成するスタイルを選択します。

色分版の合成には、次の項目があります。デフォルトは、［自動］です。

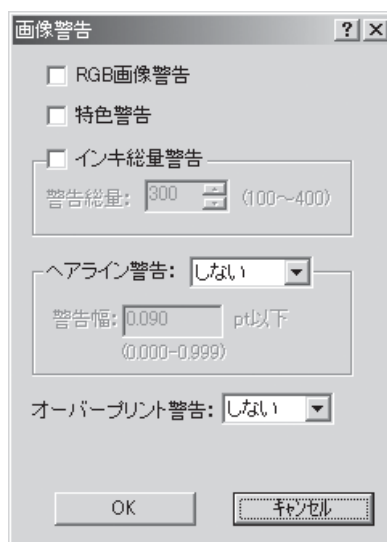
- 自動
- しない
- QuarkXPress-4Style
- QuarkXPress-3Style
- PageMaker Style
- FreeHand Style
- Canvas Style
- Illustrator Style
- InDesign Style

［自動］の場合、特色版の合成にも対応できます。対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONEです。

［2色印刷シミュレーション］ダイアログボックス

チラシなどで使用される2色印刷において、CMYKのうちのいずれかのプロセスカラーを特色に見立ててレイアウトしたドキュメントを、実際に使用する特色インキの色でシミュレーションしてプリントする場合に使用します。チェックボックスをオンにすると、さらに、レイアウト上のCMYKを置き換える特色名、またはCMYK色を指定できます。
特色名は、Illustratorなどのアプリケーションで指定する名称と同じです。また、CMYK色を指定する場合は、「=」に続けて、色とパーセント数値を使用して指定します。
特色名が空欄の場合は、指定した色版がそのままの色でプリントされます。
デフォルトは、オフです。

- CMYKのうち印刷のためのチェックをしていない色のオブジェクトをプリントしようとした場合には、そのオブジェクトはプリントされませんが、印刷される色部分にはそのオブジェクトのノックアウト効果による白い影ができます。
- [ヘアライン警告]で[抽出]、または[オーバープリント警告]で[抽出]を指定している場合、抽出すべきオブジェクトの色にチェックがされていない場合には、そのオブジェクトの抽出結果はプリントされません。
- 分版ジョブに対してServerManagerのプリントオプションで色分版の合成を指定していない場合には、Kだけのプリントになります。このときに2色印刷シミュレーションを指定して、Kを出力しない設定になっていると、白紙がプリントされます。
- 特色が使われているジョブをコンポジットモードで出力した場合に、2色印刷シミュレーションを指定すると、特色をCMYKで表現した値に対して2色印刷シミュレーションが行われるため、特色とは異なる色になってしまいます。2色印刷シミュレーションでは、特色を使用しないように設定するか、または分版出力を行ってください。分版出力では、2色シミュレーションモードでも特色は特色のシミュレーションが行われて出力されます。

- 2色印刷で[ヘアライン警告]または[オーバープリント警告]に[警告色]が指定されている場合(コンポジットプリント時)、[2色印刷シミュレーション]でCMYKのうちの選択されていない色のオブジェクトであっても、警告色で警告は行われます。
- InDesign 1.0のコンポジット出力では、トンボは単色Kで出力されるので、トンボを出力するにはK版を出力するように設定してください。
- InDesign 2.0やIllustrator 9.0/10.0のコンポジット出力では、レジストレーションカラーで指定されたオブジェクト(トンボも含む)は、2色印刷シミュレーションの対象とはなりません。その場合、[オーバープリント警告]で[再現]を選択すると2色印刷シミュレーションが行われます。
- PDF内のオーバープリントが指定されているオブジェクトは、2色印刷シミュレーションの対象となりません(セパレーションカラースペースが指定されるため)。その場合、[オーバープリント警告]で[再現]を選択すると2色印刷シミュレーションが行われます。

[画像警告]ダイアログボックス

RGB画像警告

色分版出力などで問題の発生するRGBおよびCIE画像を、警告色でプリントして警告します。RGBイメージやRGBオブジェクトなどのRGB画像をマゼンタで、CIE画像はシアンの警告色でプリントします。[カラーモード]が[グレースケール(K)]の場合には、RGB画像警告機能は無効になります。デフォルトは、オフです。
コンポジットプリンターへの出力で、RGBのPostScriptコードを出力するアプリケーションは、分版出力を行うときRGB画像を白黒画像で出力してしまいます。このため、コンポジットプリンターへの出力ではカラーでプリントされても、オフセット印刷などのための分版出力では白黒で印刷されてしまう場合があります。
また、Photoshopでポストスクリプトカラー管理をオンにして作成したCMYK画像(CIE画像：カラープロファイルが埋め込まれている)は、コンポジットプリンターへの出力では埋め込まれたカラープロファイルが適用されますが、分版出力ではカラープロファイルが適用されず、色再現に差違が生じてしまう場合があります。
この機能を使用すれば、オフセット印刷(分版出力)を行うとコンポジットプリンターとは異なる結果になってしまうような画像を事前に検出できます。

Macintoshクライアントの場合、CMYK画像を扱えるアプリケーションからのプリントでRGB画像警告の指定が有効になります。RGB画像しか扱えないアプリケーションからのプリントでは、RGB画像警告は無効になります。初期状態で登録してあるCMYK画像が扱えるアプリケーションは、Illustrator、QuarkXPress、PageMaker、およびInDesignです。

- CIE画像とは、CIE色空間で色を記述した画像のことです。たとえば、Photoshopでポストスクリプトカラー管理機能をオンにすることによって、RGB画像は自動的にCIE画像に変換されます。また、CMYK画像はカラープロファイルを埋め込んだ形でCIE画像に変換されます。
- RGB画像警告機能は、コンポジットカラープリントのジョブに対して有効です。アプリケーションから色分版出力している場合には、アプリケーションがRGBやCIE画像をKのみなどの画像として出力するので、イメージセッターなどへ色分版出力している場合と同様のプリントになります。
- [RGB画像警告]が指定されている場合は、[RGB色補正]の指定は無視されます。

特色警告

[警告色]を選択すると、ドキュメント内の特色を使用している箇所を警告色でプリントします。デフォルトは[しない]です。

インキ総量警告

[する]を選択すると、[警告総量]の指定値以上のインキを使用している箇所を警告色でプリントします。デフォルトは[しない]です。

[ラスター色補正モード]が[しない]の場合は、CMYK、RGB、CIEの画像にだけ適用されます。ただし[オーバープリント警告]が[再現]の場合は、すべてのオブジェクトに適用されます。

警告総量

[インキ総量警告]で[する]を選択した場合、100〜300の間で警告する値を指定します。デフォルトは[300]です。

ヘアライン警告

警告幅より細い線を、抽出、消去、または警告色でプリントします。オフセット印刷で消えてしまったり、かすれてしまったりする可能性のある線を検知できます。検知する線幅は、[警告幅]で指定します。

●PageMakerは、線幅の指定をデバイスの1ピクセル幅単位にまるめて出力するので、600dpiのプリンターに対しては0.12ptよりも細い線を出力しません。このため、PageMakerで作成した描画オブジェクトには、ヘアライン警告機能が正しく適用されません。
なお、PageMakerに割り付けたEPSファイルに含まれる細線には、正しく適用されます。

●**<2色印刷シミュレーションが指定されている場合>**
コンポジットモードの場合、警告色の色版は2色印刷シミュレーションの指定にかかわらず出力されます。分版出力モードの場合は、警告色の色版が2色印刷シミュレーションで指定されている版にだけ出力されます。

●InDesign 1.0/2.0で、鉛筆ツールや楕円形ツールで描いた曲線にグラデーションで塗りを指定したオブジェクトは、ヘアライン警告機能では検出できません。

●Illustratorで、曲線にパターンで塗りを指定したオブジェクトにはヘアライン警告は有効ですが、警告色の場合には、警告幅での曲線は外形がギザギザになります。

●Illustrator 9.0/10.0で、「コンポジットプリントでのオーバープリントを無視」をオフにして出力すると、Illustratorが線オブジェクトを塗り、図形オブジェクトに変換してしまうので、ヘアライン警告機能が無効になる場合があります。「コンポジットプリントでのオーバープリントを無視」をオンにすれば、レイアウトした線はそのまま出力されるので、ヘアライン警告機能が有効になります。

●Illustrator 9.0は、EPS作成時に線オブジェクトを塗り、図形オブジェクトに変換してしまうことがあります。その場合は、Illustrator 9.0.2を使用してください。

補足

●この機能は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

●Illustratorなどで作成したEPSファイルを縮小して割り付けた場合、縮小後の線幅もヘアライン警告で検出できます。

●**<下地がある場合のヘアライン警告の消去>**
ヘアライン警告機能の消去は、警告されるオブジェクトの下地に別のオブジェクトが存在する場合には、ヘアラインオブジェクトを消去したうえで、下地のノックアウト(下地への白い線の描画)も行わないようにしています。これは、下地に対する細い白抜きはつぶれてしまい再現されないという現象をシミュレーションするものです。
この機能は、コンポジットモードだけではなく、分版合成モードでも有効です。

ヘアライン警告には、次の項目があります。

●警告色
細線を、警告のための色と太さでプリントします。また、IllustratorやInDesignなどで作成できる、幅のない直線fillは、警告のための色と鎖線パターンでプリントします。
初期設定の警告色は、マゼンタ100%、3 ポイント幅です。また、グレースケールモードでは、60%、20ポイント幅です。

●消去
細線を消去してプリントします。

●抽出
ドキュメントから、細線だけを抜き出してプリントします。細線がない場合は、白紙でプリントされます。

ヘアライン警告ー警告幅

ヘアライン警告を適用するオブジェクトの幅を、0.000〜0.999ポイントの間で指定できます。

オーバープリント警告

オーバープリントまたはトラッピングが指定されているオブジェクトを、抽出または警告色でプリントします。
グレースケールモードにも指定できます。
オーバープリント警告には、次の項目があります。

●警告色

オーバープリントが指定されている部分を、警告色でプリントします。
警告色のデフォルトは、シアン 30%、マゼンタ 70%、イエロー 30%です。グレースケールモードでは、70%です。

●アプリケーションからコンポジット出力を設定した場合にだけ、有効です。
●分版合成モード(InDesignで指定できるInRIPセパレーションモードも含む)では、オーバープリントやトラッピングが指定どおりにプリントされるため、オーバープリント警告機能を設定しても、自動的に無効になります。
●白オブジェクトにオーバープリントを設定しても何も効果がないので働かないように設定してあります。また、白オブジェクトに対するチョーク指定のトラッピングは効果があるので警告を行いますが、白オブジェクトに対するスプレッド指定は何も効果がないので、警告しないように設定してあります。
設定を変更する場合は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「5.3 画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。
●Illustrator 9.0/10.0は、オーバープリントをシミュレーションして出力するので、[オーバープリント警告]は、働きません。
●PageMakerおよびInDesignでは、紙白に対してオーバープリント警告機能が働かないように設定してあります。これは、オーバープリントかつ紙白を設定してプリントすると、白のノックアウトのPostScriptコードが、必ず出力されるためです。
●2色印刷シミュレーションが指定されている場合、警告色の色版は2色印刷シミュレーションの指定にかかわらず出力されます。
●InDesign2.0には、分版出力を行わなくとも、InDesign2.0自身がオーバープリントと同様となるオブジェクトをコンポジット出力でも出力するモード、「オーバープリント処理」という機能があります。この場合には、アプリケーションからオーバープリントを行ったように見えるコンポジット出力のオブジェクトを出力するので、オーバープリント警告機能は働きません。

●QuarkXPress3.3Jで、プリンターの設定ファイルとしてPPDファイルを使用しているときには、オーバープリント警告機能は働きません。
プリンターの設定ファイルには、PDFファイル(QuarkXPress3.3用のプリンター設定ファイル)を指定してください。

●抽出

ドキュメントから、オーバープリントを設定している部分だけを抜き出して、プリントします。設定している部分がない場合は、白紙でプリントされます。

●再現

アプリケーションで指定したオーバープリントやトラッピングの指定は、アプリケーションから分版出力することで有効になり、Print Server Seriesの分版合成機能を使用すればカラーでオーバープリントやトラッピングを再現することができます。
オーバープリント警告の再現機能では、コンポジットプリントでも、アプリケーションで指定したオーバープリントやトラッピングを検出してシミュレーションすることが可能です。大きなデータでは、送信時間がかかる分版出力を行わなくても、コンポジットプリントでオーバープリントやトラッピングの確認ができます。

●オーバープリントの再現は、アプリケーションからの分解版の出力と同様に、RGBやCIEカラーのオブジェクトには効きません。
DeviceCMYKまたはDeviceGrayで指定されているオブジェクトにだけ、オーバープリントが再現できます。
●分版出力で特色版を出力するのと同様に、特色のオーバープリントやトラッピングを再現したい場合には、[コンポジット特色補正]をオンにしてプリントしてください。

補足

●RGBやCIEカラーのオブジェクトは、アプリケーションの分版出力ではグレーでプリントされますが、オーバープリント警告の再現機能ではカラーでプリントされます。オフセット印刷のときに分版出力を使用するのであれば、オーバープリント警告の再現機能を使用するのと同時に、[RGB画像警告]をオンにして、RGBやCIEカラーのオブジェクトを警告色でプリントするように設定することを、お勧めします。

●オーバープリント警告の再現機能は、コンポジットプリントでも分版出力と同様にアプリケーションで指定したオーバープリントやトラッピングを再現しようとするものですが、以下のような場合には多少の違いが生じます。詳細は、『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）の「5.3.4 オーバープリント再現モードの設定」を参照してください。

- QuarkXPressでトラッピングを設定した場合のうち、次の場合は、スプレッドが設定されたものとして再現されます。
  - ・フォントにチョークを設定した
  - ・多角形画像ボックスにチョークを設定した
  - ・ベジェ画像ボックスにチョークを設定した場合

  また、線/丸/四角画像ボックスにチョークを設定した場合には、チョークで再現されます。
- オーバープリントは制限なく再現可能です。また、PageMakerやInDesignでも制限なく再現可能です。

●オーバープリント警告の再現モードでは、RGB色補正やCIEカラーのオブジェクトは、RGBまたはCIEカラーの色補正のあとにCMYK色補正が適用されます。RGB色補正やコンポジット特色補正を適当な色でプリントしたい場合には、印刷環境用のRGB色補正プロファイルを登録して使用してください。

補足

●オーバープリント警告の再現モードで、ヘアライン警告の警告色と2色印刷シミュレーションが同時に指定されている場合には、ヘアライン警告の警告色は、InRIPセパレーションモードの警告と同じような色になります。InRIPセパレーションモードの警告色については、『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）の「5.3.2 ヘアライン警告色の設定」を参照してください。

●無視

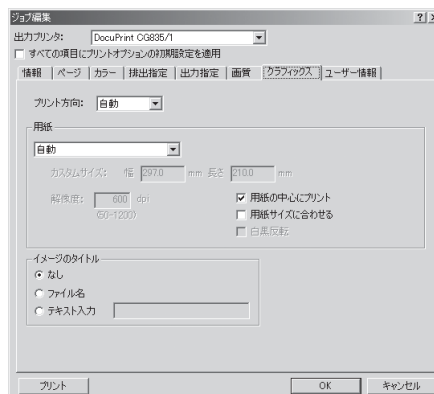
アプリケーションで指定したオーバープリント指定を、コンポジット出力時に無視してプリントします。Illustrator CS2でコンポジットモードでプリントした場合に、オーバープリントされてしまうのを防ぎます。

[グラフィックス]タブ

[グラフィックス]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

補足

[グラフィックス]タブは、DropPrint2やWebManagerで次のファイルをプリントするときに設定できます。また、ServerManagerでは、次のファイルをDropPrint2やWebManagerでサーバーに送信した場合にだけ、表示されます。

● TIFF ● EPS ● SunRaster ● XWD

プリント方向

プリントする方向を選択します。

プリント方向には、次の項目があります。デフォルトは、[自動]です。

● 自動 ● 縦 ● 横

補足

この項目は、EPSとTIFFファイルだけ有効です。

用紙(または用紙サイズ)

プリントに使用する用紙サイズを選択します。

用紙には、次の項目があります。デフォルトは、[自動]です。

- 自動
- A5L
- A5
- A4L
- A4
- A3
- A2L
- A3x2
- B5L
- B5
- B4
- B3L
- B4x2
- 8.5x11L
- 8.5x11
- 8.5x13
- 8.5x14
- 11x17
- 12x18
- SRA3
- 328x453
- 13x18
- はがき
- 往復はがきL
- 往復はがき
- 4連はがきL
- 4連はがき
- 洋形2号
- 洋形3号
- 洋形4号
- 洋長3号
- A4(B6スプレッド)
- B4(トンボなしのA5スプレッド)
- A3(トンボなしのB5スプレッド)
- 特A3(A3全面、A4スプレッド)
- SRA3(A3全面、A4スプレッド)
- カスタムサイズ

- SunRasterとXWDファイルの場合、A2L/B3L、A3x2/B4x2を指定すると、エラージョブとなります。
- スプレッドはQuark PDF専用の用紙サイズです。ServerManagerおよび、ほかのクライアントでは表示されません。

A2L/B3Lの用紙サイズを指定してプリントした場合、A3x2/B4x2の用紙サイズに比べてRIP処理に時間がかかります。

解像度

元のイメージの解像度を、dpiで指定します。

50〜1200までの値を入力できます。デフォルトは、[600]です。

- この項目は、SunRasterとXWDファイルだけ有効です。
- [用紙サイズに合わせる]がオンになっている場合、解像度指定は適用されません。

用紙の中心にプリント

用紙の中央にドキュメントをプリントします。デフォルトは、「オン」です。

この項目は、EPSとTIFFファイルだけ有効です。

用紙サイズに合わせる

指定した用紙サイズに合わせて、ドキュメントを拡大または縮小してプリントします。デフォルトは、「オフ」です。

白黒反転

ディスプレイ上でのイメージを見やすくする目的で、白黒の表示を反転させているようなとき、再び反転してプリントする場合に指定します。

デフォルトは、「オフ」です。

この項目は、SunRasterとXWDファイルだけ有効です。

イメージのタイトル

ファイル名、または入力されたテキストをイメージのタイトルとして、イメージと一緒にプリントするかどうかを指定します。

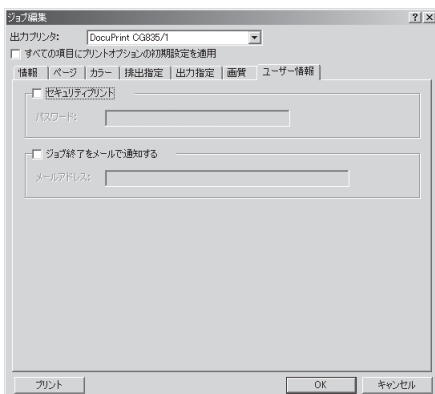
イメージのタイトルは、次の項目から選択できます。デフォルトは、[なし]です。

- なし
  タイトルなしでドキュメントをプリントします。
- ファイル名
  イメージのファイル名をタイトルとしてプリントします。
- テキスト入力
  入力エリアにプリントしたいタイトルを入力します。入力したテキストをタイトルとしてプリントします

この項目は、EPSとTIFFファイルだけ有効です。

[ユーザー情報]タブ

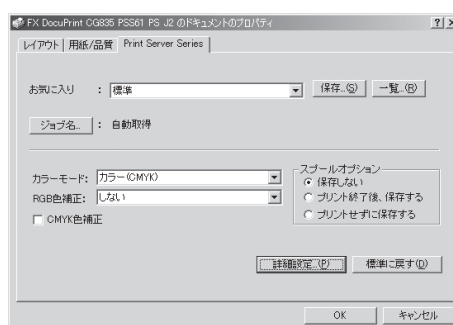
[ユーザー情報]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

プリンタードライバーの[詳細設定]ダイアログボックスやDropPrint2、WebManagerでは、[セキュリティプリント]のほかに[ユーザー名]、[アカウント]、[コメント]、[ジョブ終了をメールで通知する]、[メールアドレス]が設定できます。[ユーザー情報]タブについては「固有のプリントオプション」の[ユーザー情報タブ]（119ページ）を参照してください。

セキュリティプリント

ドキュメントにパスワードによる保護をかける場合にオンにし、パスワードを入力します。
パスワードに入力できる文字は、0～9、a～z、A～Z、記号、スペースです。また、5～31文字の範囲で指定してください。
セキュリティープリントの指定がされたドキュメントは、ServerManagerでパスワードを入力しないと操作ができなくなります。ただし、管理者でログインした場合は、操作できます。

固有のプリントオプション

[Print Server Series]タブ

[Print Server Series]タブには、プリントオプションの中でよく利用される項目が集められています。
Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、およびMacintoshのプリンタードライバーからプリントした場合に表示されます。
[Print Server Series]タブ固有の項目は、次のとおりです。

お気に入り

[標準]から値を変更すると、[< 変更> 標準]という名称に変わります。この設定をお気に入りとして保存しておくことができます。また、[一覧]を選択すると、ダイアログが表示され、保存されている設定の一覧を確認することができます。

[詳細設定]ボタン

このボタンをクリックすると、[詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。
[詳細設定]ダイアログボックスでは、プリントに関する詳細な設定ができます。

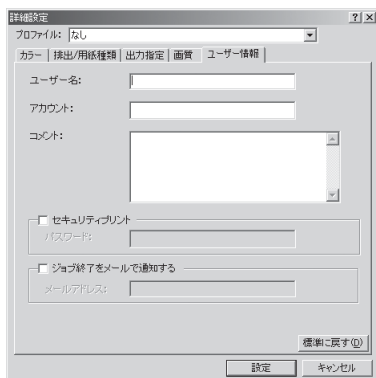
ジョブ名の指定

ジョブ名の取得方法を指定できます。
[自動取得]を選択すると、自動的に決定されます。[ジョブ名を入力する]を選択すると、指定された名前がジョブ名として使用されます。デフォルトは[自動取得]です。

ジョブ名

任意のジョブ名を0～31 文字以内で設定できます。
[ジョブ名の指定]で[ジョブ名を入力する]を選択した場合のみ有効になります。
デフォルトは空欄です。

[ユーザー情報]タブ

Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、およびＭａｃｉｎｔｏｓｈのプリンタードライバーやDropPrint2、WebManagerで表示されます。
[ユーザー情報]タブで設定できる項目について説明します。

セキュリティプリント

ドキュメントにパスワードによる保護をかける場合にオンにし、パスワードを入力します。
パスワードに入力できる文字は、0〜9、a〜z、A〜Z、記号、スペースです。また、5〜31文字の範囲で指定してください。
セキュリティープリントの指定がされたドキュメントは、ServerManagerでパスワードを入力しないと操作ができなくなります。ただし、管理者でログインした場合は、操作できます。

ユーザー名

ジョブのオーナー名を設定します。
ユーザー名には、31バイトまでの英数字を入力できます。設定したユーザー名は、WebManager、ServerManager上で、ジョブの所有者として表示されます。
また、プリント履歴に記録されるユーザー名としても利用されます。

アカウント

ジョブに関するアカウント情報を設定します。アカウントには、31バイトまでの英数字を入力できます。
アカウントは、プリント履歴に記録されます。

コメント

ジョブに関する追加情報を設定します。コメントには、任意の文字列で255バイトまでの英数字を入力できます。コメントは、プリント履歴に記録されます。

ジョブ終了をメールで通知する

オンにすると、ジョブの状態が以下の場合、[メールアドレス]の指定先にメールが送信されます。ただし、[メールアドレス]が空欄の場合には無効になります。

- 回復可能エラーが発生したとき。
  回復可能エラーから復帰したときには、メールは送信されません。また、ジョブ終了(正常終了、エラー終了)までの間に複数回、回復可能エラーが発生した場合はその都度メールが送信されます。
- 正常終了したとき。
- 回復不可能エラーでエラー終了したとき。
- ユーザー操作(停止/削除)でジョブが終了したとき。

- ジョブ終了後に保持またはエラーリストに入った時点で、この機能はオフに変更され、ジョブを再開してもメールは送信されません。ただし、ジョブ編集でこの機能をオンに変更して再開した場合は、メールが送信されます。
- この機能はPageMaker 用PPD、Windows NT 用PPD では使用できません。
- サーバー側でメールサーバー設定(SMTP サーバーアドレスなど)が行われていない場合は、ジョブが終了してもメールは送信されません。
- ServerManagerでジョブを選択して[ジョブ編集]を選択すると、メールが送信されたか確認できます。
- ジョブをServerManager からジョブ保存した場合には、オフに変更して保存されます。また、[メールアドレス]は空欄になります。

メールアドレス

[ジョブ終了をメールで通知する]がオンの場合の送信先メールアドレスを指定します。デフォルトは空欄です。
メールアドレスは128 バイトまで入力できます。128 バイト以内であれば、複数のアドレスを指定することもできます。
複数のアドレスを指定する場合は、アドレスとアドレスとの区切りとしてスペース、またはセミコロン「;」を使用します。

困ったときは

この章では、困ったときのトラブル対処について説明します。

TROUBLESHOOTING

The printer helps eliminate errors before the file is sent to the print process through its warning system, highlighting overprint areas, alerting the user if the image data is in RGB, rather than CMYK, which is necessary for printing, and indicating where lines are too thin to show up in printing.

エラーウィンドウが表示されたら

プリンターを使用中に異常が発生すると、サーバーの画面上に次のようなエラーウィンドウが表示されます。
この場合は、表示されたウィンドウ内のメッセージに従って、対処してください。

また、次のような症状の場合は、『取扱説明書（プリンター編）』の該当箇所も参照のうえ、対処してください。

メッセージの概要	『取扱説明書（プリンター編）』の参照先
紙づまり	「第5章 用紙が詰まったときには」
消耗品（トナーカートリッジや、	「6.1 トナーカートリッジの交換」
ドラムカートリッジ、トナー回収カート	「6.2 ドラムカートリッジの交換」
リッジ）のセット、および交換	「6.3 トナー回収カートリッジの交換」
正しい用紙のセット、および用紙の補給	「第3章 使用できる用紙とセットの仕方」

対処方法に従って対処しても、問題が解決しない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

ウィンドウを閉じてしまった場合は、マシン状態ウィンドウの［状態の詳細］ボタンをクリックしてください。再度、ウィンドウを表示できます。マシン状態ウィンドウについては、「ServerManagerのウィンドウ」（44ページ）を参照してください。

エラージョブメッセージ一覧

エラーになったジョブに表示される、エラーメッセージについて説明します。
以下のメッセージは、ServerManagerとStatusMonitor3のエラーリスト中の「ステータス」や、[ジョブ編集]ダイアログボックスを表示したときに、[情報]タブの[ステータス]に表示されます。

RIPエラー

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応	レベル
1〜6	RIPエラー	CPSIの内部でエラーが発生しました	通常の使用では発生しません。サーバーを再起動してください。	E
7	CPSI初期化エラー	CPSIの内部でエラーが発生しました。必要なファイルが見つかりません	通常の使用では発生しません。	E
8〜9	RIPエラー	CPSIの内部でエラーが発生しました	通常の使用では発生しません。サーバーを再起動してください。	E
10	RIPエラー	RIPエラー	通常の使用では発生しません。サーバーを再起動してください。	E
11	VMエラー	CPSIのメモリが不足しています	サーバーを再起動してください。このエラーが何度も発生する場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	E
12	ディスク容量不足	ディスクの容量が不足しています	不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。	E
13〜14	RIPエラー	CPSIの内部でエラーが発生しました	通常の使用では発生しません。サーバーを再起動してください。	E
91	PDF印刷エラー	このPDFファイルは印刷を許可されていません	セキュリティーが設定されているPDFファイルはプリントできません。	E
92〜94	PDF変換エラー	PDFファイルを変換するときにエラーが発生しました	Acrobat Readerなどからプリントしてください。	E
100	ジョブ入力エラー	ジョブ読み込みに失敗しました	再度、ジョブをサーバーに送信してください。たびたび起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。	E
101	ファイル出力エラー	ディスクへの書き込みに失敗しました	RIP直前データの保存に失敗しました。(通常の運用では使用されていません) 不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。空きがあるのに起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。	E
102	プリントオプションエラー	分版合成はカラーモード「グレースケール」ではできません	[グレースケール]と[色分版の合成]を同時に指定してプリントしたために発生しました。[色分版の合成]は、カラーモードのときだけ利用可能な機能です。[カラー]でプリントしてください。	W
103	プリントオプションエラー	このプリントオプションでは両面印刷できません	プリントオプションを確認して再プリントしてください。	W
104	プリンター電源オフ	プリンタの電源が入っていません	プリンターの電源を入れてから、エラーリストに入った該当するジョブを再開してください。	W
105	プリントオプションエラー	このプリンタは両面印刷できません	片面でプリントしてください。両面印刷を行うには、両面印刷モジュール(オプション)をプリンターに装着する必要があります。	W

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応	レベル
106	ラスター画像変換エラー	画像変換に失敗しました	SunRaster・XWD・TIFF画像の変換に失敗しました。	E
107	PostScriptエラー	PostScriptエラーです	ドキュメントを確認してください。	E
108	用紙トレイなし	指定された用紙(用紙サイズ、用紙の種類)に必要なトレイがありません	使用したい用紙をプリンターにセットしてから、エラーリストに入った該当ジョブを再開してください。	W
110	プリフライト出力エラー	プリフライトレポートの保存に失敗しました	ディスクの空き容量が不足しているため、プリフライトレポートをディスクに書き込めません。 不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。空きがあるのに起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。	E
111	TIFFファイル出力エラー	TIFFファイルの保存に失敗しました	ディスクの空き容量が不足しているため、TIFFファイルをディスクに書き込めません。 不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。空きがあるのに起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。	E
112	ディスク容量不足	ディスクが一杯です	不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。	E
114	RIP済みデータ入力エラー	RIP済みデータの読み込みに失敗しました	RIP処理済みデータを削除して、再プリントしてください。	W
115	RIP済みデータ出力エラー	RIP済みデータの書き込みに失敗しました	ディスクの空き容量が不足しているため、RIP処理済みデータをディスクに書き込めません。 不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。空きがあるのに起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。	W
116	出力部数エラー	コピー部数が999を超えています	部数を999部以下に設定して、再プリントしてください。	W
117	ユーザ調整ファイルエラー	ユーザー調整用のファイルが見つかりません	ユーザー調整カーブの割り付け状態を確認してから、再プリントしてください。	W
118	キャリブレーションファイルエラー	キャリブレーション用のファイルが見つかりません	キャリブレーションの割り付け状態を確認してから、再プリントしてください。	W
120	分版合成エラー	色版の数が合わないため分版合成に失敗しました	[色分版の合成]のところで[QuarkXPress3-Style]などを指定してプリントしたときに色版の数が合っていません。 [自動]を指定して、プリントしてください。	W
121	ディスク容量不足	ジョブデータがディスクに保存されていないため処理できません	ジョブが空きディスク容量不足でディスクに保存できなかった場合、再プリントや[ソートする(一部ごと)]などで発生します。不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再度、ジョブをサーバーに送信してください。	E

レベル・・・　E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応	レベル
122	両面印刷サイズエラー	おもて面とうら面の用紙サイズが異なるため両面印刷できません	改ページの場所を調整するか、片面でプリントしてください。	W
123	プリントオプションエラー	用紙サイズ・プリンタモード・画質モードがフォームと異なります	フォーム、またはその上に重ねるジョブのどちらかのジョブを修正して、再度、差込印刷をしてください。	W
124	TIFFファイル名エラー	TIFFファイル名が重複するため処理できません	TIFFフォルダーから不要なファイルを削除して、再開してください。	E
125	プリントオプションエラー	RIP済みデータの用紙サイズが不適当なため小冊子作成できません	用紙サイズを確認し、RIP処理済みデータを削除して再度小冊子作成をしてください。	W
126	プリントオプションエラー	指定された用紙種類では両面印刷できません	両面印刷ができる用紙を使用してください。	W
132	プリントオプションエラー	RGB画像警告はカラーモード「グレースケール」ではできません	RGB画像警告を使用する場合は、カラーモードで[カラー]を選択してください。	W
133	メモリー不足エラー	メモリの確保に失敗しました	メモリー容量が不足しています。再プリントしてください。	E
134	プリントオプションエラー	分版合成しながら差込印刷することはできません。	プリントオプションを設定し直してください。	W
139	用紙トレイなし	指定された用紙サイズ(RIP済みデータの用紙サイズ)、用紙種類)に必要なトレイがありません	RIP処理済みデータの用紙サイズをトレイにセットするか、RIP処理済みデータを削除して、再度RIP処理し直してください。	W
140	サイズエラー	用紙サイズが自動の場合、手差しトレイは指定できません	EPS/TIFF/SunRaster/XWDはプリントオプションの[グラフィックス]タブで、[用紙サイズ]を[自動]に設定している場合、手差しトレイは指定できません。 ほかのトレイを指定してください。	W
141	サイズエラー	節電中にトレイの用紙サイズが変更されたため印刷できませんでした	用紙サイズを確認してください。	N
142	サイズエラー	SunRaster/XWDはA3x2/B4x2/A2L/B3Lに印刷できません	用紙サイズを確認してください。	W
143	RGB色補正プロファイルエラー	RGB色補正プロファイルが見つかりません	プロファイルを確認してください。	W
144	RGB出力プロファイルエラー	RGB出力プロファイルが見つかりません	プロファイルを確認してください。	W
145	フォーム登録エラー	指定した番号は使われていたため、フォームとして登録することができませんでした	未登録の番号を使用してください。	W
146	差込印刷エラー	差込印刷に使用するフォームが登録されていません	使用するフォームを登録してください。	W
147	差込印刷エラー	分版出力のジョブはフォームとして登録できません	プリントオプションを変更してください。	W
148	プリントオプションエラー	分版出力のジョブは差込印刷できません	プリントオプションを変更してください。	W
149	差込印刷エラー	フォームのRIP済みデータがないため差込印刷できません	RIP処理済みデータを作成してください。	W
150	RIP済みデータ入力エラー	フォームのRIP済みデータの読み込みに失敗しました	再度RIP処理済みデータを読み込んでください。	W
151	プリントオプションエラー	差込印刷できない用紙サイズです	用紙サイズを確認してください。	W

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応	レベル
152	RIPエラー	CMYK色補正に問題(nnn)があります。	nnnに表示される番号を書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	E
153	RIPエラー	トナー制限に問題(nnn)があります	nnnに表示される番号を書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	E
154	RIPエラー	RGB画像警告に問題(nnn)があります	nnnに表示される番号を書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	E
155	RIPエラー	ユーザー調整・TRC・キャリブレーションに問題(nnn)があります	nnnに表示される番号を書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	E
156	プリントオプションエラー	手差しトレイからはA5ブックレットを出力できません	ほかのトレイを指定してください。	W
157	プリントオプションエラー	範囲指定したページがありません	ページ範囲の指定を確認してください。	W
158	差込印刷エラー	指定されたフォームには既にセキュリティ指定のジョブが登録されています	未登録の番号を使用してください。	W
159	プリントオプションエラー	RIP済みデータの用紙サイズが不適当なため2アップできません	用紙サイズを確認し、RIP処理済みデータを削除して再度2アッププリントをしてください。	W
160	プリントオプションエラー	RIP済みデータの用紙サイズが不適当なためダブルプリントできません	用紙サイズを確認し、RIP処理済みデータを削除して再度ダブルプリントをしてください。	W
161	プリントオプションエラー	2色印刷シミュレーションで使用する色版が指定されていません	使用する色版を指定してください。	W
162	差込印刷エラー	指定されたフォームにはセキュリティが指定されています	フォームのセキュリティー指定を解除するか、下地ジョブにも、フォームと同様のセキュリティーの指定をしてください。	W
163	差込印刷エラー	フォームとデータのパスワードが違います	フォームと下地ジョブには、同じパスワードを指定してください。	W
164	用紙トレイなし	指定された用紙トレイがありません	オプションのトレイモジュール(2段)/(1段)が装着されていない場合は、トレイ2、3を指定できません。 ほかのトレイを指定してください。	W
165	両面印刷エラー	特A3トレイから両面印刷をおこなうことはできません	ほかのトレイを指定してください。	W
166	プリントオプションエラー	用紙サイズ/イメージサイズが不適当なため小冊子作成できません	用紙サイズ/イメージサイズを確認してください。	W
167	プリントオプションエラー	用紙サイズ/イメージサイズが不適当なため2アップできません	用紙サイズ/イメージサイズを確認してください。	W
168	プリントオプションエラー	用紙サイズ/イメージサイズが不適当なためダブルプリントできません	用紙サイズ/イメージサイズを確認してください。	W
169	小冊子作成エラー	指定されたトレイ/用紙種類では小冊子作成ができません	用紙トレイを変更するか用紙種類を変更してください。	W
170	小冊子作成エラー	指定された用紙種類では小冊子作成ができません	用紙種類を変更してください。	W
199	RIPエラー	RIPエラー	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	E

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

コントローラーボードエラー

コントローラーボードエラーが発生すると、エラーリストには「コントローラボードエラー」と表示され、[情報]タブの[ステータス]では、「コントローラボードでエラーが発生しました」と表示されます。
エラーコードには、次のものがあります。

番号	説明	対応	レベル
1001～1013	基本的にこのエラーコードでジョブがエラーになることはありません。	サーバーを再起動してください。	E
1031	メモリー容量が不足しています。	ServerManager以外のソフトウエアを実行しない状態で、再実行してください。または、拡張メモリーを追加してください。	W
1041	DMA転送エラーです。	サーバーを再起動してください。	E

レベル・・・　E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

プリンターエラー

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応	レベル
1	プリンターエラー	プリンタが故障しています	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
2	プリンターエラー	他機種の両面ユニットが装着されています	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
99	プリンターエラー	プリンタが故障しています	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
101	トレイ1故障	トレイ1が故障しています	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
102	トレイ2故障	トレイ2が故障しています	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
103	トレイ3故障	トレイ3が故障しています	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
104	手差しトレイ故障	手差しトレイが故障しています	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
199	プリンターエラー	プリンタが故障しています	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
201	カバーオープン	カバーを閉じてください	カバーを閉じてください。	N
210	トレイなし	トレイがありません	指定した用紙サイズのトレイをセットしてください。	W
212	トレイ用紙サイズエラー	トレイの用紙サイズを確認してください	正しい用紙をセットしてください。	W
213	手差し用紙サイズエラー	手差しトレイの用紙サイズを確認してください	正しい用紙をセットしてください。	W
214	手差し用紙種類エラー	手差しトレイの用紙種類を確認してください	正しい用紙をセットしてください。	W
215	プリンターエラー	トレイにOHPをセットすることはできません	OHPフィルムは手差しトレイにセットしてください。	W
216	手差し用紙サイズエラー	手差しトレイに用紙サイズが正しくない紙がセットされています	正しい用紙をセットしてください。	N

レベル・・・　E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応	レベル
217	プリンターエラー	枠つきOHPフィルムは使用できません	適切なOHPフィルムを使用してください。	N
218	用紙サイズエラー	トレイの用紙サイズが設定されていません	特A3トレイにセットされている用紙サイズを指定してください。	N
219	用紙トレイエラー	トレイが正しくセットされていません	トレイを正しくセットしてください。	N
232	紙づまり	紙づまりです	詰まった用紙を取り除いてください。	N
251	イエロートナーなし	イエロートナーがありません	イエローのトナーカートリッジを交換してください。	N
252	マゼンタトナーなし	マゼンタトナーがありません	マゼンタのトナーカートリッジを交換してください。	N
253	シアントナーなし	シアントナーがありません	シアンのトナーカートリッジを交換してください。	N
254	ブラックトナーなし	ブラックトナーがありません	ブラックのトナーカートリッジを交換してください。	N
263	ドラムカートリッジ交換	ドラムカートリッジを交換してください	ドラムートリッジを交換してください。	N
266	トナー回収ボトルなし	トナー回収ボトルを確認してください	トナー回収カートリッジを正しくセットしてください。	N
267	トナー回収ボトルフル。	トナー回収ボトルを交換してください	トナー回収カートリッジを交換してください。	N
281	トレイ1用紙なし	トレイ1に用紙がありません	用紙を補給してください。	N
282	トレイ2用紙なし	トレイ2に用紙がありません	用紙を補給してください。	N
283	トレイ3用紙なし	トレイ3に用紙がありません	用紙を補給してください。	N
285	手差しトレイ用紙なし	手差しトレイに用紙がありません	用紙を補給してください。	N
399	プリンターエラー	プリンタでエラーが発生しました。プリンタを確認してください	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N
401	プリンターエラー	プリンタとの通信エラーが発生しました	サーバーを再起動してください。	N
499	プリンターエラー	コントローラ側でエラーが発生しました	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。	N

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

データベースエラー

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応	レベル
26	エラー終了	ジョブの処理が正常に行われていません	おもに、サーバー起動時にデータベースファイルのジョブ情報に不整合が見つかりました。 必要な作業はありません。自動的に不整合を修復し、該当するジョブがエラージョブに移動されます。	E

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

受信時エラー

番号	エラーリストの ステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応	レベル
1	ディスク容量不足	ディスクがいっぱいです	不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてください。	E
2	スプールファイル出力エラー	ファイルの書き込みに失敗しました	サーバーを再起動してください。	E
3	スプールファイル作成エラー	ファイルの作成に失敗しました	サーバーを再起動してください。	E
4、5	ジョブ受信エラー	受信時にエラーが発生しました	再度、ジョブをサーバーに送信してください。	E
6		指定されたデバイスとは違うものが接続されています	接続を確認してください。	E

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

メール送信時エラー

番号	内容	対応
100	指定した宛先、グループがアドレス帳に登録されていませんでした。	送信先の設定を確認してください。
110	SMTPサーバーのIPアドレスを参照できまませんでした。	PDF配信の環境設定で、SMTPサーバー名を確認してください。
111	SMTPサーバーに接続できませんでした。	ネットワーク管理者にご確認ください。
112	SMTPサーバーとの接続が中断しました。	ネットワークの状態を確認してください。
113	送信者がSMTPサーバーに拒否されました。	ネットワーク管理者にご確認ください。
114	宛先がSMTPサーバーに拒否されました。	送信先の設定を確認してください。
115	SMTPサーバーエラー。	ネットワーク管理者にご確認ください。
120	送信処理のためのディスク容量が不足しています。	エラーメールや不要なファイルの削除、ServerManagerの不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてください。
121	送信処理中にディスクエラーが発生しました。	ディスク障害の可能性があります。お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

メール受信時エラー

番号	内容	対応
200	受信したメールに、印刷可能なファイルが添付されていませんでした。	送信元にご確認ください。受信したメールには印刷可能なファイルが添付されていません。
201	受信ドメインの制限によって、メールの受信が中止されました。	PDF配信の環境設定で、受信ドメインの設定を確認してください。
202	メールサーバーからエラー通知メールを受信しました。	PDF配信でエラーメールを確認してください。
203	分割送信されたメールの一部を受信しましたが、一定時間内に全部を受信できませんでした。	送信元にメールを再送するように依頼してください。
210	POP3サーバーのIPアドレスを参照できませんでした。	PDF配信の環境設定で、POP3サーバー名を確認してください。
211	POP3サーバーに接続できませんでした。	ネットワーク管理者にご確認ください。
212	POP3サーバーとの接続が中断しました。	ネットワークの状態を確認してください。
213	POP3サーバーに認証されませんでした。	ネットワーク管理者にご確認ください。
214	POP3サーバー上のメールボックスが開けませんでした。	ネットワーク管理者にご確認ください。
215	POP3サーバーエラー。	ネットワーク管理者にご確認ください。
220	受信処理のためのディスク容量が不足しています。	エラーメールや不要なファイルの削除、ServerManagerの不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてください。
221	受信処理中にディスクエラーが発生しました。	ディスク障害の可能性があります。お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

Q&A

ここでは、皆様からよくあるお問い合わせと、それに対する回答を紹介します。

色調整機能について

コンポジット特色補正機能が対応している、PANTONEカラーとDICカラーは？

PANTONEカラーは、PANTONE Coated(CVC)です。
PANTONE Uncoated(CVU)を指定した場合は、PANTONE Coatedと同じ補正をします。PANTONE Press(CVS)を指定した場合は、PostScriptエラーが発生しプリントできません。
なお、DICと東洋インキもCoatedに対応しています。
DICカラーは、DICカラーガイドのパート1(DIC 1p〜654p)とパート2(DIC 2001p〜2638p)です。
東洋インキカラーは、TOYO COLOR FINDER 1050です。
→「[カラー]タブ」(99ページ)

画面上のRGBの文字やグラフィックスの色味が、異なる色でプリントされます。また、RGB画像の色味が、ぼやけてプリントされます。

プリントオプションの[カラー]タブで[RGB色補正]を[する]に設定して、プリントし直してみてください。
[RGB色補正]は、デフォルトでは[しない]になっています。
→「[カラー]タブ」(99ページ)

ユーザー調整カーブでK100%未満に設定したのに、反映されません。

[Image Enhancement]をオフにしてプリントしてください。
→「[カラー]タブ」(99ページ)

ServerManagerの設定について

白黒自動判別機能は、ありますか？

あります。
白黒ページが含まれているときに、自動的にグレースケールモードでプリントします。この機能によって、プリント速度も向上します。[画質]タブの[グレースケールモードの自動検出]で指定します。デフォルトは、オンです。→「[画質]タブ」(109ページ)

ServerManagerを管理者モードで、起動したいのですが。

ServerManagerの[ファイル]メニュー→[特別]→[ログインモードの設定]で表示される[ログインモードの設定]ダイアログボックスで、ServerManagerの起動時に自動的に管理者または一般ユーザーでログインするように設定できます。

EPSファイルをプリントしたら、ジョブが消えてしまいました。

ServerManagerの[ツール]メニュー→[サーバーの環境設定]→[プリントジョブの設定]に表示される[EPSをPostScriptとして扱う]がオンになっていませんか。showpageコマンドが付いていないEPSファイルをプリントした場合に、この機能がオンになっていると、showpageコマンド自動付加が抑制されて印刷データが消えてしまうことがあります。

その他

厚紙のSRA3用紙に、自動両面プリントはできますか？

官製はがきや専用光沢紙、または特A3用紙やSRA3用紙に両面プリントするときは、手差しトレイから片面ずつプリントしてください。→『取扱説明書（プリンター編）』

両面調節微調整をしても、調整用シートの印字位置が変わりません。

調整用シートは、印刷のずれを確認するためのシートなので、両面印刷微調整を実行する前の状態でプリントされます。

なお、確認用シートは、調整結果を反映したものがプリントされます。→『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）の「2.1 両面印刷のずれを微調整する」

WebManagerからアップロード印刷をしたら、エラーになってしまいました。

WebManagerを使用してプリントするときは、プロキシサーバーを経由せず、直接サーバーに接続してプリントしてください。

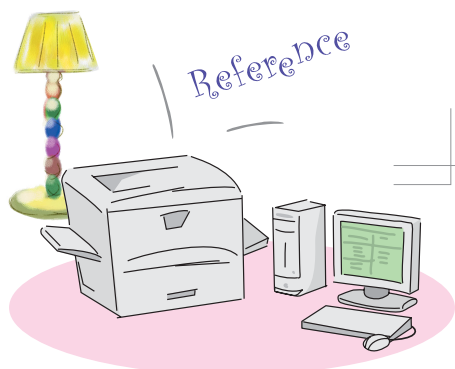
QuarkXPress3.3で、PDFファイルを適用する仕方を教えてください。

まず、QuarkXPressがインストールされているディレクトリ内にある「PDF」フォルダーに、Print Server Series用のPDFファイルを格納します。次に、[用紙設定]メニュー→[QuarkXPress]→[プリンタの種類]を選択し、「FX DocuPrint CG835 PSS-61 PDF」を選択してください

なお、QuarkXPress4は、PDFに対応していません。

●QuarkXPress3.3でQuark用PDFファイルを使用し、定型サイズにプリントする場合は、カスタムサイズ用に修正したPPDを使用しないでください。カスタムサイズ用紙にプリントする場合だけ、カスタムサイズ用に修正したPPDを使用してください。

●QuarkXPress3.3でQuark用PDFファイルを使用している場合、一度もRIP処理していない印刷データは、ServerManagerの[ジョブ編集]ダイアログボックスでは、指定された用紙サイズが表示されません。一度RIP処理されると、指定された用紙サイズが表示されます。

付　録

主な仕様

製品の仕様

DocuPrint CG835 IIのサーバー部分の仕様について説明します。
製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

サーバー本体

●プロセッサー	Celeron D 340J(2.93GHz)
●メモリー(PC)	1024MB
●Ethernet	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
●HDD	60GB、オプションHDD 1台増設可能
●FDD	3.5インチ(1.44MB/720KB)
●CD-ROM	48倍速
●ビデオ出力	15pinミニD-sub(アナログRGB出力)
●キーボード	日本語109キーボード
●マウス	PS/2マウス
●Print Server Seriesボード	DocuPrint CG835 IIインターフェイス用PCIボード (フレームメモリー:512MB(256MB×2枚)、最大1,024MBまで拡張可能)
●インターフェイスケーブル	DocuPrint CG835 II専用ケーブル(2.8m)

ディスプレイ

38cm(15型)TFTカラー液晶ディスプレイ
最大解像度:1,024×768 dot

環境要件

定格電源/最大消費電力

●サーバー	100V、2.5A/200W
●ディスプレイ	100V、0.5A/23W

大きさ/質量

●サーバー	幅136×奥行き385×高さ355mm/約10kg
●ディスプレイ	幅345×奥行き165×高さ353mm/3.3kg
●キーボード	幅452×奥行き172×高さ55mm/1.0kg (質量には、マウスの重さを含みます)

動作

●温度	10～35℃
●湿度	15～80%(結露がないこと)

オプション製品について

DocuPrint CG835 IIのオプション製品について説明します。

オプション製品の種類

DocuPrint CG835 IIでは、次のようなオプション品を用意しています。
商品のご注文は、本製品をお買い求めの販売店にご連絡ください。

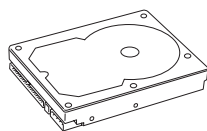
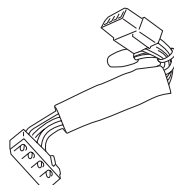
商品名	内容
増設ハードディスク	サーバーに取り付けて使用できます。サーバーに、より多くのデータを保存できます。 取り付け方は、「ハードディスクの取り付け」(135ページ)を参照してください。
512MB追加メモリータイプ2	PCIボードに取り付けて使用できます。 複雑なイメージを含む文書や、データ量の多い原稿をより高速に処理できます。 取り付け方は、「拡張メモリーの取り付け」(141ページ)を参照してください。
Eye-One(測色器)	カラーキャリブレーションおよびプロファイルの作成に使用します。サーバーとは、USBケーブルで接続します。使用方法は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「付録 D.2 測色器の使い方」を参照してください。
インターフェイスケーブル(6m)	プリンターとサーバーを接続するケーブルです。付属の2.8mのケーブルに代えて、使用できます。

ハードディスクの取り付け

オプションのHDDの取り付け手順を説明します。

操作の前に

次のものがそろっていることを確認してください。

●HDD

●電源中継ハーネス

●オプション品に付属のネジ　4本
●サーバー付属の工具（プラスドライバー）

HDDの取り付け

操作手順

1. サーバーが起動している場合、電源を切ります。
サーバー本体に電源コードやインターフェイスケーブルが接続されている場合は、取り外します。

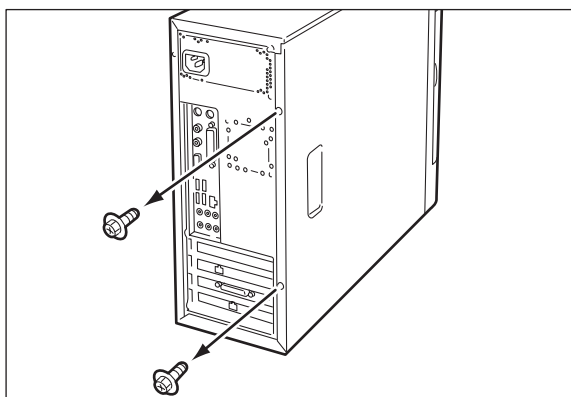
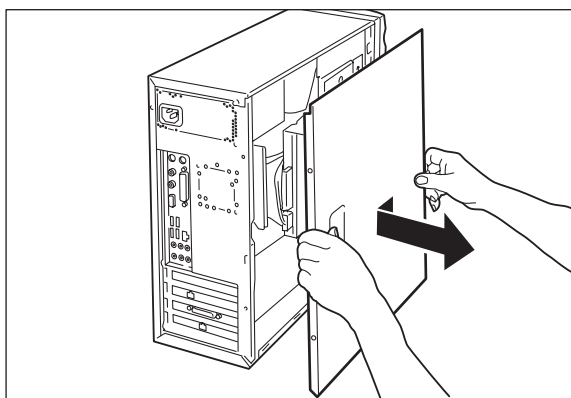
付録

2

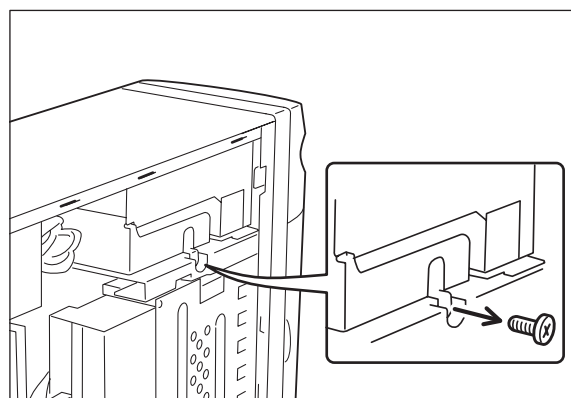
サーバー背面にある、左側面カバーを固定しているネジ(2本)を外します。

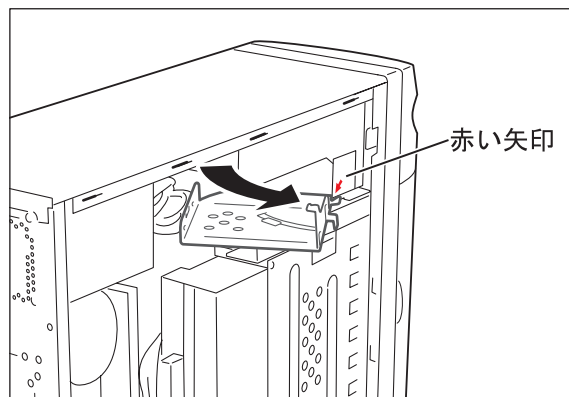
3

左側面カバーを、背面側にずらしてから、手前に引いて取り外します。

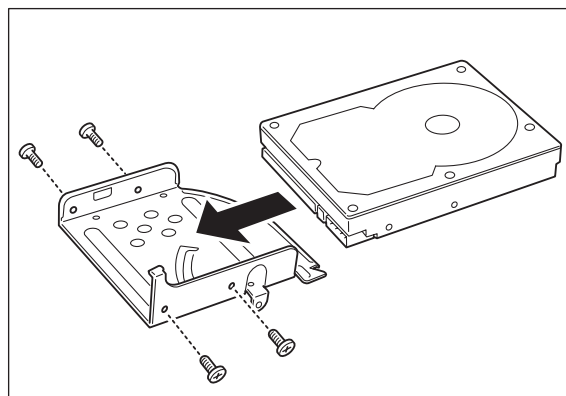
4

サーバー内部の金属部分に手を触れて、静電気を逃がします。

5

図の位置のネジを取り外します。

6

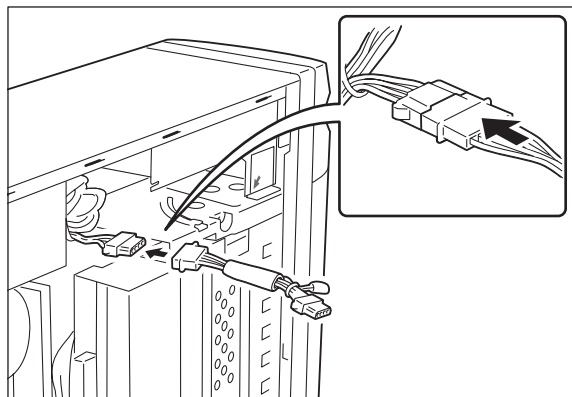
HDD用ブラケットを、赤い矢印を起点に手前側に回転させるようにして取り外します。

7

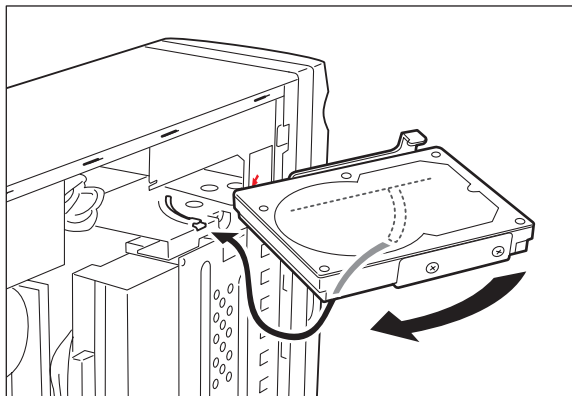
ブラケットにHDDを差し込み、HDDに同梱されていたネジ(4本)で固定します。

注記

HDDは非常にデリケートな機器です。衝撃を与えると故障するおそれがあります。HDDとブラケットをネジで固定するときは、机などの平らな場所の上に置いて、作業してください。

付録

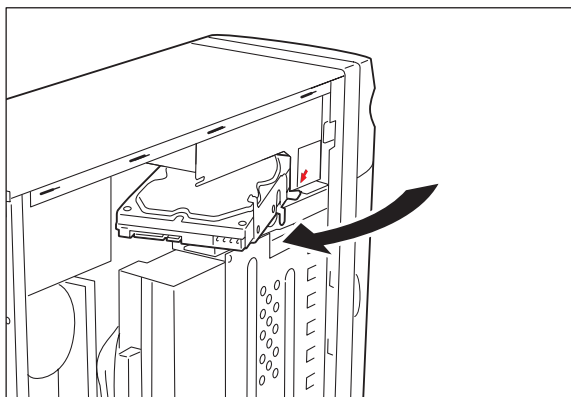
8

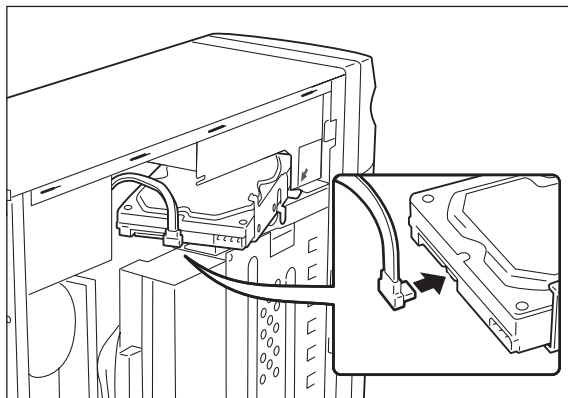
電源中継ハーネスの片方のコネクターを、サーバー内部の電源ケーブルに、しっかりと接続します。

9

HDDをサーバーに取り付けます。ブラケットの突起部を、サーバーの赤い矢印に合わせます。

補足

作業がしにくい場合は、サーバーを横置きにしてください。

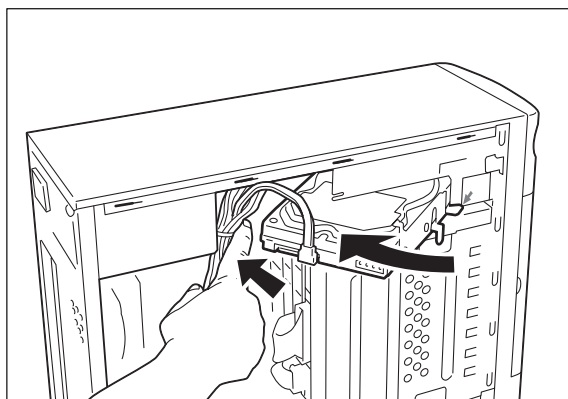
10

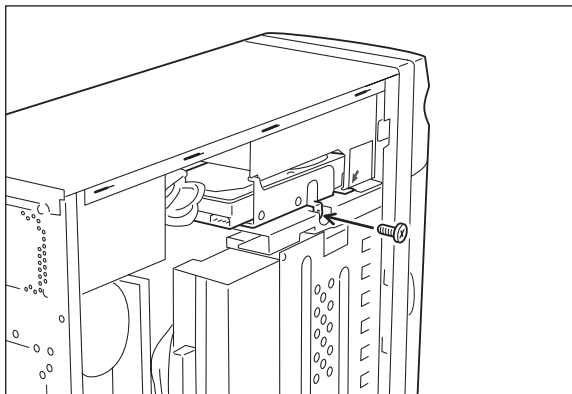
赤い矢印を起点にして、ブラケットの円弧状の溝が本体の溝にはまっていることを確認しながら、HDDを回転させせます。

11

サーバー内部のSATAケーブルを、HDDのSATAコネクターに、しっかりと接続します。

コネクターの向きを確認して、正しい向きで接続してください。

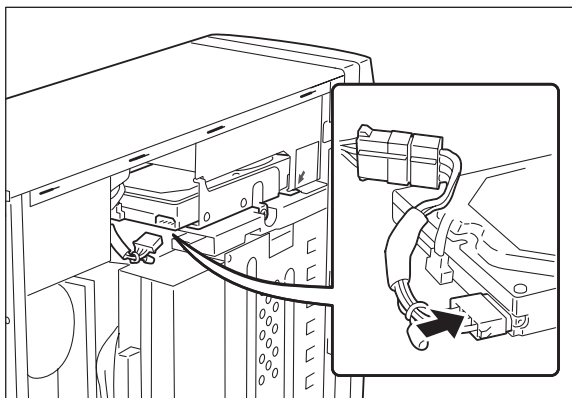
12

HDDを回転させ、本体に取り付けます。このとき、HDDが電源中継ハーネスに引っかからないように、反対の手でハーネス部を広げるようにしてください。

付録

13

手順5で取り外したネジで固定します。

手順11で接続したコネクターが、しっかりと差し込まれているかどうかを、もう一度確認してください。

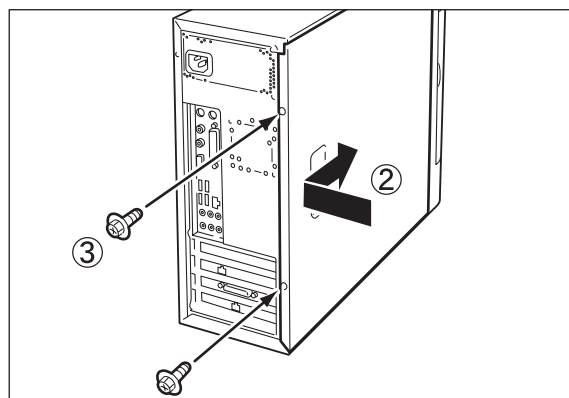
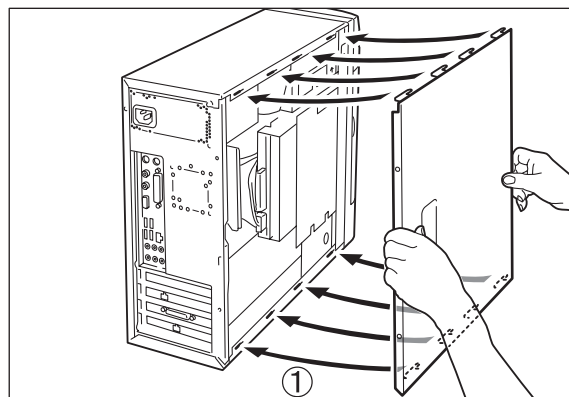
14

電源中継ハーネスの片方のコネクターを、HDDのコネクターに、しっかりと接続します。

必ず、付属の電源中継ハーネスを使用してください。電源中継ハーネスを使用しないと、サーバーが起動しないことがあります。

これで、HDDの取り付けは完了です。

続けてほかのオプション品を取り付ける場合は、以降の手順を行わないで、オプション品を取り付けます。各オプション品の取り付け手順5に進んでください。

15

左側面カバーの上下の突起部を本体の穴に差し込んだら(①)、左側面カバーをサーバー前面側にずらし、しっかりとはめ込みます。(②)。手順2で取り外したネジで、左側面カバーを固定します(③)。

16

電源コード、および手順1で取り外したケーブルを接続します。

サーバーでの設定

HDDの取り付けが完了したら、追加したディスクをフォーマットし、ドライブに割り当てます。

操作手順

1

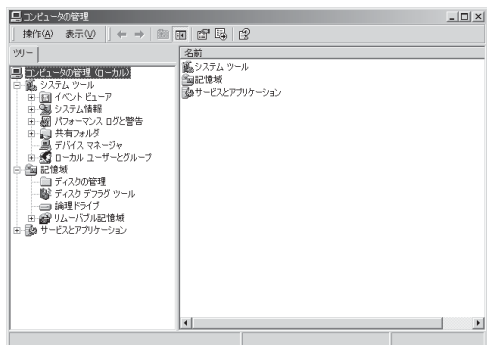
サーバーの電源を入れます。

2

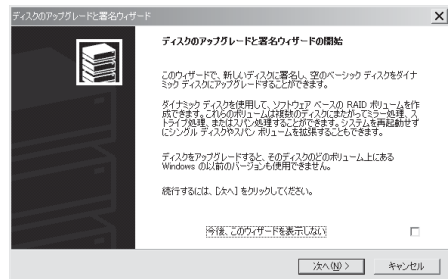
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。

3

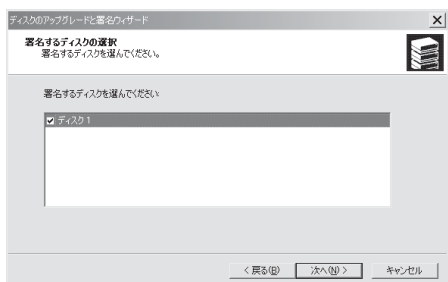
[管理ツール]をダブルクリックし、[コンピュータの管理]をダブルクリックします。

[コンピュータの管理]ウィンドウが表示されます。

4

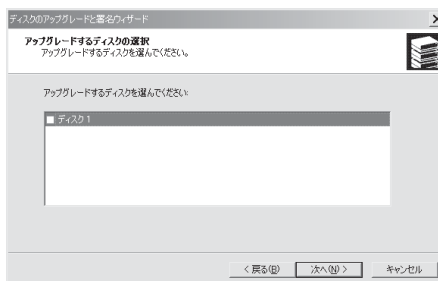
左側のツリーから[記憶域]の下の[ディスクの管理]を選択します。

[ディスクのアップグレードと署名ウィザード]が表示されます。

5

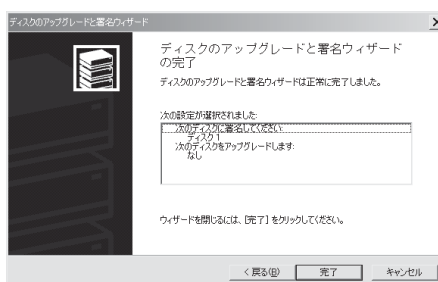
内容を確認し、[次へ]をクリックします。

[署名するディスクの選択]ダイアログボックスが表示されます。

6

[ディスク1]がオンになっていることを確認し、[次へ]をクリックします。

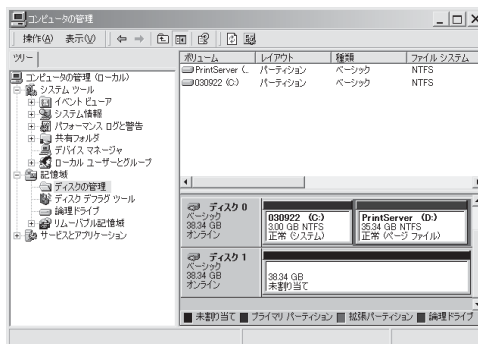
[アップグレードするディスクの選択]ダイアログボックスが表示されます。

7

[ディスク1]をオフにして、[次へ]をクリックします。

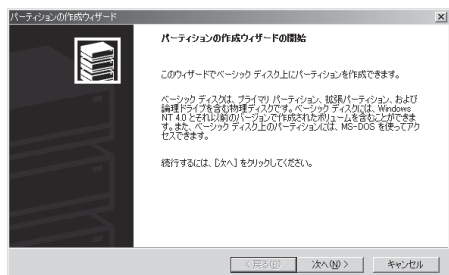
[ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了]ダイアログボックスが表示されます。

8

[完了]をクリックします。

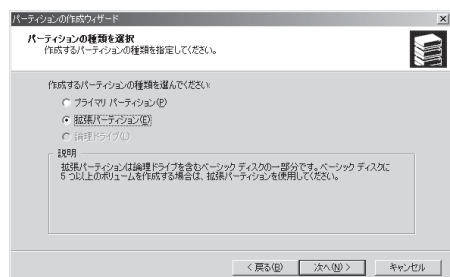
[コンピュータの管理]ウィンドウが表示されます。

付録

9

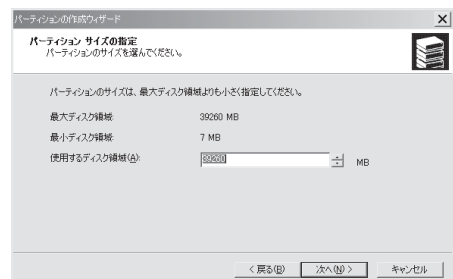
HDDの取り付けによって追加された[ディスク1]で右クリックし、表示されたメニューから[パーティションの作成]を選択します。

[パーティションの作成ウィザード]が表示されます。

10

[次へ]をクリックします。

[パーティションの種類を選択]ダイアログボックスが表示されます。

11

[拡張パーティション]を選択し、[次へ]をクリックします。

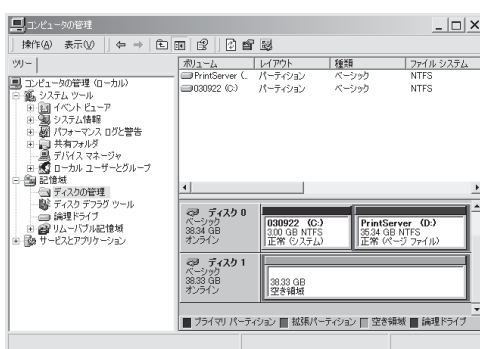
[パーティションサイズの指定]ダイアログボックスが表示されます。

12

[使用するディスク領域]に最大ディスク領域のサイズを指定し、[次へ]をクリックします。

パーティションが作成され、完了すると、[パーティションの作成ウィザードの完了]ダイアログボックスが表示されます。

13

[完了]をクリックします。

[コンピュータの管理]ウィンドウが表示されます。

続けて、ドライブを割り当てます。

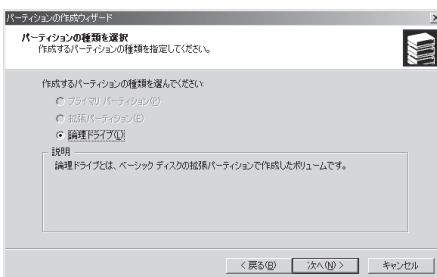
14

[ディスク1]で右クリックし、表示されたメニューから[論理ドライブの作成]を選択します。

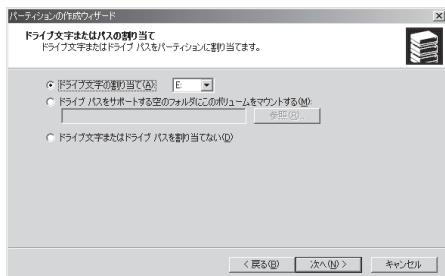
[パーティションの作成ウィザード]が表示されます。

15

[次へ]をクリックします。

[パーティションの種類を選択]ダイアログボックスが表示されます。

16

[論理ドライブ]を選択し、[次へ]をクリックします。

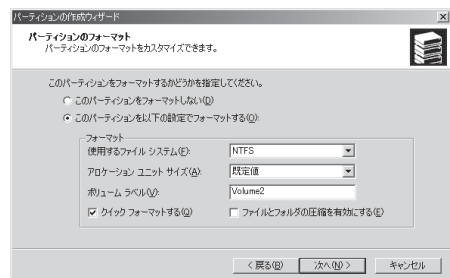
[ドライブ文字またはパスの割り当て]ダイアログボックスが表示されます。

17

[ドライブ文字の割り当て]がオンで、[E:]になっていることを確認して、[次へ]をクリックします。

[パーティションのフォーマット]ダイアログボックスが表示されます。

18

各項目を次のように設定します。

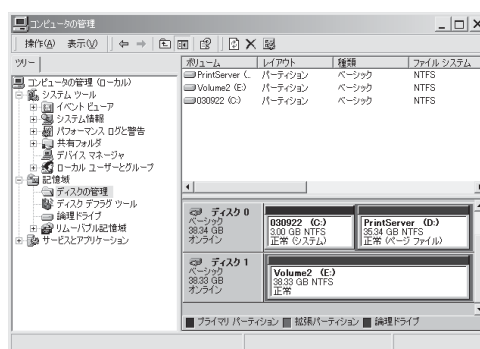
ボリューム名は、任意に付けてください。

19

[次へ]をクリックします。

パーティションが作成され、完了すると、[パーティションの作成ウィザードの完了]ダイアログボックスが表示されます。

20

[完了]をクリックします。

[コンピュータの管理]ウィンドウが表示されます。ディスク1が正しく設定されていることを確認して、ウィンドウを閉じます。

これで、追加したハードディスクを使用するための準備は完了です。

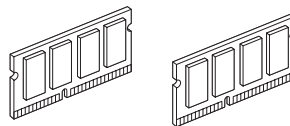
このハードディスクをFTPフォルやスプールフォルダーとして使用する場合は、[FX_ServerManager]ウィンドウの[ファイル]→[特別]→[作業用フォルダ設定]を選択し、設定を変更してください。FTPフォルダーを変更した場合は、[コントロールパネル]→[管理ツール]→[インターネットサービスマネージャ]→[既定のFTPサイトのプロパティ]で、FTPサービスのディレクトリを変更してください。

拡張メモリーの取り付け

オプションのメモリーの取り付け手順を説明します。

操作の前に

次のものがそろっていることを確認してください。

- メモリー 256MB 2枚

- サーバーに付属の工具(プラスドライバー)

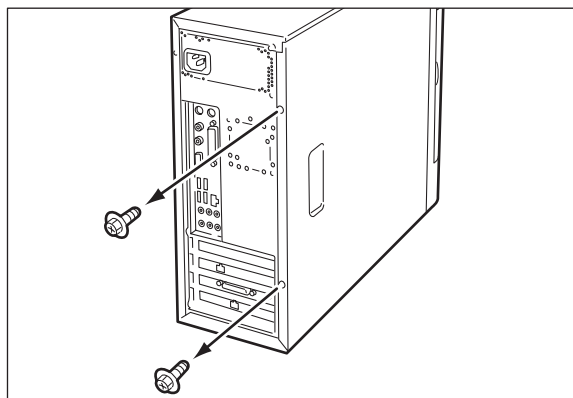
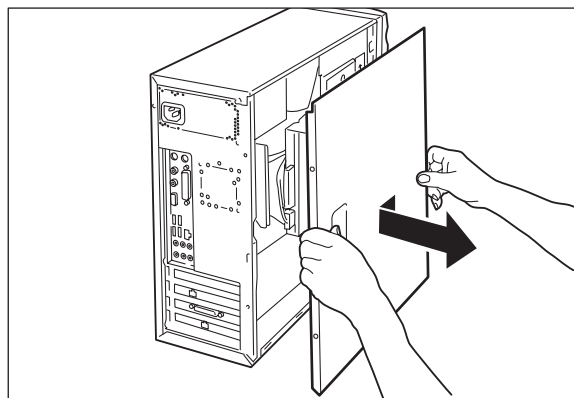
操作手順

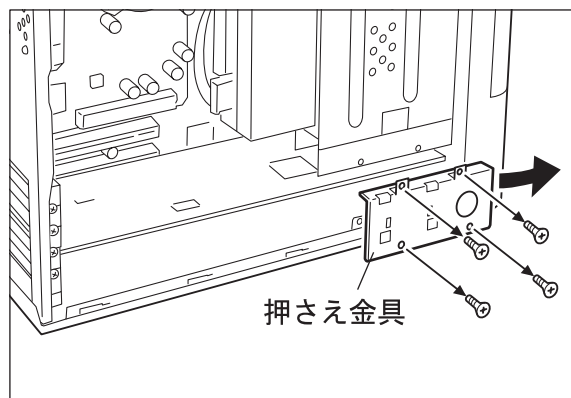
サーバーが起動している場合は停止し、プロセッサーの電源を切ります。
プロセッサー本体に電源コードやインターフェイスケーブルが接続されている場合は、取り外します。

サーバー背面にある、左側面カバーを固定しているネジ(2本)を外します。

3

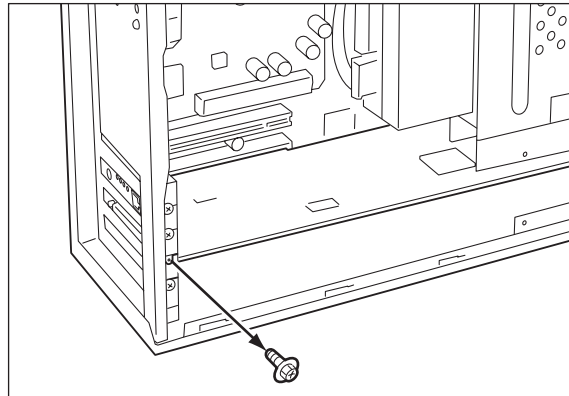
左側面カバーを、背面側にずらしてから、手前に引いて取り外します。

4

サーバー内部の金属部分に手を触れて、静電気を逃がします。

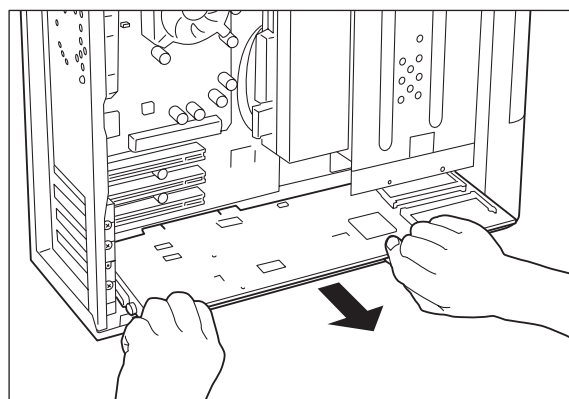
図の位置にある4本のネジを取り外し、本体から、押さえ金具を取り除きます。

補足

作業がしにくい場合は、プロセッサーを横置きにしてください。

6

Print Server Seriesボードを固定しているネジを取り外します。

7

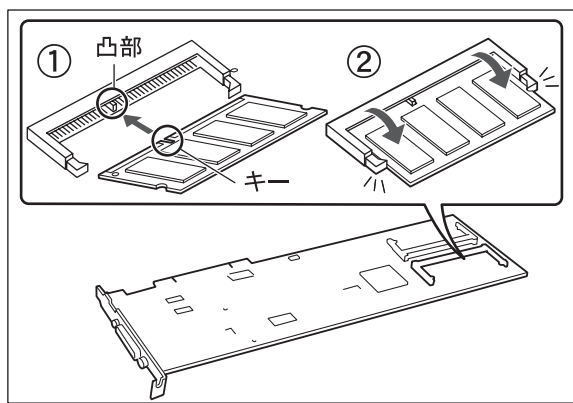
Print Server Seriesボードをまっすぐ引き抜きます。

付録

8

メモリーの両端を持ち、メモリーのキーとPrint Server Seriesボード背面のSO-DIMMスロット側の凸部分を正しく合わせます(①)。

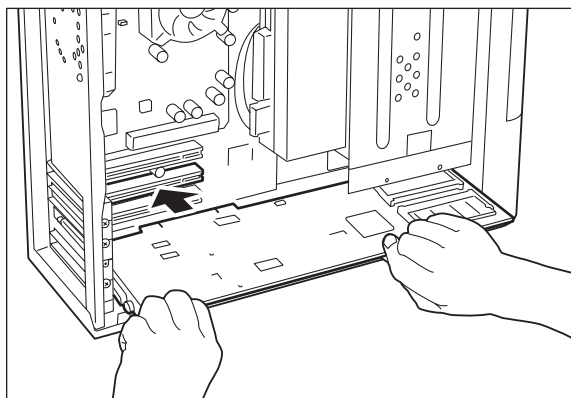
9

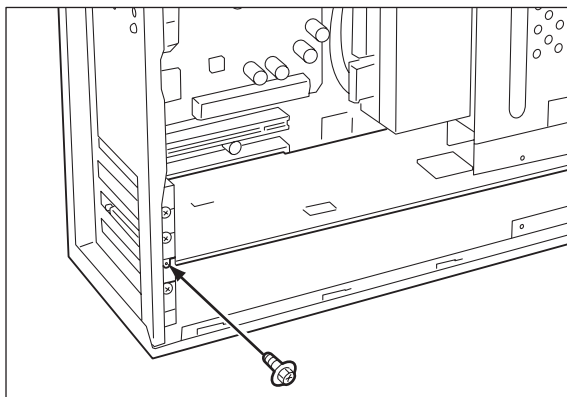
メモリーを斜めに差し込んだあと、「カチッ」と音がするまでPrint Server Seriesボード側に倒します(②)。

同様の手順で、2か所のSO-DIMMスロットにメモリーを取り付けてください。

必ず2枚のメモリーを取り付けてください。

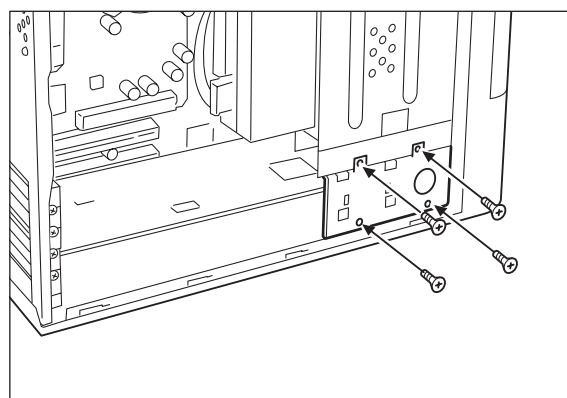
メモリーを取り外す場合は、メモリーを固定している両端のツメを外側に開き、メモリーの両端を持ってまっすぐ引き抜いてください。

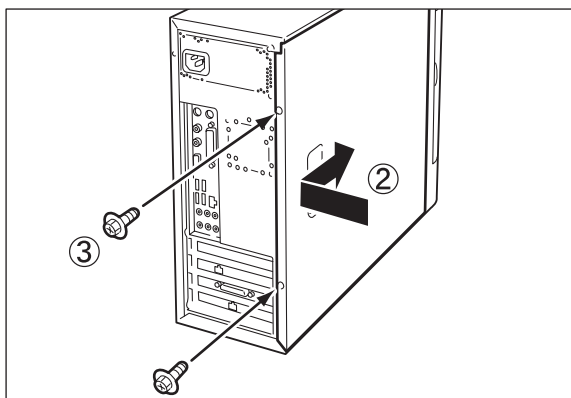
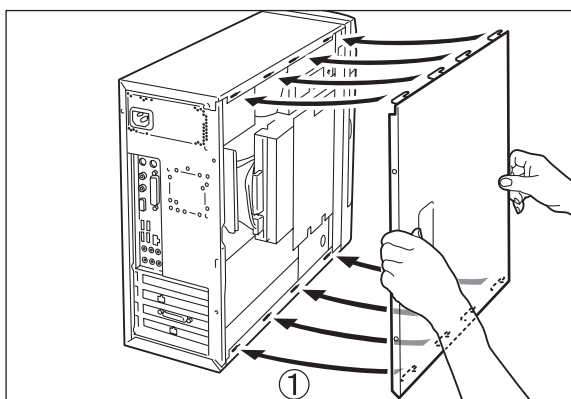
10

Print Server Seriesボードのコネクターをマザーボード側のコネクターに合わせ、しっかり差し込みます。

11

手順6で取り外したネジで、Print Server Seriesボードを固定します。

12

押さえ金具をサーバー本体に取り付け、手順5で取り外したネジ(4本)で、押さえ金具を固定します。

付録

13

左側面カバーの上下の突起部を本体の穴に差し込んだら(①)、左側面カバーをサーバー前面側にずらし、しっかりとはめ込みます。(②)。
手順2で取り外したネジで、左側面カバーを固定します(③)。

14

電源コード、および手順1で取り外したケーブルを接続します。

15

サーバーを起動します。

スタートアップページを印刷し、「サーバー/マシン」欄に「フレームメモリー：1024MB」と表示されていることを確認してください。

用語集

Print Server Seriesに関連する用語は、印刷用語をはじめ編集用語やDTP用語など、多岐に渡ります。
サーバーの機能を理解し、本文を読み進むうえでの参考にしてください。

CIEbased[シー・アイ・イー・ベースド]

CIEは、commission Internationale de l'Eclariageの略で、国際照明委員会のこと。
CIEが発表しているデバイスに依存しないカラーモデルをもとに、色再現することをいいます。

GCR[ジー・シー・アール]

Gray-Component Replacementの略。
カラー画像のグレーの部分からCMYの成分を取り除き、Kの濃淡に置き換えることをいいます。
画像を変換するときに、GCRの値を調整できるアプリケーションもあります。
→UCR

ICCプロファイル[アイ・シー・シー-]

International Color Consortiumの略。
各デバイスの色再現に関する情報を記述したファイルのことをいいます。

IE[アイ・イー]

Image Enhancementの略。文字の輪郭などをくっきり見せることをいいます。

IT8[アイ・ティー・エイト]

デバイスのキャリブレーションを行うための標準チャートのことをいいます。

PPD[ピー・ピー・ディー]

PostScript Printer Description Fileの略。
ポストスクリプトプリンターの設定情報を記述したファイルのことをいいます。

RIP[リップ]

Raster Image Processerの略。
ポストスクリプトデータをビットマップに展開することをいいます。

UCR[ユー・シー・アール]

Under Color Removalの略。
カラー画像の黒色の部分からCMYの成分を取り除き、Kの濃淡に置き換えることをいいます。
RGBモードからCMYKモードに画像を変換するときに、UCRの値を調整できるアプリケーションもあります。
→GCR

網点[あみてん]

印刷で色の濃淡が置き換えられる大小の点のことで、ハーフトーンともいいます。

色分版[いろぶんぱん]

RGB画像を、プロセス印刷で使用する4色のインキに対応したCMYKの画像に分けることをいいます。

オーバープリント

オブジェクト同士が重なり合う場合に、上下の色を重ねて印刷することをいいます。印刷のずれで白地がでることを防ぎます。
ブラックの文字は、すべてオーバープリントするようにデフォルト設定されているアプリケーションもあります。
→抜き合わせ

ガンマ補正[-ほせい]

感光材の感光特性を表わすカーブのことをガンマといい、デバイスのガンマ値に応じた最適のカーブに補正することを、ガンマ補正といいます。
Print Server SeriesやPhotoshopは、画像のガンマ補正をしてコントラストや明暗を調整できます。

キャリブレーション

色の経時変化を補正して、機器の色再現性を標準状態に維持することをいいます。

スクリーン線数[-せんすう]

画像を出力するときに使われる、網点の列または線の数をいいます。
出力解像度とスクリーン線数の組み合わせで、画像のきめ細かさが変化します。
フィルム出力で使うスクリーン線数は、イメージセッターの解像度や印刷方法、および用紙によって異なります。

墨版保持[すみはんほじ]

CMYKデータをプリントする場合に、色再現で重要な役割を持つK(墨)版の情報を保持するしくみのことをいいます。

特色[とくしょく]

あらかじめ色を混ぜ合わせた、さまざまな色のインキのことです。
特色インキは、会社のロゴなど、色を正確に再現しなければならないときに使われます。スポットカラーともいいます。
→プロセスカラー

抜き合わせ[ぬきあわせ]

オブジェクト同士が重なり合う場合に、下になる色を、上の形で白く抜くことで、ノックアウトともいいます。
半透明の印刷インキを使うときに、色が重なって別の色になることを防ぎます。
→オーバープリント

プロセスカラー

CMYKの網点を重ね合わせて、さまざまな色を擬似的に再現する半透明のインキのことです。
→特色

プロファイル

デバイスごとのカラー属性を定義したファイルのことをいいます。

分版出力[ぶんぱんしゅつりょく]

印刷に使用するインキごとに、色の要素を分けてフィルムに出力します。
プロセスカラー印刷の場合は、各ページがCMYKの4枚のフィルムになります。

ホワイトポイント

画像内のもっとも明るい位置のことで、白点ともいいます。

連続階調[れんぞくかいちょう]

写真のように、色と色がなめらかに変化していることをいいます。

『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）の内容

第5章　その他の環境設定

第6章　リファレンス

付　録

索引

付録

付録

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守**、**操作**、**修理**のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、
および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、休祝日を除く9時～17時30分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

●富士ゼロックス、および富士ゼロックスプリンティングシステムズに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間:土曜、日曜、休祝日を除く 9時～12時、13時～17時、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

●インターネットホームページで富士ゼロックスプリンティングシステムズの商品全般に関する情報、最新ソフトウエア等を提供しています。

http://www.fxpsc.co.jp

DocuPrint CG835 II 取扱説明書　導入編
著作者 —富士ゼロックス株式会社　発行年月—2006年2月第1版
発行者 —富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社
（部番:896E 03990　帳票No:DE3551J1-1）
Printed in Japan